無産階級戦闘雑誌

進め

田中反動内閣を倒せ

第六年◇三月◇第三號

大正十二年一月三十日第三種郵便物認可（毎月一回一日發行）
昭和三年三月一日發行　昭和三年二月二十八日印刷納本

定價十錢

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

本號一瞥

田中反動内閣を倒せ……卷頭言
現縣議の國會總選擧立候補を難ず……布施辰治
無産政黨の選擧戰を評す……佐藤護郎

同人時評
◆選擧協定の破綻を悲しむ
◆國際勞働會議代表問題をめぐりて
◆武漢南京の對立と廣西派の勃興

當選した無産黨の人々
籠城の苦戰記……神庭生
全無産大衆と吾等の代表……工藤勝一
何故落選せねばならなかつたか
搾取行刑政策と自由勞働者の失業關係……加藤利藏
支那に於ける農民問題の一考察……日堂則義
田中の反動綱を擊破せよ
帝國主義の走狗反動的派閥鬼を撲滅せよ……鈍拳クラブ　金晃洋

全土戰報
◆不當檢束さるゝの記……實智正次郎
◆安東縣の一人から……文時賢
◆越後の百姓の言葉……岩内隆平
◆若槻か福田か……S生
◆遊民族を倒せ……傘木幸盛
◆勞務者共濟會を打倒せよ……一勞働者
◆既成政黨のビラ張りをして……高田進

[illegible]　一プロレタリヤ文化……隅土滿譯
[illegible]　一囚人夜話……中島安太郎

會計係より

本誌の讀者たらんとする諸君は左の規定を必ず實行して下さい。

一、見本請求は十錢切手を封入する事
二、用件は簡單明瞭に書く事時候見舞など必要なし
三、住所氏名を明瞭なるべく楷書で書く事
四、本社は集金郵便を用ひないから一切前金の事
五、誌代拂込みは振替にて送る事
六、住所移轉の通知には舊住所併記の事

【進め社の振替口座は　東京六九八五三番】
巾込は整理の都合上本部會計係宛へ願ひます。

月刊　一部二十錢

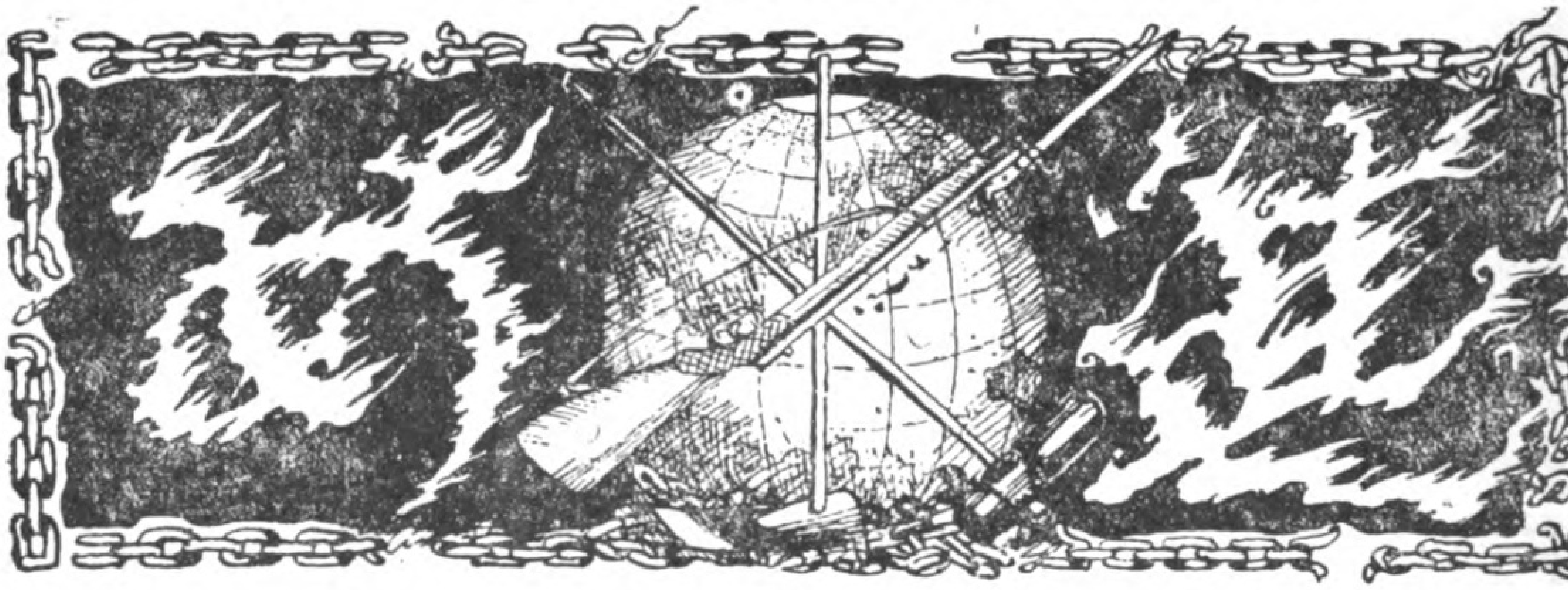
工場と鑛山

發行所
東京芝公園五の四日本勞働組合同盟本部

布施辰治主幹
▶月　刊◀
法律戰線
◇階級闘爭の合法戰術！
◇暴壓法令の突破逆用！
一部十錢・半年六十錢・一ヶ年一圓廿錢
發行所　東京・高田町雜司ヶ谷八一五　振替東京第三六四五五番

淺野研眞主幹
社會科學月報
月刊
ソシウス
一部五錢
發行所　東京青山アパート七九號　ソシウス社　振替東京一三八九番

萬國の無產者團結せよ



第六年■戰鬪■進め■雜誌■第三號

田中反動內閣を倒せ

總選擧の結果は、民政、政友の勢力伯仲の形勢となり、政界は不安定の極に達した。かの干渉、かの暴壓、數へ來れば枚擧にいとまない現政府の努力とその豫想は全然裏切られて過半數を得る事すら出來なかつた。この事は現政府は民衆の不信不滿不平の中に存在してゐる事を示してゐる。か丶る形勢の中にあつて、例へ立候補者數に比して少數であつたとは云へ、無產黨の八名の當選者は議會においてこの不安定なる政局を左右する力を有してゐる事は、吾々の最惡の敵政友會內閣倒閣の希望を實現するものである。

しかし、吾々は政友會內閣を叩き壞すとも、それに代るものは民政黨である事を悲しむ。彼等は普選を泥で塗つて迄も、あらゆる奸策をめぐらして無產大衆の投票をかすめ取つた。總投票九百八十万の內無產黨の得票數は僅か四十五万を出でざる事實を見ても、吾が無產政黨の努力未だ足らざるを思はせる。吾々は今後活潑に展開せらる丶所の日常鬪爭を通じて大衆の政治教育に努力しなければならない。飜つて吾等の戰跡を顧みるならば、當然當選すべき人々をも意識的に防害したかの選擧協定の破壞者、宗派的分裂主義の策動を見る。吾人はか丶る宗派的分裂主義者は合同統一の前途に波瀾を横へつ丶ある事實に徵して、彼等の撲滅を急務として、一路統一へ邁進せんとするものである。

無產黨代議士の議會における行動は、大衆の聲を率直に表現すると同時に既成政黨によつて固められた議會の曝露をあます所無く大衆の鬪爭に結びつけなくてはならない。無產黨の鬪爭要求はかの幾多の無產階級の運動を抑壓した治安維持法等の暴壓諸法令の撤廢撤底普選獲得を初めとして、あり餘る程あり得るであらうが、無產黨のすべての運動は先づ田中內閣倒閣の運動に集中されねばならぬ。よし、後に組閣するものが民政黨であらうとも、吾等は政友會に最早一日の存在をも許容しない。民政黨の組閣は選擧戰で唱へた自由主義的御題目の如何に空虛なものであり、民衆の敵であるかの自らによる自らの曝露以外の何ものでもないだろう。

田中反動內閣を倒せ。

同人時評

選擧協定の破綻を悲しむ

選擧協定の破綻は何人の心をも傷ましめてゐる問題である。五十四議會解散の前後にかけてあれ程順調に進んでゐた各黨の協定態度が僅に一二週間の間に總選擧のうづまきが愈々深くなるにつれて、次第に惡化し全無産階級の間に高まり擴まつてゐた協定の成立を喜んだ希望と期待とを裏切つて了つた事は返す返すも殘念な事である。選擧協定の破綻のともなう最大の害惡は、昨年末よりかけてぼうはいとして捲き起された戰線統一の要望をじうりんし、波瀾を前途に横たえた事である。日夜を問はず押迫る資本の攻勢と、昨秋の府縣會議員選擧の教訓と、それに宛かも時期を見計らつたかの如く日本の社會運動を刺戟し初めたかの第三國際の批判の正しさが立證さるゝにつれて、反動的色彩を事毎に濃厚ならしめてゐる支配階級に對抗するには無産政黨の合同を促進せねばならぬとし、各黨は從來の態度はともあれ急速に合同論者に迄進出した。そして、合同統一は共同闘爭の展開によつて執拗に殘存してゐる宗派的分裂主義を排除する事によつて可能であつた。この共同闘爭が大衆の要望であり、この要望あつたればこそ選擧協定の成立を見るに至つたのである。然るにこの「總選擧における最高の權限を有する」選擧協定が破壞されたのは、大衆の要望にはあらずして反動勢力に追隨し策動する宗派的分裂主義に外ならなかつた。吾々はかゝる協定の破壞者が何人であるかを見究め、無産戰線の統一を防衛しなければならない。

選擧協定の破綻の弊害はそれのみに止まらない。一般未組織大衆に無産政黨への信頼を弱める結果を生む。そして、結局共倒れとなり、總選擧の主要なる收穫を自らによつて放棄するに至るのである。總選擧の主要なる收穫とは、當選する事である。無論當選さへすればいゝと云ふ事ではないか、當選そのものが大衆を如何に動員したかを秤量するものであるからして、當選が主要な目的でなければならない。無論對立候補の場合でも大衆の動員はさして等差がないかも知れぬが、前述した樣な未組織大衆に不信頼の念を植つける結果となり、又吾等が常に主張し、さればこそ總選擧において闘爭するところの既成議會の内部に侵入して曝露し民衆の反抗を高める目的を遂行する事は全然出來な[illegible]對立候補のある場合は、各黨の地盤が互に錯綜してゐる地區においてのみ行はれる。對立候補の出現は、この地盤を基礎として當選しようとする考へや、先の候補に對して不滿を有する場合等々にある。當選しようとする考へをもつて立候補したならとんでも無い間違ひになる。一人なら當選し得られても、對立しては當選は現在の狀勢としては先づ覺束ないと云はねばならない。若し、當選を目當に乘出すならそれは低腦な人間である。この場合に就いて私見をはさむなら、先づ當選妨害の爲めに飛出した事になると斷定せざるを得ない。大衆をより多く動員する爲めであると云ても、大衆の動員は選擧協定を守つて一人の候補者に各黨の共同闘爭を熱烈にやるに勝る結果は生れない。亦、協定による候補者に不滿を有するにしても乘り出しても自らがその候補者の得票を全部取るといふ事は不可能であるから、結局落選を見るは當然である事はすでに述べた。正しき指導精神を展開すると云つても、必ずしもわざわざ落選してまでも立候補する必要は認められぬ。それには、立候補せずとも充分撤底せしめられる問題である。吾人は、各無産黨がわざわざ落選を期してまで戰線の攪亂を企て蝸牛角上の爭ひを續けてゐるを怪しむものである。吾等の活躍しより以上宣傳すべき土地には、無産者の候補者は一人もゐない事實を見る。無産政黨の舞臺は開拓地のみではなく、むしろ未開拓地こそ重要である。亦、大衆が無産黨を要求してゐるのは組織勞働者農民團體の所在地であると考へる事の誤りは常識の問題である。對立の爲めの立候補者は、この無産政黨本來の使命からして、何故妨害弊害の續出する對立區を離れて

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

進出しないのであらうか。

先日某新聞の投書欄に無產階級の立候補の無い選擧區に居住する一無產階級として、自分は如何に選擧權を行使すべきかに惱んでゐる者の投書記事があつた。無產政黨たるものはかゝる民衆の聲に耳を傾ける必要がある。吾人は無產政黨が例へ現行普選法によつて限りあらゆる選擧區に立候補すべきであると考へてゐた。が之は不可能ではあるとしても、要立候補皆無にしたならば、無產政黨の勢力は天下を風靡したであらうと信じてうたがはない。

無產黨の立候補の無い地方にあつては無產階級の投票權を如何にすべきかは可成り重大な問題である。棄權は、政治運動の立場よりして良好な行爲であるとは云ひ得られない。然らばブルチョア黨にか。山川均氏は(勞農)二月號においてこの場合は明確な意識の下に現政府を倒壞する目的の爲に在野黨に投票すると云つてゐるが、少くとも階級意識のある無產階級はかゝる行動は取り得ないであらう。かゝる問題の提起せられる所以も又、立候補の全國的でないと同時に、或る限度においては對立鬪爭の弊害の結果でもあろう。

×

全國的に模範的區域として加藤君を共同撰拔する事を申合せた東京第五區が、理由にならぬ理由を以て口實として秋和君を立てたのは、全國的模範區域から、全國的政黨の破綻地たらしめた。勞農黨は「大衆の要望をおさへる事が出來なかつたから秋和君を立てた」と云つてゐるが、彼等大衆は一人あつても二人あつても大衆と呼ぶ事になつてゐる。二三の輸入主義の亞流の聲を以て大衆の聲であると爲すに過ぎない。一般大衆こそいゝ面の皮である。彼等は無產者新聞を通じて秋和君が立つた以上、加藤君はいさぎよく斥いだ方がいゝなどゝ厚顏無恥なデマゴーギを振廻してゐる。加藤君は日本における無產運動の鬪士としては有數の人であり、いさゝかも非議すべき點なきにかゝはらず、かゝる言を放つは加藤君が日勞黨の候補者なるが爲であらう。これ宗派的分裂主義のひらめきであり我等はかくの如き攪亂を斷乎として排擊しなければならぬ。果して、分裂主義に據らざる勞農黨大衆は、加藤君の擁護を選擧協定の防衞を必死的になしつゝある。理由が大衆の聲にあらざるを見ても、秋和君に行ひ立候補の證明である。

しかし乍ら、分裂主義は勞農黨のみに存在するといふ見解は誤りであり、社民黨はいはずもがな、日勞黨の內部にもそのひらめきを見せてゐる。香川における藤本金助君の問題等に排擊しなければならぬ狀勢が見られ得る。宗派的分裂主義の排除は反撥的感情をもつては遂行出來得るものではない。兎に角、秋和君にしろ藤本君にしろ不遜極まる態度である。

さて、かゝる選擧協立の破綻が指導精神の相違であり止むを得ないと云ふ者があれば、これ現實の無產階級焦眉の急務に對して精神主義的態度を以て臨む小兒病者の言である。我々が改良主義的イデオロギイを排擊せねばならぬのは言を俟たざるところであるが、現在の各無產黨の議會に望む政策は同一である限り、議會に送る事が必要である、指導精神云々を以て對立し相共に悲劇を作り、我々の當面してゐる議會內部の鬪爭の參加が阻害される行爲は決して前衞の取るべき態度ではない。前衞の任務は、我々の進路を惡化せしめる事でなくして、良い道路を作る事である。各無產黨の指導精神に相違はあれ、既成政治の倒壞といふ點において同一である以上、强力な支配階級の攻勢下において蝸牛角上の爭ひをする愚を止めなくてはならぬ。況んや、未だ無產黨の代表の一人も參加せざる議會に向つての鬪爭においておや。現實の要求に面して最善の努力方法を盡し、良い道路を作る事が大衆黨の任務であり、反之、之を叩き壞して惡化させる事は指導精神の正しきを立證するものにはあらずしてその戰略の硬化に外ならない。無產黨の代表ならば何人をしても議會に闘はしめてこそ、大衆の信賴を得る事になり、效果をおさめる事になる。是れ吾人が協定破綻を悲しむ所以である。(神 庭)

國際勞働會議代表問題をめぐりて

總同盟の機關紙(勞働)二月號には一月十一日の關東方面の中央委員會報告として、今年の國際勞働會議の顧問に山內鐵吉氏を推薦する事を協議してゐる樣傳へてゐる。そして緊急を要して方面別に開催したこの關東方面の決定事項を、一月十四日開催する關西方面の中央委員會に松岡駒吉君を派して、國際會議の件の外、野田爭議對策の件外一件と共に協調決定せしめる事を滿場一致可決し、十四日の關西の會議には鈴木、松岡、西尾、山內、大矢、田中氏等出席して、協議熟議を重ね、十五日の協調會における友誼團體の協議會(國際勞働會議代表の件)に、松岡、西尾、金正の三氏を出席せしめて協議せしめる樣決定してゐる。私は未だこの間の問題が如何に進退してゐるかを、總選擧の過中にあつて知る事が出來ないが、問題が國際勞働會議と山內君の問題であるだけに一言論評し、以て山內君の態度を注目して見んとするものである。山內君と國際勞働會

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

議は隨分緣故が深い樣に見られる。少くとも、私達の目から見ればそう見える。それは國際勞働會議に乘り込んだ事が無いにかゝからず、かくれた緣や、或は反對した緣など餘り眞正面からの緣では無い。

我々の知る範圍において、去年の會議に隨員になつて行く約束になつてゐて、大紛糾となり止む得ず人に讓つて行く事が出來なくなつた事に初まり、昨年の十月の總同盟大會において今度は國際勞働運動否認案をもち出して世の視聽を集め、今度は亦行く樣に推薦される事になつたのだから、あくまで緣故が深いと云つても云ひ過ぎにはなるまい。前に一言した樣に、この緣故は眞正面の緣故でなくして何時も失敗續きの緣故である。去年の隨員問題はまんまと失敗に終つた事は既述の通り、次の總同盟大會の否認案は矢面に立つて奮戰したが到々大慘敗して撤回の運命を見た。今度はまた推薦されて行く事になるかも知れないが、行くと云ふ事になつても大失敗に近い方だ。自分の主張を猫の目の樣に變へたといふ事になる。山內君が若し、斷然ことはれば腐れ緣は切られた事になるが、行く事に同意すれば、昨年の大會の事件を內心奥齒に物のはさまつた樣な氣持でゐるだらう。兎に角、山內君と國際勞働會議とは腐れ緣に違ひない。我々の目から見れば、山內君が、大會の時眞向ふから反對されて、さんざんやつつけられた關東の連中から、推薦される事はなぶられる樣で厭だらうと想像する。けれども全體の統制の前には私見をなげ捨てゝ了ふといふ所に總同盟の鐵の樣な力があると云ふ點から見れば敬意を表しておきたい。

扨て、個人的問題はおいて國際勞働會議そのものを否認するか是認するかの根本的なそれを論じて見よう。是認する派は無產者側では社會民衆黨系の組合であるが、例の山內君が昨年は反旗を飜へて大騷ぎしたくらゐだ。私は參考の爲め昨年の總同盟大會の席上における反對派の理論的根據を「進め」昭和二年十一月號時評の中から轉載して見よう。

「山內君の主張する否認の理由は、國際勞働會議は、總同盟の現實主義の立場からして利用價値が乏しくなつた。即ち、大正十三年國際勞働會議を承認したのは、國際的關係よりして、日本の資本家が勞働條件の改正を强制せらるゝ希望があつた事、亦、そうした會議に代表を送る事によつて國內の未組織大衆を組織化する事が出來る希望があつた。然るに今日に至つては、この會議によつて何等得るところなく、國際勞働會議で可決して、日本政府もこれを承認しながらそれの實現を等關にしてゐる。亦、こうした無意味な資本家と勞働者代表との會合を總同盟が承認してゐる事は反つて世間大衆から誤解を招いてゐるし、この際これを否認するのが總同盟の現實主義に忠なるものであると」その他會長が長く海外に旅行すると都合惡いのだとかいふ調子で、極めて支離滅裂したものであつたから、悲慘なる撤回の運命に迄立至つた。私はその時評の中において、總同盟としてはこの會議を是認するのが當然であり、否認案の失敗は必然であると評しておいた。何故なら總同盟の指導精神が改良主義である以上共作績は望ましきものであつたからだ。そして私は評した。會議を否認するならば先づその指導精神を否認せよ「若し、指導精神に一矢を報ゆる事なくして[illegible]否認する[illegible]亂を示す[illegible]と。』果して[illegible]さるゝを良しとする[illegible]め、關西の[illegible]者連は今や[illegible]の問題に[illegible]かし山內君が[illegible]退したに[illegible]否認態度の[illegible]個人的[illegible]が、[illegible]いと思はれる。[illegible]人的いきさつに[illegible]はない。山內君は[illegible]めて國際[illegible]自らの[illegible]つて打破[illegible]は山內君[illegible]

私は[illegible]總同盟の[illegible]ものではなく、むしろ左翼の立場より是認するものである。私は國際勞働會議を[illegible]う疑はない。然らば何故にこれを是認するか。我々にはあらゆる現存せる機關に對して働きかけてこそ初めて左翼の任務が完了されると信ずるからである。それは感染する爲め是認するのでなく、[illegible]我等の立場より働きかくる爲め是認するのである。若し過去[illegible]は今迄無產階級の代表は一人もゐない。そしてブルヂョアジイの代表者によつて搾取の陰謀がめぐらされてゐたのである。國際勞働會議は反勞働者の代表を加へしめ[illegible]ある。[illegible]第三インタナショナルときめて、他の國際會議を否認するのは小兒病者の態度である。第三インタは決して孤立して他を區別するものでなくして自ら

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

の指導精神を他に働きかけそれを抱擁するものであるからこそ、無産階級の國際主義であると思はれる。議會闘争を是認しても議會主義者で無いと等しく、國際勞働會議を是認したから左翼で無く改良主義者であるとは云はれ得ない。云ふものは、安つぽい小兒病者のみであらうし、代表選出の問題に就いて異見があれば改正闘争すれば足りる。丁度、吾々が議會闘争に直面して、普選法改正徹底化を主張すると同じい樣に。

「國際勞働會議」を、評して（某紙は）

『金持や政府の奴と肩を並べて行く樣な會議に行く事は勞働者を賣る行爲だ』と云つてゐるが、目を轉じて、吾等の議會闘争を見る時、アナキストは口をあげて同樣な事を叫ぶ。小兒病者の言無産階級解放の言では無い。

（神庭）

武漢南京對立の形勢と廣西派の勃興

支那南北の形勢は相變らず混沌として咫尺を辨ぜざる有樣である。關税會議の將來は云はずもがな、張閻間の和議問題、行方不明の三民主義、行方不明の國民革命と、か樣に支那の現在は何にもかにもが行方不明である。一昨十五年の夏六月、蔣介石を總司令とする北伐の師が廣東を乘り出し、大庾嶺の嶮を越へて疾風の如く征め上つて來た時は、世人をして支那第二の革命是れより始まると感ぜしめたが支那は矢張り支那である。其後半歳ならずして總司令蔣介石を放逐せんとする共産黨の計畫は野心政客の雷同と相俟つて、未だ南京上海攻略せぬ先きから内輪喧嘩の角突き合ひを始め出した。爾來の內江と闘爭は見る眼、聽く耳に徒らなる騷音と嫉惡の地獄圖を畫かしめたに過ぎぬ。南京政府ありと雖も單に形式上の存在に過ぎず、青天白日旗は空しく黃塵に飜へつて、長江の水のみ徒らに悠々として流れ來り流れ去つて居る。蝸牛角と眉をしかむるは人のこと、彼等同志には懸命の仕事だ。そして現在は武漢對南京と三度目の對立狀態に入つて居るのである。

由來國民黨は、現在日本に於ける無産政黨の如く内江を其の特色として居る。今日彼等が何かと云へば直に擔ぎ出す總理孫中山在つた時の歷史は殆ど凡て內江と內爭の繰返しを以て終始してゐる。國民革命開始後に於ける內江だけを拔き書しても、武漢陷後共産黨一味の總司令獨裁反對。蔣介石の上海に於ける共産黨壓迫。南京政府成立後に於ける武漢政府との內爭。蔣介石追放の幕。南京武漢兩派の對立爭闘。汪兆銘等廣東派の策動。西山派の沒落。廣東事變共産黨の二日天下。汪蔣合作の不成立。廣西派の團結と反對運動。廣西派の湖南軍驅逐等々數へ立てれば幾十に達するであらう。而して今日南方の狀勢は一に廣西派と蔣介石一派の對立と云ふ新奇な形勢を生み出して居るのである。國民黨名物の內輪爭ひは國民黨の存續する限り此れと終始を共にするものである故に、吾人は其の時々の形勢と其の推移に依つて時勢の動きを知り、其の方向を察して行かねばならぬであらう。

所謂廣西派とは何ぞ。吾人は先づ此の問題を究明せねばならぬ。廣西派……古く辿れば民國始めに廣東の龍濟光、廣西の陸榮廷、此の兩氏の對立から始まる。龍陸兩氏は共に孰れも其各々に於いての綠林の豪である。此の兩氏が兩廣に對峙の頃、國民黨は廣東の一角や上海に辛うじて其の命脈を維持して居た。龍濟光死して漸く國民黨は其の部下の陳烱明と結んで所謂廣東政府を作つた。此の頃廣西の陸榮廷は未だ廣西に蟠居して威力衰へなかつたが、廣西人の反陸榮廷派は、かつて兩廣を領した革命黨派の岑春煊を旗頭に今の楊希閔、劉震寰、沈鴻英等の一味は之れを陷さんものと虎視眈々機を狙つて居たのである。此の間國民黨と政學會、或は陳烱明の離反等あるが、時勢は變つてさしもの陸榮廷も反對派の爲め放逐されて廣西は群雄割據、而して所謂兩廣主義の下に故孫文の勢力圏內に這入つたのである。當時廣西軍隊の指導者たりし劉震寰、楊希閔等は、現ナマを與へねば頑として動かぬ、彼等特有の惡癖を發揮し、流石の孫文をしてまゝならぬ客軍との嘆を發せしめたのである。

國民黨總理孫文の北京に客死する前、蔣介石は國民革命軍の組織に寢食を忘れ、學生軍の編成次いで異形軍隊の統一に着手し、諸せざるものは討伐して茲に國民黨の正規軍隊として編成が出來たのである。孫文死して愈々北伐の師を起す時、今日の廣西派は第四軍李濟琛、第七軍李宗仁の兩軍長に依つて統轄され、第四軍の李濟琛は廣東に留守師團長として本營を守つたのである。第七軍の李宗仁軍は湖南江西に奮戰し革命軍中の中堅分子となつた。今日江西派策動の中心人物たる白崇禧の如きは、此の時まで第一軍副軍長何應欽の下に總指揮として福建討伐軍中の人であつたに過ぎぬ。武漢陷り九江に孫傳芳敗退。南京上海再び陷つて現在の南京政府成立の後始まれる廣西派の策動は、勝つて地盤を得なかつた、李宗仁が其他の不平分子を糾合して初めた蔣介石いびり出しの一幕である。當時漢口に傲然と構へた唐生智も暗に是に助勢を與へ、蔣介石をして遂に下野の聲明を餘儀なくせしめ、次いで故山への歸臥、而して日本渡來と云ふ一劇を演ぜしめたのである。（以下十頁へ）

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

現縣議の國會總選擧立候補を難ず

布施辰治

四議會も前の普選通過に依りて、生ける屍と化して居たり第五十四制限議會の解散になつた事は、野黨にどんな總選擧對策の掛け引きがあつたにもせよ、又、其の與黨にどんな惡戯卑怯の策動があつたにもせよ、私は『解散』其の事を喜んで、所謂普選最初の總選擧戰に闘ふ新興無産大衆の階級飛躍を望んで止まない。

だが、其の點の議論はしばらく措き、解散後の總選擧に直面した立候補問題に就て、緊急一言したい問題がある。

それは、與黨は約三百名の立候補者を公認して居り、野黨として民政黨も約三百名位の立候補者を公認して居り、又、各無産政黨でも、既に多數の立候補者を公認して堂々と發表して居るが、無産政黨以外の既成政黨は、別に之を怪しまないようだが、與黨でも野黨でも、死にもの狂ひの第一黨選擧對策といふよりも、むしろ當選對策としての立候補者に就ては、隨分苦心して居るものがあるらしいのだが、殊に、昨秋の府縣議選擧に於て最も露骨にその惡弊を曝露した現行普選法中、彼等にとつては、又最も都合のよい立候補者協定の無投票當選制度があるので、尚更彼等は其の立候補問題に就て、我々當の思ひ及ばない陰險惡辣な選對策に苦心したらしい跡がある。

×　×

それについて、私の、一般無産大衆諸君に警告して置きたいのは、ブルジョア既成政黨の立候補者が、如何なる「所謂政治家居」からかき集められたかと云ふ一瞥に映じ出される現縣議の顔觸れである。

彼等既成政黨は、與黨でも野黨でも、國會總選擧立候補者の公認について、前代議士の優先權を原則として居るそうだが、それでは、假りに、幸ひにもその總てが當選した處で、所謂普選最初の新議會に於ける彼等の新勢力に何等の得失もあり得ない、のみならず、從來の經驗から見ても現議員の立候補者數は現議員數の五分の四以上には出でない筈で、現に、昨秋の府縣議戰でも前縣議に約五分の二の退議實例を示して居るのだから、矢張り此度の國會總選擧に於ける現議員の立候補者數も、その三分の二以上には出でゝ居ない。

然かも、立候補者數は、定員約一倍半を平均定則とする總選擧に於て、現議員三分の二以外の多數立候補者を、果して如何なる政治家屬よりかき集むべきかの無産政黨の立候補者は、殊に議會主義者の如き當選のみを目的としない曝露戰場としての總選擧戰に第一線の闘士を任ずる勞農黨立候補者の如きは、もとより何處にでもその人を見かけないであらうが、議會主義者としての當選のみを目的とする立候補者を求むる既成政黨としては、眞に苦心の存する所であらねば爲らない。

×　×

そこで、前代議士以外の所謂政治家にして當選の可能性を有する立候補者を何處に求むるか、と云ふ事になると、所謂元代議士とか元縣議とか云ふ廢物利用のような古い政治家を持ち出したのでは「元議」と云ふ肩書そのものが、既に新興勢力を代表する普選の立候補者に相應しくない、と言ふて、未だ現縣議と云ふ地位にまでも政治家として羽翼をのばしえてゐない新人を立候補せしむる事は、當選對策のみを考へて、彼等既成政黨の到底決斷しえない危惧であり躊躇である。

ここに於てか前代議士以外の新立候補者を如何なる所謂政治家層に求むるかに苦心して、之を現縣議中昨秋の府縣議戰に於て、比較的有數の勢力を示したものに物色したのが即ち現縣議立候補者の顔觸れである。

而して無産大衆諸君の中には、さうした現縣議の國會總選擧立候補を見て、一の出世であり進展であるかの如く、目を見はつてる者もあるやうだが、斯うした現縣議の立候補は、今日の既成政黨政治家が、官僚の鰻上りを嗤ひ或は難じて居り乍ら、その實自分等の市町村會議員より府縣議に、府縣議より國會議員にと云ふ鰻上りを悧巧に考へて居る證據である、と同時に彼等現縣議が、普選最初の總選擧を見越して、昨秋の府縣議戰をのみ踏臺とする地方自治の大蹂躙である事を指摘しなければ爲らない一大事である。

何故なら、昨秋の府縣議戰で當選したばかりの現縣議が、一年も經たない今日、其の兼職を禁ぜられて居る國會總選擧に、立候補する事の看過せられないのだと思ふからである。

從來、私共、全無産大衆は集中權力の尊重に就て、甚だしく誤つた考へを持つて居た私は、下から上への政治思想確立、即ち市町村政、小地方自治が確立し、その上に府縣政の大地方自治が確立し、さらにその上に中央の權力が確立すると云ふ、所謂民主々義的中央集權の確立は之を望ん

で居る。けれども、市町村政の小地方自治も、府縣政の大地方自治と全然容喙にして、何等の民主々義的政治組織の確立を見る事なく、たゞ徒らに中央權力を專らにする府縣知事の更迭等を許すばかりか、市町村政も府縣政も、悉く中央政府に補助と認可を求める事によつてのみ運用せらるゝ上から下への中央集權は、斷じて之を許す事が出來ないと思ふ。

處で、現縣議が、昨年當選したばかりの現職を棄てゝ、國會總選擧に立候補すると云ふことは、實にかうした中央專橫制の地方自治攪亂を、自ら進んで讃美し支持する行爲に外ならないのである。私は、この故に、眞の普通選擧は、横にも縱にもの普通選擧として、あらゆる選擧に共通した一個の選擧法を制定し、各議員の兼職を絕禁する事は勿論、其の任期中の轉職をも之を絕禁し、縣會に選出されたものは縣會にその適材をつくし、市町村會に選出された者はそこにその適材をつくし、又、國會に選ばれた者は、國會にその適材をつくすことにしなければ、下から上への眞の民主々義的中央集權たる國權も地方自治制も確立されるものでは無い――と云ふた事がある。夫れは、眞の自治制確立を理想とするものから觀た國會議員も、縣會議員も、市町村會議員も、そこには、各適材適所の自任と、他から信賴があるのであつて、所謂位置の高下などのあるべき筈では無いと信ずるからである。

斯うした意味に於て、苟くもその適材適所を自任して立候補し、又、一般大衆からもその適材を信賴せられて當選した筈の現縣議は、よろしく現縣議としての職能を全ふすべきものであつて、假りにその適材を他に移すべきではあるまい、と同時に、之を濫りに他へ移すことは大衆を欺瞞し愚弄した、自治政破壞であり、公約代表者の自動なりと云はれても辯解の辭はあるまい。

更に、二三の具體的考察を進めて行くと現縣議が國會總選擧に立候補するといふことは、何人も公知の如く、その「兼職を許さず」と云ふ法規の關係上、國會議員の當選希望は、必然の縣議現職放棄を意思表示した事に爲るのであるのにも拘らず、さうした現縣議從來の進退を觀るに、國會總選擧立候補當選の希望を達すれば、勿論、現縣議の職を抛つて、當選しなければ依然として現縣議の地位に留つて、何等の恥ずる色もない、二股かけた行動を取つて居るのである。斯くの如きは眞の議員たる職責を理解しえない所謂議員形でなくて何んであらう。

この故に、我々無産大衆は、かくの如き行動を敢てする、眞の縣會議員たる職責を理解しない現縣議は、勿論國會議員たるの職責をも理解して居らないものとして、現縣議國會總選擧立候補を拋擲するか、若しくも先づ深く現縣議を辭職した上の國會總選擧立候補者を許すべしであらう。

× ×

次ぎに、現縣議が國會總選擧の立候補に當選希望の目的を達したとする場合、私共全無産大衆の考へなければならない事は、現縣議が縣選擧民に約した任期を蹂躙することである。即ち縣議に立候補して當選した者は、明かに四ケ年間の縣民代表たることを公約したものであるにも拘らず、自ら之を蹂みにじつて縣民の信任を裏切ると云ふ背德である。

全世界の無産大衆の偉大なる指導者レーニンは警しめて居る。――如何なる場合に於ても無産大衆に對しても誠實ならざるべからず、如何なる犧牲を拂ふても、無産大衆よりその誠意を疑はるゝが如き行爲を避けざるべからず――と、

苟くも現縣議は、四ケ年間の縣民代表たる事を約束して當選したものであり自ら、その舌の根も乾かない今日、勝手氣まゝに之を棄てゝ國會總選擧に立候補するといふ事は、誰が何んと言はふと、縣民に對する明々白々の不誠實であり、さらに、國會議員としての忠實なりや否やの誠意を疑はれねばならない態度である。

× ×

倘ほ、最後に附け加へて置かなければならない事は、現縣議が國會議員に當選すれば必然縣議補缺選擧の行はれる縣政上の一大事である補缺選擧は、たゞ一人の議員のために、同選擧民を動かす事なのであるが、普選の今日、五万三万と云ふ選擧民が、縣議補缺選擧のために貴重な時間を潰して動かす事は、何と云ふ浪費であらう？

、立候補者の選擧費用などは、自ら求めての事だからどうでもかまはないが、四年間の任期を約束して選出した議員が、自分一個の野心のために、その公約任期を踏みにじつて縣議の現職を辭職した結果、縣選擧民が、一度正しく議員を選擧したにも拘らず、再び縣議補缺選擧のために多大の浪費を求められると云ふ事は、如何なる點から見ても甚だ不經濟な迷惑であるに違ひない。

にもかゝはらず、彼等既成政黨所屬多數の現縣議は、之を敢てする國會總選擧への立候補をなさんとして居る、無産大衆は必ずや、かくの如き立候補者を許さぬであらうが、又、斷じて許すべきであるまい。

× ×

もう一言最後に附加すべき事は、聊か勝手な事を云ふやうだが、この問題について、他の方面から一點論議の餘地を有つものは、前にも述べた如く所謂議會利用主義者として縣議の選擧をも、國會議員の選擧をも、共に一個の暴露戰場として、機會ある毎に第一線の闘士を（九頁へ續く）

無産政黨の選擧戰を評す

佐藤護郎

一

總選擧に際して、無産政黨は約七十名の候補者を擧げてゐる。この七十名の立候補の中、いくばくが當選するかは、客觀的に社會の重大なる興味をそゝつてゐる問題であつて、隨つてその結果が、またブルジョア諸政黨の恐怖を煽動する結果にもなる。

而し、無産諸政黨の選擧協定は全く破れて、相互にその指導方針の下に醜なる選擧鬪爭を展開した現在にあつては、只、無産大衆の信賴する重點は、その戰略、戰術が、階級鬪爭の上に、如何に反映し、また、その戰略戰術が大衆の中に無産階級的意識を印象せしめるか、である。隨つて、今度の總選擧戰を契機に、政治鬪爭の出發點としての新なる意義を見なければならぬ。

二

先づ、第一に、選擧協定は何故に破れたか、をみなければならぬ。

一月廿一日、議會解散の當日、東京芝協調會館に開催せられたる第三回無産政黨選擧協定會議は、幾多の波瀾はあつたが、相互の互讓の結果、一應は成功したかの如くみえた。然るにその後關西に於て開かれたる選擧協定會議は、勞農黨側の故意な破壞的策謀と、社民黨側の野望と相まつて、遂に破られた。その後に至つて、東京第六區に於ては無産政黨の全部は、日勞黨の加藤勘十君を推すといふことに定つてゐたものが、俄然勞農黨の秋和松五郎君の立候補宣言に依つてメチヤクチヤになり、順次、その後各地の選擧協定は破られて、現在に於いては、協定は全く跡形もなくなり終つた。この状態を客觀的に觀察すれば、實にその責任は各無産政黨に歸せねばならぬが、而しその原因を究明して、更に展開する政治鬪爭の上に無産階級的意義を明かにしなければならぬ。

三

選擧協定の破れた原因として、最も著大なるものは、指導精神の相違である。この指導精神に就いては、既に、昨年末に於て開催せられたる各無産黨の大會に於て、その相違點を明かにして、互に自黨の正しさを天下に表明し、互に大衆の獲得を爭つた。

昨年末の大會に於て、各無産黨の表明したる主張は、大體次の如きであつた。

日本勞農黨

勞働農民黨の内部に巣喰ふ分裂主義的宗派を結成せる福本主義者を一掃して、戰線の統一をしなければならぬ、とする條件付の統一戰線を主張した。

勞働農民黨

政治鬪爭を主張し、隨つてこの鬪爭を通じてのみ戰線の統一はなさるべきであるとなし、日勞黨の言ふ福本主義の排除は問題とするに足らぬ、といふ態度を持した。

社會民衆黨

あくまでも、共産主義排除を主張とし、日勞黨の統一戰線の主張は、山川派の策動なりと公言した。

日本農民黨

この黨は、内部に種々の分子が散在してゐるため、隨つて、統一戰線の問題に對して明かな態度を表明することが出來なかつた。

かくの如く、各無産黨の昨年度大會は、統一戰線の問題に就いて論ぜられて終始した。而し、これを裏面的に觀察するなれば、無論、議會解散を見越しての黨勢擴張の方法でもあつた。

四

而し、これに前後して、コミンテルン執行委員會幹部の決議したる我が國無産階級運動に對する意見が、ブラウダ紙に發表され、更に、雜誌「大衆」雜誌「文藝戰線」に轉載されて、我國の無産階級運動の上に大きな波紋を投げ出した。

その中に、我國の資本主義の發展段階に對する批判と、更に、その戰術に就いて言つてゐる。

日本の發達の歷史的條件は、アメリカのそれと著るしく異つてゐる。成る程日本はアメリカと同樣に最大の資本主義國の一つに屬する。日本は、アメリカと同樣に昇りゆく資本主義國である。併し、アメリカと異つて日本に於ては、封建的遺制が極めて強い。××政權は、こゝでは資本家及地主の執行委員會をなしてゐる。そして日本の資本主義にとつて特に著るしいことは、××が最大の資本家となつてゐることである。工業並に(銀行鐵道を除く)に投資された資本の三〇%が國家に屬してゐる。日本に於いては、かくして國家資本主義の制度が著るしく發達してゐる。これ等すべての事は、封建的日本に對する××がプロレタリヤ××から截然と隔離し得ざることを物語るものである。ブルジョア民主主義××は極端に急速なる速度をもつて社會主義××に進展するであらう。日本に於てはブルジョア民主主義××のためのそれと同樣に、プロレタリア××の急速なる成長のための客觀的條件が具はつてゐる。

このバロメーターを中心として、我が國の各無産黨は如何に發展を遂げたか——隨つて、それとの連鎖が如何に總選擧をめぐつて現はれ出でたかをみなければならぬ。

五

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

比較的、コミンタン執行委員會幹部の決議せる意見との、關係を持するかにみゆるものは、日本勞働黨と勞働農民黨である。外、社會民衆黨、日本農民黨は反動的、日和見的傾向を持つてゐる。さればこの關係に就いては日勞黨と勞農黨とに限つて言ふ。日勞黨は比較的、思想的に雜然たる分子を抱擁した如き形態にある。したが、統一戰線の問題に就ては、最も熱心な誠意ある黨である。隨つて、その目標は、單一にブルジョア民主主義の獲得にある。この意味のブルジョア民主主義の獲得は、果して、コミンタンの言ふ如く「ブルジョア民主主義××は極端に急速なる速度を以て社會主義××に進展するであらう」とする意味と同一の意義をもつものかは、まだ、日勞黨の明確なる發表のない限り疑問とする點ではあるが、（恐らく、それ程積極的の意味のものではあるまい）兎も角も、ブルジョア民主主義獲得のために一路邁進してゐる。而しやがては、「社會主義××へに進展するであらう」ところまで落つくであらうことは、察せられる）

勞農黨は、昨年度の府縣會議員選擧の當時に於ても然るが如く、なほまだ昨年度大會に於ても然るが如く、その信條は、もつぱら、政治鬪爭主義であつた。昨年京橋區補缺選擧に於て、何等成算のない秋和松五郎氏を立候補せしめて、僅か八票しか獲得し得ざる場合、なほ勞農黨は、一種の無產階級意識の宣傳戰としての效果をほゝえむが如き、それである。然るに、コミンテルンの決議發表以來、全くその態度を變え、政治的自由の獲得なるモットーを掲げ、理論的にはもつぱらブルジョア民主主義の獲得のために、鬪ふ態度を示した。而し、それは主として、勞農黨の理論的方面であつて、實踐に於ては、なほ、舊のプロレタリヤ××のための政治鬪爭、即ち階級鬪爭としての（戰術としてではなく）政治鬪爭意識が豐富である。而し、これもやがて清算せらるべき傾向にある。

六

隨つて、勞農黨と日勞黨との中には、理論の方面に於て實踐の方面に於てなほ幾何隔離はあるが、他の無產黨よりは比較的接近しつゝ、同一なる方向に合流せんとする傾向を示してゐる（而し、兩黨の內部は相當に清算せらるべき運命を豫想してではあるが）然るに、今回の選擧協定はもろくも打破られてゐる。隨つて、この原因は前述の如く、勞農、日勞の兩黨に於ては、指導精神の根本的差異でなくして、清算せらるべき部分が、まだ清算せられてゐないためからである。

七

されば、反動的、日和見的傾向を有する社民黨、その他の地方諸政黨と日勞黨、勞農黨との關係は如何、……

選擧協定が第二回協議會に於て更も何も一致の點をみ出したといふことは、社民黨、日勞黨に於てはその日和見的傾向を露骨に表明した以外、何ものもなく、その裏面に於ては、却て協定を破るべき期をねらつてゐた樣なものである（今にして思へば）それは（日農黨の指導精神は別問題として）根本的に指導精神の相違する社民黨としてはむしろ當然の成行きの如くであり、また社黨こそ反動的傾向を有する勞農黨側として、當然の成行の樣でもある。只、その比較的中間的位置にある日勞黨としては誠意を以てこの調停に努力し、その成功を希つたことであらう。隨つて、日農黨は、日和見的傾向を有する[illegible]自黨の不利な形勢を[illegible]日勞黨[illegible]らしめたのは、當然の傾向である。

八

今回の選擧戰は、無論開票の結果をみなければ、その勝敗は論ずることは出來ないが、而し、立候補者の數に比較して、[illegible]比較してみることは出來る。日勞黨は十四名、[illegible]九名、以上の[illegible]形ではあるが、[illegible]必ず一名の[illegible]戰を行ふ、といふ方針には些少の隙もない。この戰略的方圖たることは、「無論當選は見込みはないが、この方面にどれだけ無產階級的意識を獲得したかをためすことが出來る」と、ある勞農黨員が語つた事實に依つてもみることが出來る。然るに共に十數名の候補者を立てた[illegible]聲明した如く「亂立をさけて、實質に當選し得る見込の者のみを擧げた」のであつて、當選を目標としてゐることは事實である。而し、このどちらが效果あるかの實際運動として無產階級は、今はこれを論じない。

（七頁ヨリ續ク）任じて戰ひ得る限りを戰はんとする勞農黨等の立候補者のみであらう。が、しかし、[illegible]者として、といふよりは、[illegible]沒落を防ぎ止めむが爲に、縣會議員は縣會議員としての使命と職責とを民衆に公約して當選したにも拘らず、自ら之を棄てゝ他に赴くが如き現縣議の關係總選擧立候補は、絕對に之を排滅しなければならないと信ずる。

李宗仁を主とする廣西派は斯くして蔣介石驅逐に成功したが、次は武漢に於ける唐生智の江南征服と云ふ野心と、利害の正面衝突を爲して昨秋の武漢軍對南京軍の戰爭となり、其の結果唐生智は脆くも破れて日本への亡命となつた事は既載の如くである。斯くして李宗仁一味は武漢に本據を得るに至つたのである。然し未だ南支全體を號令するには實力も無ければ貫錄も之れに伴はざりし爲め、次いで叫ばれた蔣介石復職運動に贊成を餘儀なくされた。蔣介石の復職は汪兆銘との合作の結果である。其の汪兆銘は廣東から李濟琛を拉して上海に赴く際に、張發奎一味をして廣西軍及び黃紹雄軍を廣東より逐はしめた。廣東は廣西派の根據とする所、此の時蔣介石の執れる態度が——汪蔣合作の意よりして——廣西派とつて迅速に都合よく運ばぬ蔣介石に對する廣西派の態度は此の時以來更に溝を深くしたと觀て好いであらう。次いで起つた共產黨の二日天下、廣東には再び李濟琛が鎭坐して廣西派の本陣を固めたが、一方武漢に據つて廣西派は更に第二の策動に動かねばならなくなつた。

武漢に在る廣西派は湖南長沙を占領し先づ湖南湖北の兩省を握つた程である。然し現在長沙に這入つた程潛は國民黨の元老株でかつては湖南軍の總司令もやつて居り、湖南人である彼れが今日まで廣西派と行動を共にしたのは一に湖南入りまでの自我的打算の爲めであつたと觀るべきである。常德に退いた何鍵軍、衡州に退いた劉興軍これ等唐生智軍の殘黨を如何に始末するか、更に隣接の江西に居る云はゞ南京系の朱培德との關係如何、更に改めて湖南を握つた時武漢の廣西派との關係如何等々此れ等は悉く未知數であるが、程潛と蔣介石の關係は合作係でなく非合作である。結局するに廣西派との一致行動が見られる。そこで兩湖を一丸とし、廣東を根據とする廣西派、これが蔣介石との關係は何うなり、更に廣東の李濟琛は何う動く？此處に國民黨の歷史——內訌內爭の觀察より歸納すると三度武漢南京の對立になりはせぬかと云ふ結論に達するのである。併しながら之れはまだ決定的の問題ではなく、今日以後に於ける南方風雲の動きに連れて觀るべき問題なのである。

玆に最も注目を要するは此の武漢、南京と云ふ二つの元素の北方に、馮玉祥と云ふ惑星の佇在する事である。國民革命、北伐等最早其の實在の空しき今日、南方各派各將の北伐觀念よりも更に異つた觀念の下に、遙か以上に北伐を思ふものは惑星馮祥である『啼かぬなら啼くまで待たう時鳥』底の馮玉祥は、長江風雲の動きに寸時も眼を放さぬであらう。それが爲め南京武漢の形勢怪しと見るや、馮は山東侵入の兵を逸早く退けて馮一流の謹愼戰法を採つて居る。廣西派の努力佳しとすれば其の對應策、蔣介石良しとすれば又其れと神出鬼沒の秘策を施して之れに備へて居る。今日までの經過に見れば馮は蔣に好意を有つて居ると思はれぬでもないが、風雲の變化は何時如何なる事態を將來せぬとも限らぬ。或は馮が北に向はする矛を誰れか南に向けぬと斷言し得やう。

長江の東に南京、西に武漢、之れを隔てゝ南に廣東、北に河南あるは現在支那時局の四要處である。錯雜極まりなき形勢の變化は今後此の四つを中心に生ずるであらう。

二月十二日（日堂生）

（三十一頁より續く）

若い前科二犯の小盜は『時代が違つてゐらア』と蔑面白くもなささうに口を尖らして默つてしまつた工場で暴れて獨居に送られた勇敢な利己主義者だ。彼はよく朝起きると朝日は皎々としてい鐵窓をてらすウと頓狂な調子でどなつてゐた。俺はその都度苦笑した房內の苦い獨笑だ。

進め社發行書

農民諸君に訴ふ　一部、十錢

マルクス寫眞集　五十錢

マルクス 哲學の貧困　三十錢

當選した無產黨の人

安部磯雄（社民）

東京第二區に於いて、社會民衆黨首安部磯雄氏は、濱口民政黨總裁の秘書である中島、政友會の大立物鳩山一郎と伍して當選した。安部氏の當選は決して不思議ではなかつた。正々堂々と安部氏は勝つた。殊に安部氏の勝味は、其支持者が知識階級であると云ふ點であらう。安部氏の鬪爭閱歷は、隨分古くからで、明治廿八年米國から歸つて運動に投じて以來、終始一貫、多數の青年を敎育した安部氏が社會主義者なら、社會主義は決して危險なものではないといはれてゐる所を見ても氏の人格と、眞摯さがうかゞはれる。氏の當選は、腐敗墮落せる議會にとつて恐怖と狼狽の因となるであらう。

鈴木文治（社民）

鈴木文治氏の名を知らぬ者は恐らくあるまい、氏は大阪第四區においては日勞黨の大坂本、勞農黨の大橋治房君と對立し乍らも、堂々五千票の差をもつて最高點で當選した。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

何故落選せねばならなかつたか

無産者のすべてが無産政黨に投票する樣になれば、無産黨の對立があつても恐るゝに足らないが、現在の狀勢では既成政黨に奪はれるのが大多數であるから、吾等はこの既成政黨の手に大衆を委ねる事を防止すると同時に、現實を現實として吾等の總選擧戰術は定めらるべきであつた。

しかし、それが不幸にも破壞した爲めに、當然當選して議會において鬪爭すべき人々が落選した。今こうした選擧區の重なるところを擧げて無産政黨の反省を促したい。

東京第五區　加藤勘十君　議會解散當時全國的模範協定區とされてゐたのが、勞農黨の破壞行爲によつて、對立鬪爭となつて惜しくも大敗した。若し、協定が滿足に成立し、共同鬪爭が行はれたなら當選確實であつた。加藤君の一万二百一票に秋和君の三千八百六十二票、小川君の二千七百六票を加へれば一万六千七百六十九票（但し八丈島を除く）となり、佐藤を落し斯波を破る事が出來たのにこの結果を見たのは遺憾であつた。全無産階級の爲めに、選擧協定の破壞者を呪ふ。しかし、如何に大衆の輿望が加藤君に集まつたかは吾人の甚だ意を強ふするに足るものである。

東京第六區　松谷與二郎君　は約五千票の差をもつて次點となつた之亦、協定が出來てゐたなら當選確實な地盤であつた。松谷氏の得票數一万二千四百三十八に南氏の六千六百五十九、爲藤氏の五千九百三十八、橫田の二千百四十七を加算すれば最高點と迄は行かずとも、第二位で當選出來た譯であつた。

東京第四區、此處は勞農、社民の對立になつてゐる。協定成立すれば、當選の出來るところである。宮崎氏の三千五百八十一に唐澤氏の二千八百四十五を加算すれば六千四百二十六になり動かす事の出來ぬ勢力で當選した譯である。

神奈川第一區、こゝも協定すれば當選の出來る地盤である即ち、社民の岡崎憲君の一万二千五百四十八票に、勞農の神道寛次君の六千七百六十票を加算すれば一万九千二百九十八票となり最高點にて當選出來る譯であつた。

× × ×

以上によつて對立鬪爭が不合理であるのを知る事が出來る。しかし對立候補の形をもつて表はれず共同鬪爭の美名をもつて表はれたと云へ宗派的分裂主義の策動を全無産大衆はいやと云ふ程痛感した。共同鬪爭の名は甚だ美しいが、その美名の下にあつて彼等は、事實において攪亂の所行を爲した。されば、吾人は宗派的分裂者たる勞農黨の一部の人々の排除を條件として戰ひ進めねばならぬことを感じた。が、大衆には明かな目があつた。かゝる勞農黨のダラ幹に對して明かな不信任を揭げ出した。

では分裂主義者は一體如何なる事をしたか。その一つを示して諸君の自覺を促したい。

加藤氏の演説會において、加藤氏は反動主義者である等々のあらぬ中傷をもつてその當選を妨害した。その他數へ來れば枚擧にいとまが無い。これ等の分裂主義者の特徵は正々堂々と爭ふところが無く、常に裏に廻つての陰謀である。

無産運動の裏切者によつて、當選すべき人々が空しく落選し、議會に力を增さなかつたのを惜しみ、同時に、分裂主義者の排除か合同問題の絕對條件である事を確信する。（神庭）

各無産政黨總得票數

日本勞農黨	九、三四七七
勞働農民黨	一八、三六九四
社會民衆黨	二一、四九五九
日本農民黨	四、三一〇七
地方無産黨	四、〇一三二

一人當り平均得票表

日本勞農黨	六二三二
勞働農民黨	四八三四
社會民衆黨	六七六二
日本農民黨	三三一六
地方無産黨	八〇二六

當選人數表

日本勞農黨	一
勞働農民黨	二
社會民衆黨	四
日本農民黨	〇
地方無産黨	一

大橋君が七千百十九票をとつてゐるところを見ても無産者の確固たる地盤である事を思はせる。大橋君と、坂本の協定がなれば今一人は當選できる地盤である。

鈴木氏の關係は此處にとりたてゝ云ふ迄もなく、總同盟の前身友愛會を組織し、爾來勞働運動を指導して今日に及んだ。大正十二、十四、昭和二年と國際勞働會議に出席した事は周知の事實である。名議長として知られ總同盟、社會民衆黨の大會には必ずその正副を議長席に見出來る。やがて衆議院議長として活躍する日も遠くはあるまい。現社民黨中央執行委員。日本勞働總同盟會長。

西尾末廣（社民）

大阪第三區定員四人の内の三位として當選した。關西勞働運動の鬪士、雄辯と智謀を以て世に鳴る。勞働運動で檢束された最初の人、關東の松岡と竝んで總同盟の双壁であり、右翼の運動にはなくてはならぬ人物である。安部の人格、西尾の智謀、鈴木の動を議會に送つた社會民衆黨は絕大な收穫であると云はなくてはならない。

全無産大衆と吾等の代表へ

工藤勝市

一、選擧協定を評して

過般の總選擧は實に帝國主義ブルジョアジーと無産大衆との政治的階級戰であつた。此の最も重大な階級鬪爭に於て我等の信望を裏切られた事は返す／＼も遺憾至極な事實である。

日勞黨、勞農黨の選擧協定決裂の報一度發表せらるゝや吾無産大衆の嘆きはどうであつたらう。私は此忌ましい事實に鑑み、一つの批判を記し、全無産大衆に訴ふものである。

抑も選擧協定は分立せる無産政黨の鬪爭力を最大限度に結合し、全無産大衆を一焦點に進め、最も强固な、最も大なる鬪爭力を以て帝國主義ブルジョアジーと鬪ふを目的とするものであつて、決して或分子の小兒病的感情の縺れから決裂の如き悲境を見る樣な單純な一時的のものであつてはならない。

總選擧に於て、大衆が大衆自身の手によつて、破れた協定を再び强く生かし、戰ひ勝つた事實に照らして、我々は決裂を以て、幹部の小兒病的感情の衝突、兩黨幹部は全體的階級見地に缺亡し、選擧協定それ自身が不撤底、不明確であつた事かの何れかに斷定する事が出來る。又もし大衆の絶へざる要望の致す處、と詭辯するならば、何故彼等は階級的道德を高調して、協定したかを疑ふ。いづれにせよ、明かに非階級道德的、無産大衆僞瞞行爲に外ならない。私は罪は大衆にあらずして、幹部にありと斷定する。所以は彼等は大衆の所謂、止み難き要望——眞實の要求として一般が認め得る場合を云ふ。然し、私は選擧當時、東京第五區兩無産候補對立に對する大衆の迷盲焦眉の動搖を見て、決してこれを大衆の止み難き要望とする事は出來ない。寧ろ支部聯合會幹部の全體的階級的見地の缺亡に原因すると決する事が出來ると思ふ——大衆に對して、果して表面的な動搖を防ぐための協調が出來得なかつたであらうか？無産大衆の輿論が此の疑點に集中されるのも亦、當然である。

選擧協定の目的は、決して對立候補讓避のみに止まらず、事情止み難き場合に、結合して排既成勢力の協定をも意味する事は誰しも囑望し、確信する所である。

我等は此意味に於て兩黨幹部の輕擧盲動による、階級的道德蹂躙を憎恨し、責任は兩者にありとし、忠告且つ、速かに協同より合同へと、眞實にして大衆的な道を踏まれん事を望む。而して我等は大衆に向つて、階級的道德を泥土に委ねる、宗派分裂主義者と、小兒的感情主義者の徹底的排除を叫び、大衆は大衆自身の手によつて自ら解放すべく努力をせよと叫ぶものである。

全無産大衆は此期、猛然と起つて、一大抗議を提出せよ。戰線統一を叫んで。すべての自由を要求して。——諸君の政黨に。——諸君の國家に。

諸君の前には鬪爭あるのみだ。そして黎明あるのみだ。

二、彈壓に抗せ

制限議會が解散されて、不完全ながら民衆政治の曉鐘が打たれてから、暴壓はいよ／＼その勢ひを增した。見よ！總選擧に於ける不合理極まる、あの彈壓事實の數々を！殊に時代の推移の何たるかを知らず、吾思想、藝術の本意を含味せず、專ら、特權階級の忠實なる××としての官憲の頑迷固陋な頭腦の處斷に依りて、吾無産階級運動は峻烈な××を加へられた。そして明治二十六年公布の出版法、新聞紙法と、反動の合法的武器治安警察法、治安維持法等々の總ゆる法權の下に、發禁、上演禁止、解散、××等横暴の極を盡した。彼等は斯くする事によつて帝國主義、軍國主義、資本主義の××を速かならしめたのである。今や彼等は我思想、藝術の××的躍進を喰ひ止めんと必死の努力を××××に亂舞せしめて居る。

然し、彼等が如何に亂舞しやうと、如何なる手段方法を以て大衆を僞瞞せんとしても、時代の推移に伴ふ社會進化の必然的結果として、其精算は濟んで居る。最早大衆は

水谷長三郎（勞農）

京都第一區において當選した水谷氏は今年卅二才の青年、日本農民組合の顧問辯護士で、農民運動に努力してゐる事は誰知らぬ者とては無い。與太としても知られ、多少輕卒なところはあるがウンと元氣のいゝ所を見せるのも無産黨代議士の任務であらう。

山本宣治（勞農）

京都第二區より出馬して見事當選した。氏は産兒制限論者として世に高い。かつては同志社大學に教へてゐたが、京大事件と關係してからはそれを止め、專ら勞働者の産兒制限の相談を引受けてゐる。勞働學校の山本の講座の時には、押すな押すなの滿員とある。やがて、氏一流の快論が議政壇上の呼び物となるであらう。無産政黨は仲々智識を網羅して面白い。

河上丈太郎（日勞）

兵庫第一區において、府縣議戰に當選した。坂本勝君の地盤から打つて出で當選した。關西學院教授、全日本農民組合顧問辯護士として活躍してゐる。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

完全に彼等から逃避した。現實に逃避せざる如く見ゆるのも、それは要するに一時的妥的のものであつて、決して不可能性の永久的なものでは絕對にない。やがて強い反抗勢力となつて速かに社會××を決行させるものである。

抑も立法の原則は全大衆の惡影響を社會から隔離し、又は社會的煽動或は惡習の感染を未然に防禦せんとするにあつて、決して財產權の損害、民權擁護の否定にあるものではない。亦目的が忠實なる社會運動の暴壓で無い事も明たる一般的原則である。然るに何ぞ。當局の横暴なる物質的制裁は。徒らに權力の彈壓を振かざし、民衆を僞瞞威嚇し、飽迄法權によつて長生せんと努力してゐる。知らずや。自己胎內に多くの革命要素の卵子を成長せしめつゝある事を。

吾等は果して過去に於て當局の壓迫に値する如き事實を現出せしめたであらうか？人權擁護の叫びと云ひ、自由の要求と云ひすべてが正義の叫びであり、民衆の堪へ忍びない最後の苦痛の訴へではないか。然るに法權を以て、その全民衆の要望を蹂躙迫害するが如き不合理極まる事實が人間社會に二つとあらうか。これ實に周章狼狽の戰慄と利己主義的專制意志の不可能性を露骨に現はした資本主義沒落の事實に外ならない。

我等は最早、法律を以て階級支配の最も精鋭なる武器たる事を決定し得た。そして權力行使は金力による特權階級の專制意志の強制的暴力行爲たる事をも知つた。と同時にはつきりと資本主義制度の全崩壊を近くに見る事が確實となつた。我々は完全に資本家階級を戰慄せしめたのである。然し、我等は、現今法權は特權階級の君臨する限り、いかなる手段方法を選んでも我無產階級運動はより強烈な彈壓を受ける事は覺悟せねばならぬ。

三、吾等の代表へ

我等は今回の總選擧に於て、たとへ少數たりと雖も、我等の代表をあの搾取と、僞瞞との上に立つ罪惡の殿堂、醜議會へ送り得た事は、多年我が被搾取階級の、ブルジョアの暴壓に對する反抗による、不斷の政治的自由要求の必然的結果に外ならない。斯く我等の代表を送り得た以上は、徹頭徹尾、猛烈な攻勢を以て、速かに敵を撲滅せねばならぬ。

今や全民衆の要望は我等の代表に集中された。我等の代表の責任、重且大なる事は今更喋々と論ぜざるも、より堅固な覺悟が必要である。勇敢に、大膽に、細心に、我等の目的を如何なる手段を以ても貫徹せしめねばならぬ。

我等は先に小兒病的、小感情的幹部によつて無產黨選擧協定決裂に至つた。我等の代表こそ決して大衆を裏切つて此二つの蹉跌を[illegible]勿れ。すべての小兒的感情を棄て、小より大に、すべてを大衆の叫びに立脚せしめよ！

全被搾取階級の生命は諸兄の双肩に負はされてゐるのである。

先づ我等の代表は、最も力強き大衆的抗議を彼ブルジョアに叩きつけよ！　叩きつける抗議とは抗議者の如き女々しきものにあらず。日常の迫害と××とに報ゆるに、言論を以て、××を以て戰ふ意だ。すべての罪惡を完全に暴露し、全大衆に訴ふるのだ、奮起せしめるのだ。そして第五十五議會は即座に解散せしめ、飽迄我等の社會を我等自身の手に奪還せよ！（完）

珍妙な「中止」

地方へ行つて色々面白かつた事が澤山あるが、山陰地方の臨官の「中止」振りを紹介しよう。

一番奇抜なのは芝居のせりふの樣に長くて封建臭い中止である。

「辯士、論旨過激に渉り中止を命ず、退れい」辯士すかさず「ははあ」聽衆思はず總立ち。

次は辯士の方で田舍巡査だと思つて「中止」を命ぜられても、「後一分ですからもう少し負けて下さい」と喰つてかゝれば、臨官目をむいて「まからん」とは商賣人の喧嘩の樣である。

少し御丁寧なところへ行くと、「辯士御中止申上ます」とある。

中には角力の樣に「中止」と體あたりでくる奴がある。「一辯士」と云つてつかつかと壇上へ上つてくるから、之は檢束だなと思つてゐると、辯士を卓をどんと叩いて「中止」とくる。辯士が啞あつかひされた最初である。

こうした「中止」「注意」の連發の中を民衆を相手に戰つて來た。

淺原健三（九州民憲）

氏は福岡縣第二區に於いて社民黨の龜井氏と競つて第一位の榮冠を得た。九州に於ける社會運動家の重鎭である事は云ふ迄もない。

氏は中央大學を出るや政友會院外團中心に入つたが、あの鐵而鋼志の許さゞる所あつてか脫退し、八幡製鋼所を中心に日本勞友會を組織し、大正九年二月、九州の天下を動搖せしめた所の大罷業を決行せんとして破れ、遂に入獄の身となつた。かつては勞働總同盟中央委員たり九州鐵工組合長たりしが、現在は九州民憲黨の執行委員長である。吾等は氏を無產黨の一代表者として一層の奮鬪努力を期待し切望するものである。

龜井貫一郎（社民）

淺原氏と同じく福岡第二區で立候補し淺原氏に次いで當選した氏は、帝大を出でゝから外交官補を轉々としてゐたが、現在は社民黨中央委員で大講師である。二氏共に立つて、共に當選したのを見ても、無產黨の金城鐵壁の地盤たる事を思はせる。定員五人の地內で現在でも無產黨四人の當選は確實であるらしい。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

進め社だより

正誤 二月號の「進め」に可成り校正の間違ひがあつたのは筆者及び讀者諸氏に取つて迷惑であつたことと存じます。別に云ひ譯をするつもりではないが、何分、解散直後、選擧の準備とカチ合つたのであの樣な不始末です。左の如く訂正します。

十一頁の上杉定義君の『無產農民黨の威力を示せ』は『無產農民の威力を示せ』であり、二十一頁の『世の中は人間の生活だ』は筆者初田季太郎氏の名を落してゐました。三十二頁の吉田金重氏の創作は十三頁三段へ反つてゐます。註を入れなかつたのは非常な失策でした。五頁二段十一行目の日登氏の「進む以上に」の下に「重大且緊要な問題である。」を挿入します。此處に訂正しておきます。

◆籠城苦戰記

今日は投票日である。一ケ月の物すごい政戰も一段落ついて、其結果も二三日の中に全部發表される譯である。此戰塵の中に私は本部に籠城するの餘儀なかつたのは可成り苦痛であつた。間斷無く戰場より來る飛電と未知の同志諸君より來る本社の福田氏に與へる激勵の手紙が机の上に山積された。日勞黨の田所君に云はせると籠城は皐が枯れないだけ樂だと云ふけれど返つて苦しい。活動が出來ない事が最大の一つ、色々な雜務が一身にかゝつてくる事が一つ等々、私は大阪事務所籠城の吉田君と手紙をもつて嘆じ合つた。私は全力を擧げて「進め」の編輯に當つた。二三と發行が遅れたのはこの關係であつた。

しかし、私の籠城の髀肉の嘆を癒すものが無いでもなかつた。「進め」の充實に努力する事と、次の如き同志諸君の友愛と激勵であつた。

[illegible]或る四五の同志はその貧しい財布を空にして迄も福田氏に宛てゝ軍資金の一部にと云つて送金された。同志の金は一錢たりとも血と鼓動がひそまれてゐる。本社は直ちに山陰の激戰地へ向つて送金した。同志諸君の熱誠は必ずや福田氏の當選を見、その他全無產候補の大勝利を實現するであらう。こゝに紙上をもつて感謝の言葉を送る。之愉快なりし一つである。

[illegible]山陰の福田氏の應援に行つて下さつた同志諸君、黨本部、組合同盟、全日本農民組合、全國婦人同盟、全國藝術同盟の諸君が寢食を忘れての活動であつた私が激勵の電報を打てば、倒れるまで戰ふの返電がくる。之無產政黨なればこそ、既成政黨の味ひ得ざる所で、之亦愉快なりし一つである。

[illegible]夫に本部の多忙を見兼ねて、職業をもつてゐられる工藤君、太田君、等が發送校正の勞を取つて下さつた事である。ある一在京の讀者がわざわざ訪問されて勞力の寄附を申出られた事等々愉快なりし一つである。その他電車の中、驛の小荷物係の諸君、商店、ビルヂングの休憩室において無產黨に同情ある談話、朝日新聞の公正なる社說等に、愉快なりし事多く籠城の憂鬱を慰めるものであつた。

しかし、最早や籠城の日も今日一日となつた。小川、上杉、大谷、谷口の諸君も戰場から元氣よく歸つてくるであらう。もう投票の結果を氣つかひ乍ら汽車に乘つてゐるかも知れない。同志、赤尾は松本五十聯隊にて銃をもつて總選擧の結果を待ちわびてゐるであらう。私は赤尾が兵營の中で萬才と怒鳴る程の選擧の結果を得る事を祈つてゐる。

總選擧は終つたが、吾等の戰ひはこれからだ。選擧以上の戰鬪は開かれる。鈴木内相の發表した聲明書は何を意味してゐる專制主義的色彩を濃厚ならしめた政府は、その矛先を必ずや吾等の陣營の攪亂に向ける。之に備ふる力は、戰線の統一である。吾等は選擧協定の破壞を以て統一の前途を悲觀してはならない。

當選した議員の議會における行動と、大衆のそれを後援する運動の展開が必ずや、かゝる危險を切り拔ける事を確信する。

二十日、(神崎)

◆同志諸君へ感謝

進め社の同志諸君の熱烈な應援の下に立候補した私が不幸落選したのば返す返すも殘念であつた。然し、私の落選は普通の敗戰では無い。充分効果を得た戰ひであつた事を信じたい。私の得票は四千百餘票で既成政黨に大衆を奪はれたのは遺憾であつたが、得票中の半分は未組織地から獲得したものであつて、今後の組織運動を進める基本となるものだ。尙、私達の演說會には約五万の人を動員したが、この結果は有權者のみならず、青年に大なる感激を與へた事實に徵しても、今後の運動の有力さが偲ばれる。

兎に角すべての點に於いて、今度の選擧は今後の運動の土臺を作つて吳れたから、大效果あつたと嬉んでゐる次第だ。

こうした有意義な戰ひが充分、大々的に出來たのも皆「進め」同志諸君の御後援の賜である。

激戰中、色々、激勵の手紙、電報、或ひはその小遣を割いて迄應援の金を送られた同志諸君に、私は云ひようの無い喜びを感じてゐる。諸君のこの友愛に酬ゆる事は、たゞ運動を進めて行く事である事を信じてうたがはない。私は奮鬪して諸君と共に目的を貫くであらう。

同志諸君に對して此處に感謝する次第である。(福田)

◆戰ひより歸りて

我等無產政黨の始めての政治戰線であつた所の總選擧に直面して日夜苦戰奮鬪した戰場の跡を思ひうかぶれば、轉た感慨無量である。朝の八時から起きて何村の演說會だ——そら辯士隊第二班出動と朝食も食するいとまなく二尺以上降り積つた雪の中を昨日は一里彼方の農村へと前進した。今は怒濤さかまく日本海の漁村へと常に社會正義の旗をふりかざし天下社會を論じた。そこには血のにじむやうな頭腦あり、又他面には涙の出るやうな暖い同志の愛情に泣かされた。社會正義の爲め自由とパンの爲め全無產階級の解放の爲と思へば如何な苦痛も嬉しい物語りとなつた。　(小川)

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

搾取行刑政策と自由勞働者の失業關係（一）

加藤利藏

行文の便宜上、自由勞働者の過半が刑餘者である事と、（主として都會地に於ける）受刑者の過半が（都會地所在の刑務所に於ける收容者にあつては八割強が）入所の前後に於いて、自由勞働の境遇に繋縛する人々である事を前掲して置く。

自由勞働者が、自由勞働者てふ現實に至る迄の個々の經歷を聽くに――詳細は省く――生來の自由勞働者は極めて僅少であつて大部分は、智識階級及遊民階級よりの沒落者、工場勞働者の過剩分子の轉入、及び智識階級若くは遊民階級たらんための手段として暫居する者等によつて占められてゐる。

然して、智識階級の失業者並に工場勞働よりの失業者の率の增減に連れて自由勞働市場への轉入者の數にもそれ〱增減はあるが、只此の間、智識階級または工場勞働より直接自由勞働市場へ落ち込む人と、幾許かの經路を彷徨したのち轉入してくる人との二通りあるやうである。

尚轉入者の數に就いて工場勞働者と智識階級との比率を見るに、前者は後者の遙かに倍大を示しつゝあり、日本に於ける最近、勞働界の需給の狀勢を觀るに、逐年此の轉入者の率が增大しつゝある。

然して市場に於いて、總有業種を含む勞働需給の關係は同一利害の圏線に消長するものなるが故に――局部的な、一時的の變則狀態の場合を除き――他の勞働市場に於いて供給過剩の現象を生じたる場合には、原則として、自由勞働市場に於いても同一事態の發生するは當然の事である。

然るに上に述べたる如く、自由勞働外の勞働市場よりの過剩分子には、まだ、自由勞働市場と云ふ生活轉換の最後の島があるが、年々それら勞働市場よりも過剩率に於いて、加速度的な昂進狀態に惱みつゝある此の「最後の島」より摘み出されたる「純失業者」の群は果して何處の地に向つて其の暗憺たる生活行路を進めつゝあるか？

直前に展開されつゝある社會相の表裡を、少しく深靜に凝視する者の眼には容易にそれら慘痛の極みの中に惱亂の歩みを難じてゐる幾萬の人々の姿を看取する事が出來るであらう。

即ち、日々數百人、刑務所の鐵門深く吸ひ込まれて行く人々の姿がそれである。

飢餓と病苦に追ひ詰められて、生きたる骸骨を路傍に曝す行路病者、或は、解剖臺上に有產學究の解剖資料に供せられる日々數十人の行路病死者、獄死者の姿がそれである。

日本全土の各所に散在する監獄部屋に於いて、牛馬の使役にも劣らざる苦役を強迫されつゝある現存奴隷の姿がそれである。

如斯き全體より觀ての人間生活上の重大問題――殊にそれらの問題に對する國家としての責任當局に衣食する官僚や學究の如きは、裡面においては兎も角として表面上だけでも聲を大にして「人道上、或は社會問題上の重大事である」――などゝ云つてゐる――彼等は果して如何樣の對策を講じてゐるか。

彼等が窮餘の一策たる救濟事業の企工內容、其の他一二の對策と稱するものゝ內容、或は戰後の說明としての理由――不景氣、人口の過剩――等それら總體的な對策と稱するものを觀ずるとき、何時もながら、耳を掩ふて鈴を盜むに類する資本主義機構の矛盾、僞瞞する狡猾、殘忍の形相を洞見するを得て、情熱熾々として層一層反逆に燃ゆるを禁じ得ない。

然しながら人口增加に由る供給過剩、或は金融の不振による不景氣等が原因となつて、逐次他の勞働市場より年一年深刻の度を加へつゝある自由勞働市場の失業不安の因縁となりつゝあるの點に就いては筆者は必ずしも否認するものではない。ではないが、それら酸鼻極まる假死的生活圏內に喘いでゐる幾萬の失業者群を「救濟」するといふ高らかなスローガンの下に計畫される所謂救濟事業と稱する――それも例年定期的に切迫詰つた失業者群の狂喚に脅かされた後に絞り出す燒石に注ぐ一滴の水の例にも及びも付かぬ程度の、ホンの申譯的な方法の下に、一少部分の失業者に瞬間的な施しをする事によつて能事終れりとなし、それも爲さゞるよりは幾らかの功德にはなるであらうが――死の淵に喘いでゐる他の幾倍、幾十倍の失業者の群の如きも、無論均分に其の大恩惠に浴してゐるであらう――と迄はいかに倒錯せる頭腦の持主である彼等にしても考へても居まいだらうが「不問に付してゐる」事だけは事實である。

此等の問題に就き更に追求すれば彼等は最後の辯明として上に述べた、金融の不振と人口過剩とを繰り返すのみである。

尤も資本主義產業組織の副作用として必然に生來したるこれら失業問題のそれに對しては、それが彼等[illegible]の代辯役である彼等官僚や學究の立場としては此れ以外何等かの異つた方策を樹つる事の不可能なるは蓋し當然であらう。（以下二十九頁）

支那に於ける農民問題の一考察（二）

日堂則義

緒論

一切の古代國家の成立の歴史は農民抑壓の歴史であつた。これは若しも國家の本質を究めるならば、今更喋々たる說明を要せずして肯かれることである。吾々の文明は實に此の農民の屈從的勞働に依つて齎された悲慘な歴史的記錄の累積である。最初は牧畜民に、次いで貴族に、武士に資本家に、或は半自由民として、或は奴隷として、又或る時は農奴として、現在に於いては小作人として世の最下層に踏み躙られて來た彼等の運命は、實に悲慘な事の羅列でなければならない。

彼等の自由は國家の成立を最後として今日に至るまで數十世紀の間奪はれて來たのである。

今日の科學的社會學は、吾々の社會が原始時代からの進化過程に在るものであつて、狩獵期遊牧期若しくは低度の農業期を經過して來たことを敎へた。そして狩獵時代の社會には全然國家形成の不可能なるを示した。如何となれば、國家の本質は比較的恒久的な政治的抑壓即ち經濟的搾取であるが故である。此の社會の人々は個々獨立的に生活資料を求めて放浪するものなるが故に、一が他を恒久的に抑壓して置くことは不可能である。何んとなればかゝる狀態の生じた場合、後者は必ず何れかに逃れて其の抑壓の手を免れるであらうから。併しながら、農民は其の本質的立場から一定期間若しくは永久に土地に定着してゐるものであり、然も其の土地に依つてのみ生活資料を獲得するものなるが故に、此の土地の支配を完全にさへすれば、自然の理として農民を抑壓し搾取することが出來るであらう。此處に於てか、農民には國家成立の要素が比較的多分に含まれて居ることを知るであらう。かくて成立された國家を原始國家と名付けるのである。

何れの原始國家も階級制度として貴族、自由民、半自由民、奴隷を有する。國家の成立後、定住生活が展開されるにつれ、食料品の需用が增加し、それと共に處女地の開拓が盛んに行はれた。從つて農業は國家に於ける基本的產業となつたのである。然らば一體農民問題とは何か？ 概說して謂ふ所の農民問題には凡そ下の如き問題を包含して居る。即ち

一、**土地問題**
二、**農民經濟問題**
三、**農業生產問題**
四、**農民敎育問題**

所謂農民なる文字には大農、小農、自作農、小作農及び被傭農等を含むのであるが、一般的には土地生產に從事する者自身を言ひ、勞せずして獲る地主、農場所有者等は之れに含めない、農業勞働者が農業生產に從事するに當つて必ず備へなければならぬ二個の條件は、第一には生產の可能なる土地であり、第二には農具、肥料、種子及び相當なる資金を有する事である。前者に因つて所謂土地問題が生まれ、後者に因つて所謂農民經濟問題が生れる。故に土地問題と農民經濟問題は農民問題中の最も重要の部分を占め、農民生活と最も緊切なる關係を有するものである。農業生產を如何にして增加せしむるか、農民敎育を如何にして普及せしむるかに至つては、一般社會經濟、一般社會文化と相關し、其の利害はたゞに農民自身のみに存するもので無い。從つて農民問題中、比較的重要ならざる問題となつてゐる。

土地問題と農民經濟問題とは最も重要なる二個の問題であるが、土地問題は農民經濟問題よりも更に主要なる地位を占めてゐる。何故ならば、農業生產に於いては資本の地位は工業生產のそれの如く重要ならず、之れに反して農業生產に於いては土地は資本より更に重要である。土地問題の解決に依つて農民問題は大半を解決される。現代の農民問題に於ては肥料の公平なる分配に非ずして、實に土地分配問題こそ最も重要視されるのである。殊に封建制度と大地主階級との未だ消滅しない國に在つては、所謂農民運動と農民革命とは專ら土地運動と土地革命とを目標としてゐるのである。

歴史的事實は暫く措いて最近の事情を見やう。歐洲大戰後に於いて工業勞働者の革命運動を除けば、最大なる社會運動は恐らく農民の土地革命運動であらう。此の全世界に普遍せる土地運動を英國の著名な著作家チー・チェスタートン氏は『綠色革命』と稱してゐる。それは綠色は國際的なる農民革命運動を象徵するものであり、綠色革命は實に國際的勞働者運動の赤色革命と相對照されるものである。大戰後、東歐及び中歐の帝政が破滅し、中古から遺留され來つた封建制度の餘跡が一齊に崩壞するや、露西亞に於いて、墺太利に於いて、匈牙利に於いて、ブルガリアに於いて、ルーマニアに於いて、チェッコスロバキアに於いて、伊太利に於いて到る處廣大なる農

民運動の發生があつた。此の農民運動は多くの地方に於いて、武力革命の形式を取らずして、政策及び議會活動の方法に依つて農民自身の利益を計つた。其の結果は、かゝる「靜かなる革命『血を流さない革命』が却て到る處に成功したのである。東歐、中歐一帶に於いて政府は農民の政治的勢力の增大、輿論民意の赴く所に見て、一種の急進的な土地政策を採用せざるを得なかつた。或る國家は土地を一律に國有となし、或る國家は農民のみに土地所有を許し、或る國家は大地主の發生を制限した。かゝる土地政策には或ひは急進的なると緩慢なると、又國家的なると社會的なるとの不同はあつたけれども、其の結果に就いて見れば農民はすべて勝利に歸したのであつた。

　英國及び北米合衆國に至つては、工業革命以後、封建的大地主は已に早く消滅し、土地革命は既に過去の歴史的事實となつてゐる。併し工業の過度の膨脹の故に、農民は工業資本及び商業仲買人の剝奪壓迫を受けて、農民の經濟問題は土地問題より更に重要なるを示してゐる。近來、農民の強き要求に因り、政府は或は農民金融の便を開き、購買組合を獎勵し、農產物市場を調節し、生產方法を改良する等種々の大政策を採用し、以て農民の利益保護に當らねばならなかつた。最近の米國に見るも政黨は努めて農民の爲めに好意を示す政策を掲げてゐる。之れを要するに農民運動の勢力また輕視すべからざるものがあるのである。

本論

　支那に於ける農民問題は如何。世人は支那が一個の農業國であり、全體人口中、農民は凡そ百分の八十以上を占め、その總數は少くとも三億はあることを知つてゐるであらう。併しながら數千年來、所謂『士大夫』の支配下に在つた支那の農民は、永く支配され、放棄され、蔑視されて來つた。かゝる狀態は數千年來のことで──皇帝を上に戴いた頃から、皇帝無きに至るまでさうであつた──確たる土地政策、農民政策は從來全くあり得なかつた。幸ひに支那の廣大肥沃なる國土の爲めに、又大地主比較的少く、從來農民は自然の恩惠に頼つて何うにか其の日を過して來た。が併し、最近に至つてはさうでなくなつた。生產方法は改良される事なく、水旱災害は防止されず、加ふるに年々繰返されて絕ゆるなき內亂と人禍とは、全國の可耕土地を增加せしめざるのみか反つて減少せしめて居る。同時に農民の人口は日々增加し、土地は漸く耕作に不足し來つてゐる。農民より得る所の生產品は、國税地租を納むれば餘す所僅少、極めて簡單なる、乃至は非人間的な生活をなさんとしても、現在ではそれすら不可能なる窮境に陥つてゐるのである。

　一般農業勞働者の生活が斯の如く勤勉なる時に於いて、猶ほ農民の勞力に頼つて生活する寄生階級は依然として存在してゐる。或る者は支那には大地主階級の存在なく、土地問題は十八九世紀に於ける歐洲の如く切迫してゐないと云ふ。だが事實上、中小地主は到る處に存在してゐる。依據すべき確たる統計は無いが、支那に於ける農地の半は非農民の所有する所となつてゐる事を我等は深く信ずる。成程大地主は少いとは云へ、中小地主の數は却て多數である。又支那には從來小作法、農民法がなかつた。國家は農民が地主の剝取を受ける事に對し何等の制裁をも加へなかつた。かの田賦制度の如きも、數百年來の舊制を踏襲して各地めいめいに行ひ來つたものである。かゝる狀勢の下に在つて、支那には今や一個の急進的な土地政策なくしては濟まされなくなつて來たのである。

　更に東西の資本帝國主義の侵入以來、農業國支那は既に工商業化の時代に入つてゐる。此處に於いてか農民の困苦は更に從來よりも甚だしくなつて來た。地主の搾取は例外として、經濟上農民は少くとも三重の搾取を受けねばならなくなつた。第一は外國工業資本の搾取、第二は本國工業資本の搾取、第三は城市及び郷村の大小商人及び一切の中間者の搾取である。東西の資本帝國主義が支那から[illegible]して去るものは、實際上に於いて殆ど全支那農民の膏血である。（支那本國の工業未だ發展せず、農民が唯一の生產者であるが故に）之に加へて農民は實に多くの本國の新興商工業者、中間業者及び地主を養はねばならない。斯くして農民は經濟上に於いて三重四重の奴隷となつてゐるのである。支那に於ける農民經濟問題が解決を要するの急なる以て想ふべきであらう。

　農業生產問題、農民敎育問題に至つては社會全體に影響するものであるが、然し最も緊切なる關係を持つものは依然として農民自身である現在支那の農民は、いま尚ほ拙劣なる方法を用ひて耕作に從事して居るか、其の間に何れだけの汗血勞力を消費して居るか譯らない。農民は又殆んど總てが無氣骨の無知識者である現代文化の世に在つて、斯かる[illegible]勞苦の生活は洵に人道上の立場からしても問題たるを失はぬ。然るに三億と云ふ多くの支那人が、斯くの如き生活を日夜續けてゐる事を世人は[illegible]

　從來、非人の生活は奴隷的であり、[illegible]の上に支持されて來たのである。（未完）

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

全土戰報

不當檢束さる」の記

去る一月八日夜、正月休みに貼り殘つた宣傳ビラ（別紙樣ノモノ）が、未だ四五十枚殘つて居たので月島方面へ貼りに行つた。あと四五枚になつて運惡く巡廻中の巡査に捕つた、勿論署へ連行された。二三訊問の後、私を留置場に監禁せんとした。私は何の故であるかを訊ねた。曰く、他人の建造物に無斷で貼紙をしたのが警察犯處罰令に觸れて居ると。更に聞いた、單に其れ丈の事で監禁せんとする理由の如何を。曰く文窓が不穩だ、曰く、逃げられると困る、等々。暴壓的にも遂に私を留置場に押入れた。翌午前係員の訊問があつた、さうして次の樣な言渡しがあつた。「警視廳と內務省に照會しなければならぬからそれまで入つて居れ」と。それから間もなく强制的に私の寫眞を撮つた。午後四時再檢束、十日午後二時過ぎに至つて釋放された。此時係官の曰く、「今度だけは赦してやるから科料金壹圓を置いて行け」諸君よ、私は科料金壹圓の罪を犯して二日間故なく檢束されたのだ。更に曰く「どうだもう斯んなつまらないことはやらないか」私は答へた「他人の建物に無斷で貼ることだけは止しませう」と。今度だけは赦してやる、何を赦してくれたんだらう……斯んなつまらないこととは一體何のことだらう。警官達の斯ふした言葉、之が彼等自身の心から出た言葉で無いことを知る時、俺達は獨り彼等を憎むことは出來ない。彼等も無產者なのだ、無產者である以上經濟的に資本家と異つた何等かの理想を持つて居るに違いない、さうして彼等が血あり淚ある人間であるならば、其理想は社會的なものに違ひない。さすれば其處には必ずや俺達と一致したものがある筈なのだ。此意味に於て俺は監禁中看守の一人に言つた「世界中の人間は皆俺の味方だ、血あり淚ある眞實の人間ならば皆俺達の味方なんだ。だが今の世の中には同志の恨みを買つてまでも、己れの理想に反した行動を敢てしなければ、其日から生活に困る人達が澤山居る、斯ふ人達は實に氣の毒だ」と。實に警官達も俺達の同志なんだ。彼等も資本の爲め壓迫されて居るんだ、否彼等は同志の他達に暴壓を加へなければならない程、其れだけ俺達よりも餘計に壓迫されて居るんだ。彼等は俺達の樣に社會の爲に運動すべき寸隙の餘地さへも與へられて居ないのだ。之を考ふる時、實に憫惻の情止まざるものがある。

資本家とても俺達は之を憎んではならない、彼等だつて人間だ。生ある間は彼等にも血は循つて居る、淚もある、人間として情は持つて居るのだ。が彼等は人間性の純情を無視するまでに、資本魔の爲に迷はされたのだ、社會はそれ程迄に彼等に資本に對する憧憬を持たせたのだ。つまりは社會が惡いのだ。彼等は可愛相だ、否彼等こそ可愛相だ……可愛相だ、實に可愛相だ……八千万同胞の永への世を現在の矛盾と困窮の淵から救ふ爲には、同胞と雖ども……うむ、俺達は躊躇してはならない。……彼等こそ可愛相だ。

諸君、私は二日間と云ふものは不法にも月島警察に監禁せられた。頑丈な格子のドアー、高い金網の窓、何一つとして無い一坪の、さうした室に起臥の自由さへも許されず、三枚の毛布に寒夜を徹しなければならなかつた。だが諸君、私達の斯ふしたこと位、幾百千萬の同胞が寒さに顫へ、飢に泣いて居ることを思へば何でも無い。又幾万の兄弟達は久しい間牢獄に繫がれて居る、法の名の下に無慘にもこき使はれて居るんだ。政府がそれによつて得た利益はやがて俺達の運動を阻害し、俺達を苦しめる費用ともなるのだ、俺達は彼等をも救はなければならない。彼等とても人情に支配されて居る人間だ。自然の人情に支配された行動、其處に幾何の罪を認むることが出來得よう。彼等をしてさうした心を起すまでの境遇に陷入らしめたの現社會なのだ。今の社會には魔が潛んで居る、俺達は人情に支配されて犯した罪を責むるよりも、變化極りなく此社會に出沒して人生を苦涯に陷れんとする魔の正體を暴露し、之を退散し撲滅しなければならない。

月島警察は不法にも私を監禁した、反動田中內閣は此處にも其政策の行詰りを暴露して居るのだ。資本主義への媚に俺達の運動を妨げて居るのだ。俺達は斯ふした種々な反動と障碍を乘り越えて、乘り越えて、さうして八千万同胞の永い〳〵幸福の世を造るのだ。だが諸君よ、有史以來他を壓迫して得た興隆は常に滅亡への過程であつた。吾々は全人類を擧げて壓迫と差別の無い、自由な平等な幸福の世を求めなければならない。（實智正次郎）

安東縣の一角から

勞働者の力は微塵もない南滿洲安東縣〇〇製紙會社に働く私は友人等に少し位でも階級意識を入れやうとして先月殘本廿冊を注文して友人等に頒つてやつた所、今月廿六日××××××に知られてあちこち呼ばれて隨分面倒であつた。此ん度は見事に慘敗したのである。しかし喜ばしき事は各自發心してゐた兄弟等が五六人「進め」に共鳴したので即ち五六人の同志が得られたのである。こゝに諸兄の前に一つ紹介しやう。金順永、洪成國、安浩三、李在龍、金永福等で皆んな意志健全なる好青年である事が喜ばしきものだ。中にも金順永君は〇〇新報社の文選部に働いてゐるが最早幾人か同志を得たと云ふ。その次の三人は現在私と一緒に働いてゐて、その次の一人は數日前に餘り剛情を張つたので奴等に冷酷にも解雇されたのであつた。此れからは×××××の話を書いて見やう（これは廿六日私が云はれたものである）「お前は何時からそれを讀んでおつたのか？」「初めてです」實はそうでないが解雇されない範圍に於いて答へやうとしたのである。カールマルクスは自分の主義をかくすは恥と詔つたさうだ

が特殊環境にある私等には許されないのである。ありもしない眞赤な嘘をついてやつた。此れは政府からも毎月發賣禁止だの、此の工場の内では讀む事が出來ないだの、監官が尾行するだの、不穏當な思想だの、此の世は實際その本の通りに行かないだの、朝鮮人だからよく知つてゐるだらうが所謂不逞鮮人だとか共產主義だとか樣なもので警官が注意するだの、皆んなが赤かぶと云ふものだの、いろんなことを云われて誠に癪に障はつたのだ。然し我等讀の自由、研究の自由を云ひ出したいけれど一人剛情を張つたつて何んの役に立たないばかりでなく團結の力がない故奴等に負けるぐらいの陰期をした私は仕方なく迂廻戰線を取つたのであつた。「どうしてそんなのを見る樣になつたか？」「何處か廣告を見て誌代が餘まりやすいので注文したもんです」「何故一ッぺんに二十册も注文したのか？ 若し宣傳の爲ではないか？」「いや私は十一月號と十二月號とだけ注文したのですが廿册も來ました」「社宅では何人ぐらい讀むのか？」「私一人です」「然し工場の中で見るのを見付けたんだが？」「それは私の手から出たもんでしやう」「誰々に分けてやつたか」「二三人にやりました」「殘りはあるか？」彼等は横暴千萬である。實に亂暴無理ではないか？ 先日〇〇さんに聞いたことを憶えてゐる。〇〇さんはこう云つた。「あんなのを見ると〃駐からいやがるんだから火に入れつちまへ」この事を云つちや大變なことかと思つて「皆な火に入れました」と云つた。奴等は又もあんなのを見ると思想が惡化するから友達の分も持つて來いと心配して呉れた。そんな心配はいらないと云ひたいけれど時期が早いのを悟つたのである。實に慘敗したのであつた。此の刺戟により五六人の同志と相談して〇〇勢力の基礎を固めやうとする。その機關は「進め」と定たのであつた。未だ「進め」の光が輝いてゐない安東縣にも此からぽつ／＼と燦然たる光澤を放つてあらう。全國の兄弟よ、此處に固く誓へる我等五六人を共に喜んで呉れ。今度は失敗したけれど今に我等の意氣を見せる考である。

進め同志萬歲
全無產階級萬歲

一月三十日

安東　文時賢

越後の百姓の言葉

物取り强盗のみが泥棒でない、泥棒にもいろいろある。泥棒の先祖石川五右衛門が秀吉の屋敷に忍びこみ捕はれた時秀吉に向ひ貴物を掠奪する俺が泥棒なら世の中のすべての機關を利用し兵隊の弓や刀の力で天下の百姓を脅しつけ米を搾り取つて榮華をきはめるお前は俺より更に大仕掛の强盗ではないかと云つたことがある。「百姓とごまの油は絞れば絞る程出る」とは德川時代の一政治家の言である。「百姓は生過ぎぬ樣に又死なぬ樣に年貢米を徴收せよ」とは德川歷代の教訓であつた。

米の飯のみを喰せてはならん粟や稗を常食とせしめよ、贅澤は大いにすゝめるが絹の着物をきせてはならぬ、これにそむくときは嚴罰に處すべしとは德川時代の布令であつた。全く俺等の先祖に對するあり得べしとは思はれぬ暴虐をきはめたる搾取りが德川氏と封建時代の大名に依つて行はれたのである。之は百年前の昔のことだと一口に言つて終つてはならぬ。昭和の今日冷靜にヘッキリと目を大にして見ると平等であるべき國民が二分されて居るのに氣がつく。それは遊んで居る地主の生存權は認められて居るが働く俺達小作農民の生存權は認められて居ない。民法六〇九條はあきらかに小作人は×んで終つてもよいと言ふ法律だ。現在の法律は何人が作つて何人が專用の實權をにぎつてゐるかをヘッキリと見きはめねばならん。法律は人をころすためには必要はないのだ。地主は自分の都合でたとへば甲の小作人に貸して置くより乙に貸した方が利益があると思へば小作人の立場はどんなになつてもよい自分さへよいならすぐさまその土地を取あげて乙に貸すのだ。俺達小作農民の生命は實に氷の上を歩いて居る樣なものだ。なによりたいせつな耕す土地に對し耕すと云ふ權利をどうしてももたねばならん。徹底小作法の獲得こそは俺達小作農民の最も大切の問題なのだ。地主の土地所有の權利のみ認めて耕す俺達小作農民の權利を認めない法律は地主のみを生かして小作人をころす法律だ。俺達百姓はなにもめんどうなことは知らないが、こんな馬鹿なことをして居て、やれ農村振興だ、肥料の分配だ、食料問題がどうの、人口問題がどうの、每年米が不足で外國から何百萬石買入れるのとおかみで云ふて居ると云ふが俺達百姓の實際を知らぬにもほどがある。何時土地を取上げられるやらわからぬ樣なことをして置き肥料もらく樂と買入られない程ど俺達を搾つて置きながら馬鹿なことも休み／＼言ふがよい。俺達には先ず安心して土地を耕すと云ふことと、何より大切な肥料を樂々と手に入れることが先決問題だ。肥料の分配位は長年その道で苦しんで居る俺達だ、可愛娘を賣つて肥料代にしたり親の代から汗油流して今日の美田にした大切の土地を一寸と地主の御機嫌をそこねた位ですぐさま生命にかゝはる土地の返かん、立入禁止の公示札をむやみに立てさせて居る。ここに氣がつかないか。問題はここにあるのだ。（岩內隆平）

若槻か福田か

日勞黨の旗全縣下になびく

議會解散と來るや、吾が島根縣下の大衆は待つてゐましたとばかり、勇氣凛々として、吾等の代表を腐敗と、墮落、搾取の本城として居る議會に送つて、彼等の奸狀を暴露し民衆の進路を示すべく、縣下擧つて多年無產大衆解放の爲め努力しられた吾等の福田狂二氏を擁立した。氏はあの豪壯な鬪羽志を山陰の冬風になびかせながら山陰へ乘り込むや、縣下の既成政黨は死せんばかりの恐怖を覺え、卑怯にも普通選擧の公正を亂す樣な態度をもつて縣下民衆をダマシ込まんと企畫した。何分、この地は、民政黨の顧問で前首相たりし若槻の生れた土地とかやらで無自覺な大衆や、買名と金品にありつかうとする連中がかなりはつこしてゐる所であるが、親分の若槻が議會で妥協やかけ引きをやつて無產民衆の大反抗を買つたと同樣で、若槻の子分が縣會や〇〇會やで爲す事は、

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

どれもこれも民衆の搾取であつて、民衆の反抗を高める結果より生れない。それに、彼等のやる事は、買名や利權漁りであるから、一つとして信念が無く、罰と觸と金を煉りとして運動する病人の樣な有樣だ。彼等は最初、「何、」稲田の樣な者が出ても若槻さんの睨みで消えて了ふと吐いてゐたが、どつこい今度の選擧は曲りなりでも普通選擧で無產大衆が選擧權をもつてをり、「俺達の代表は俺達が守るのだ」と叫び、手辨當でどしどし働き、演說で來い、何で來いと大馬力をかけ初めたから、既成政黨は驚くまい事か。然り、邪は遂に正に勝たずだ。無產民衆の働かせろ、食はせろ、土地を保證せよ、徹底普選獲得せよの叫びを背後に努洽の如くもつた吾が稲田の体力は遂に若槻を克服するに至つた。今茲、威張つてその貧狸の提灯持ちをやつてゐた「克紫會」は今や「克服される會」となつて了つた。彼等が如何にはか仕たての嘘八百の政策を並べたてゝも、「お前達に何が出來るか。お前達は府縣會議員選の折自轉車稅を撤廢する事を主張してゐたがその結果はどうだ。栃木縣を見よ。俺達の代表石山寅吉縣議一人の力は自轉車稅を撤廢して了つたぢやないか。君達は、自分こそ普選の實行者だなどとホラを吹くが、吾々無產黨に屬する人々こそ日本で一番早くから唱導したぢやないか。お君等は普通選擧をヘンナコな不具者にして了つて默つてゐるのは、矢張り普選の眞の實行者でない事を雄辯に立證してゐるぢやないか。日本勞農黨はこんな保證金があつたり、言論の自由の無い普選をして、徹底普選獲得の猛運動をやつてゐるのを見ても、日勞黨こそ民衆政治の實行者だ。お前達に相手になるものか。君達は地主や、資本家や金持ばかり守つてをれば用はすむのだ。小作人、勞働者、小商人は、自分達を搾取する全然利害相反した君達には死んでも投票しないのだ」無產黨こそ俺達の味方だ」と云ふ調子でテンデ相手にしない。

ほんとうに山陰の地は、稲田狂二氏日本勞農黨の旗によつて、ポスター、ビラによつてうづめられ、既成政黨は若槻初め末輩に至る迄青くなつて震へてゐる始末だ。

×

既成政黨がマゴ〳〵してゐる間において、吾黨の終始一貫せる言論戰は正に疾風迅雷の勢で、進展してゐる。立候補者は、民政黨の櫻內、原、木村、政友の古川と吾が稲田氏であるが、定員三名であるからだれか二人落選する譯だ。吾等の稲田氏を必ず當選させろの叫びは縣下民衆の血の叫びだ。

先づ應援辯士の顏ぶれを見れば、九州の今村等君、尼ケ崎の藤岡文六君。及び東京の高田和逸君いづれも中央の闘士だ。口で來い、筆で來い、爭議で來い、何でも御座れの猛者連だ。それに全國藝術同盟の小川友三郎君、婦人同盟の織本、菊川の兩君、共處へ、進め社の上杉君、谷口君、大谷君、吉田姉妹君であり、土地の人としては動員すれば何百人であるが、重となつてゐる人は、山崎、岡須、千代田、石原君等手具脛引いて待ち構へてゐる。

所がこの無產黨の陣營と活躍を見た當局は、政友會內閣、引いては全ブルヂョア政治家の御機嫌を伺ふはこの時なりと、早速例の斷壓を開始し、山崎、岡須の兩名を小作爭議の事件を何處からかもち出し拘引して了つた。然も岡須君は選擧事務長である。之、彈壓にあらずして何だ。去年の秋の出來事を何の爲めに今になつてもち出すのだ。

しかし乍ら、吾等は彈壓も奸策も何のその蹴飛ばして突進した。演說會開く事數百回、一日に十四五回やる勢だ。この事はブル新聞、松陽新聞でさへ驚いてゐる。何も驚くにあたらない。普選運動の眞使命たる言論戰最も忠實に行ふものこそ吾日勞黨のみだからだ。（松江にて８生）

遊民族を滅せ

俺は何にも分らない百姓の伜なのです。云ふ事は實につまらない物です。けれども世の不景氣は仕方なく此の俺にペンを取らしたのです。もう俺達はだまつて居る時ではない、爆發すべき時だ！　百姓の解放は、百姓其れ自身でなければならない。世の所謂學者連は誰をそろへて、農村を發展させろ、農民を救へ、と喚きならべて居る。

もう我々はそんな馬鹿〳〵しい言葉には耳を貸す暇がない。いや耳にタコの出來る程聞かされた、而し何に一つ此れはと思う結果を見た物があるか？　彼等の云ふ事は餘りに空想的な餘りに理論的な物である。百姓は其んな空想的な理論を聞くより、如何にして明日のパンを得るか！　と云ふ現實な問題がある。所謂世の馬鹿者の俺達には何が何やら餘りに馬鹿〳〵しくて少しも分りはしない。否彼等の云ふ事は今の日本の農村には適して居ない。やれ大農組織だの、農業の電化だの等々列べても何んの役にも立たない。いや、邪になつても藥には少しも成りやしない。彼等の云ふ事は、只彼等の如何にせば樂にパンを得られるかと云ふ、彼等の利欲から發した物である、一つの政策である。我々はもう彼等の云ふ馬鹿〳〵しい甘言に、うま〳〵と乘る樣なそんな不自覺な者ではない。

我々は明日のパンを如何にして得るかを考へると共に、如何にせば彼等ブルヂョア、遊食民族をほろぼし得るかを研究しなくてはならない。否滅すべく運動せなくてはならない。我々農民は運動上において、けつして一人ぼつちではない、都會のあのどす黑い煙、煙突の下には幾千幾萬の男女勞働者が居る、彼等も同じくブルヂョアの奴等に搾られるだけ搾られて居るのだ、我々が明るい大陽の輝く世に出るには、都會の勞働者諸君と一致協力して戰線に立たねばならない。おお全國の兄弟よ、手を取り合つて進まう、一路〇〇へ―

今將に赤い太陽は東天に登らんとして居る、さあ起たう、共して鬪わう。（長野縣　傘木幸盛）

勞務者共濟會を打倒せよ

東京市社會局にて客年來、勞働者共濟會なるものを組織して、その名を、勞働者救濟にかり、貧困無產者を搾取する會がある。いやしくも市關係の自由勞働者及、日雇人はすべて此會へ強制的入會する事を強いられ、もし拒絕する事あらば忽ち職首或は不使の手段に出る。社會局は常に失業者救濟を高調しながら影にては斯して二重搾取をなしてゐる

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

るのである。實に人非人的な蹂躙を行つてゐる。都下何萬の勞働者は何時も此共濟會なるものに脅迫されて居る。日に一圓内外の安日給を受取る吾々勞働者がその日〳〵二錢づゝを引減される事は寒心の極である。然かも今日此頃の失業の狀態は實に言語を絕するものがある。俺は水道局へ出る一勞働者であるが此市社會局の搾取の間になほ三重の搾取を受けつゝ、輕じてその露命をつないで居る。それは水道局當局と或請負業者との間に組織的に搾取契約が結ばれて居る、水道局の人夫は何時も請負業者の手によつて集壓される、そして彼は、若き多くの無產青年を狩り集めて部屋を作り、其處に居住せしめて水道局の勞働をとらせるのである。勿論市及請負業者にとつてはこれ程結構な事はないが吾々勞働者にとつては何一つ自由がきかず、事實言葉通りの籠の鳥である。一度入部屋すれば再び出る事の出來ない樣な仕組にされて遂に營々不眠の態を續けねばならぬのである。こうした狀態にをかれゝゐる吾々勞働者の上には神樣の如き市社會局がその毒手を高く揚げて血を注つてゐる。あゝ何んと云ふ悲慘か？ 今、試みに共濟會なるものの會則の一二を記そう。

第十四條　第一種正會員（日傭勞働者）は一日に付二錢を納付す

二十二條　共濟給付は負傷手當死亡手當及遺族手當の三種とす

（一）業務に服し得る程度の負傷一日に付二十錢（但一日限とす）

（二）業務に服し得ざる程度のもの　醫師の治療を要せざるものは一日に付六十錢（但し五日以内とす）

醫師の治療必要のものは一日に付八十錢（但し三十日以内）

（三）死亡手當　入會中又負傷中死亡したる場合は二十五圓給付す

其他美辭麗句は並々として列されて居るも何一つ事實上において吾々のためになるものはない。給付期間は規定されてゐる爲め、吾々が誤つて大負傷しても彼岸の火事である。又實際において負傷、死亡等はほとんど無い。一體、吾々幾百萬勞働者の汗の結晶金二錢は何處へ流れて行くのか？

起てよ！　吾が同志、勞働者よ！ 速に共濟會を脫して自ら組織せよ、自身のために、組合を！ 同盟を！ 然して共濟會を打倒せよ！ 殺滅せよ！

團結は吾等の唯一の武器だ。組織のない所には力がない。起て！　無產者！

（水道局　一勞働者）

既成黨のビラ張りをして

俺は、或る工場で、ストライキのリーダーをやつた爲め、マンマと首になつてしまつた。

それからの後は、寒さと餓に迫られて、失業のドン底にタタキ込まれたのだ、俺たちの失業の次に來るものは餓死と定つてゐる。

ウヌ奴等の前に、犬死なんかするものか、俺は沈む心を勵ましつゝ、すぐに次の就職口を見附けて歩き廻つた、世は不景氣のドン底だ、職を附けて待つてゐる奴なんか一人だつてゐやしない。それに俺たちを、ゴマ化し的に設立した、何々職業紹介所とか、何々人事相談所なんてものは、建物ばかりは立派だが、中に入つて、三拜四拜したつて駄目なことは分り切つてゐる、それに俺なんかが、伺つても、向ふから、先に瀨踏と、出やがるんだから、如何とも致樣がない。

それやこれやて、百方千策苦心した末、やうやく、實業同志會の某候補者の選擧事務所の、ポスター張り人夫に入り込んだ。

最もこゝは、永久性のものぢやない、僅々二十日間の露命つなぎの足場だ、でもセニ腹はかへられない。

最初の一日は、大變な雪降り日だつた、新聞大のポスター二百枚とノリ入りのバケツを提げて、相棒と二人して千住方面に出掛けた。雪の降る中を、一枚々々張つて歩く寒さに、俺の兩手は膨れ上つてしまつた。

此の選擧區域は、東京第六區て、日勞黨からは、松谷與二郎氏、勞農黨から南喜一氏、社民黨からは爲藤五郎氏等の同選擧區であるのだ。こうした、俺等の先輩同志の、無產者代表としての立候補地であるのに、如何して、俺ひとりが、こんなブル黨の奴等のポスター張りが恥もなくやれるものか。

所が、奴等の下馬にならなけりや、今の俺は喰ふに窮るのみだ、と云つて、惡戰苦鬪してゐる同志である所の無產黨の應援にも、飛んで行きたい、けれども、無產黨の應援に行くには、少くとも獻身的にやれるだけの豫裕を持つてゐなけりや駄目だ、今の俺には、一寸の豫裕どころか、明日喰ふ一片のパンもありやしない、俺の心は行詰つた、悲しくなつて泣きたくなる程惱んだ。

夕刻の五時、俺はその日の賃金二圓をもらつて下宿へ急いだ、雪はもう止んで薄暗い街の向ふから、豆腐屋のラッパが鳴つてゐる。

駄目だ！　駄目だ！

俺は同志を偽つてゐる？

俺は同志を裏切つた？

俺は、兄弟をいぢめるブル黨の奴に、へつらつてゐる、卑怯者だ、

同志は俺を憎んでゐる、

キサマは寒と饑に震えてゐる、可愛いい、弟や妹を奴等の爲に、賣りつけた、卑怯者だ、

お前は、全世界のプロレターアを、賣りものにしてゐる、卑怯者奴、

我等の同志は、貴樣を、俺等の外に蹴飛してやる、吾々卑怯者に與へる言葉も、汚らはしい、去れ！ 去れ！

俺の手は、口脣はワナ〳〵震へるのを感じた、あゝ俺は、俺の立場を失つた卑怯者になつてしまつた？ 意久地無しだ、突！ 突！ 目の前の板ベイに麗々しく張出してゐる、ブル黨の、ポスターに。

おゝ俺もやつぱり、同志の一人だつた、俺の心臟には、確かに〇〇意識のシッカリ在ることを認めた。×××××××××。

ヨシ！ 明日から、うまく、動いてやらう、俺の意識は憂鬱から覺めて、急に青空のように冴へた、其處には、日本勞農黨の旗の下に！ 勞農黨へ！ 社民黨へ等の、勇ましき我等がポスターは露地の板ベイに颯爽と輝き列んでゐる。

そして無產軍ポスターの片隅が、板ベイから少しづゝはぐれてゐるのが、俺の心に、明日の或る使命を與へた。（高田進）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

帝國主義의 走狗—反動的 派閥鬼를 撲滅하자!!

[illegible]クラブ 金昊洋

우리朝鮮無產階級運動이一九二六年末에政治鬪爭으로方向을轉換하야 戰線을全民族的領域에까지擴大하면서 全民族的單一協同戰線을結成하기爲하야 그媒介型態인新幹會를우리는積極的으로支持하여왓다。

그리하야우리는過去一個年間의만흔戰果를獲得하엿다。

그런데昨年々末에『方向轉換』을否認하고 反動的派閥鬼意識分列派놈들이擡頭하여『朝鮮에는勞働者가업다』그러닛가勞働者를戰線의先頭隊로하지말고 云々하는『대마고ー기』을쳐들고챵기면서 우리解放戰線을攪亂하는××帝國主義의番犬!走狗! 이놈들이最近東京에와서 우리民族의協同戰線인新幹會東京支會를攪亂할라고 그魔手를피엿다。그러나在東京朝鮮民族은 우리의新幹會를死守하고잇다。

그러나 이走狗派閥鬼놈들을 우리는徹底的으로撲滅하지안이할수업다。

東京에잇는派閥鬼! 이놈들은姓名廣告를멧萬枚나發行하엿다。그것을보면 派閥鬼先頭隊! 所謂派閥鬼의代表的理論家! ××帝國主義의走狗! 朝鮮運動分裂業、朝鮮×××派遣東京特置無產團體及社會團體攪亂隊! ××××公認被壓迫民族販賣業! 맑스主義歪曲解世界的大家! 何々等이라고는안써더라마는 우리가그놈들의行爲를形容할나고하면이리될것이다。그所謂理論家라고하는놈中 代表者라고自稱하는놈은 洪陽明 李東宰、金正希(李東宰妻)、呂英淑(少女××××) 許一(朝鮮○○○의特派員)金三峰、趙憲泳、高羲錫、金麗、錢麗翰、吳熙秉外몃말이狂犬떼들이 우리新幹會를攪亂하엿다

그러나 그狂犬떼들은決局四群으로分裂되여相殺相食하고잇다。이놈들이참말로우리二千萬을肉食하는內部寄生虫보다더한놈들이다。일어나거라 우리朝鮮二千萬民族아ー 어서〱이反動的派閥鬼놈들을埋葬하자! 일어나거라 우리朝鮮二千萬民族아!

ーー다음은新幹會東京支會에서낸것이다。

反動的派閥主義群의蠢動에對하야

滿天下同胞諸君에게檄함

民衆의最惡不良한敵의・罪狀을天下에曝露함

滿天下同胞諸君!!

諸君은지난一月十一日에 本東京支會의會員諸君에게檄한本幹事會의聲明書를보앗스리라고밋는다。그것에는무엇이라고말하엿든가。우리新幹會東京支會에對하야『臨時大會召集願』이라는 本會第三回定期大會를 所謂『新派閥의壟斷』이라는虛構莫測한言詞를僞造하야 大會를全然否認하는奇々怪々한召集理由를부친新聲式印刷物이流布되고잇슴을本幹事會一同은너머나 그것이虛無孟浪한일이기때문에 그것은明白히本東京支會를分裂식히랴는 一部意識的分裂主義者、反動的派閥主義者의所爲인것을想定하는同時에會員諸君에게그自重할것을警告한것이다。

그러나本支會는 그것으로는到底히 安心이될수업서々 그『會式』의根據地를探索하기爲하야積極的으로調査에着手하엿섯다。그리하야 그것이 그엇든者의所謂인것을一段알엇섯다。그런데

滿天下의同胞諸君!!

本支會는 그調査한바를말하기前에 諸君의게爲先몰어보자! 諸君은所謂新幹會東京支會々員에誰某〱라고맛치寄附者芳名羅列하드시 姓名을羅列하야 日本文으로所謂『聲明書』란것을낸것을보앗는가? 그所謂聲明書는무엇을말하엿든가? 그것은무슨雲外犬吠이든가。

本會는確信한다。우리新幹會는어데까지든지 全朝鮮民族의公器인것을。그엇는者의獨占場도아니고 또한엇든者의私有的機關도아니다。따라서本會는所謂彼等姓名廣告式으로發한日本文聲明書가무슨말을하고잇는지全然알수업다 所謂푸로레타리아헤게모ー니이니 何某의무슨理論이니하는것은너머나新幹會、따러서本支會와는因緣이먼雲外靑山의것이아니냐!

그姓名廣告式으로낸日本聲明書는 우리新幹會를社會主義團體로認하는모양이다。하기때문에彼等은 얼토당토아

田中の反動網を擊破せよ

田中內閣は組閣以來、全國に渡つて一糸亂れざる反動網を張るに餘念がない。殊に殖民地に對しては、彼等は極度に神經を尖らしてゐる。殖民地は帝國主義の最大な××場であるからである。されば、かの朝鮮共產黨事件に際しては聞くに堪えざる拷問事件を惹起し、判決は懲役六年以下の重罪であつた。日本のブルジョアジイの企圖は、朝鮮の社會運動を根そんぎ滅亡せしめ樣とするにある。そして、かゝる重任を帶びるものは、いづれも軍人の古手頑めい固陋の封建的遺物である。しかしこれ田中內閣そのものが軍人を主班とする以上當然の事であらう。先に、全被壓迫民衆の喧々囂々の反對にもかゝはらず朝鮮總督山梨大將を赴任せしめたが、今や再び田中は齋藤總督に福田大將を送らんとして畫策してゐるとの事そしてこの總選擧の終り次第實現さるゝ狀勢にある。福田大將を思へばかの×××を思ひ、無產階級の記憶に生々しき人物である。かゝる人物を

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

니한社會運動線上에서 彼等에리 派閥中傷하든文句를羅列하야 本會東京支會를攪亂하려고斷末魔的으로發狂하는것이다。더욱히『自治運動』云々은 新幹會의精神을全然모르는 反動輩의말이아니면아니된다。過去運動의實跡은이것을더욱히證明하고도남음이잇는것이다。

滿天下同胞諸君！

本會는確信한다。本會第二回大會는 적어도 數百名의全會員大衆의活潑한鬪爭中에서 모든議事는거이滿場一致的으로進行되엿스며 또는거이한사람의異議도업시 우리會員大衆의忠實한公僕으로서의幹事及代議員을選出된것이다。그러면所謂臨時大會召集願이란中傷무附의虛無孟浪한理由를붓친바 그것이世上에徘徊하게된것은무슨까닭이든가。

놀나지말지어다！ 여기에實로千人憤怒할 아니噴飯一笑할陋劣莫甚한事實이潛在하여잇는것이다。

이로부터本會의調査事實이諸君의눈압헤나온다。爲先여기에말하야둘것은 本會는적어도 가장嚴肅한 愼重한態度로一毫의野卑한虛僞가업시幾個不良派의罪狀을曝露하겟다。

우리東京支會의第二同大會가開催되든頃日의일이엿다。某々氏와그의一味가支會長及代議員運動을猛烈히한바잇섯다。(戰士的良心의所謂인同志諸君은 이것을疑心할는지도몰을거이다。그러나勿驚하라。事實임에다) 그러나氏들은結局大衆의支持를엇지못하고全然失敗하고말엇다。(그는무엇보담도 그들過去의鬪爭實績이大衆의支持를밧기에너무도虛無하엿다는實證)따라서 實로快々不樂한바잇섯다。이때에마츰

滿天下同胞諸君！

마츰이때이다。저！社會運動線上에서 許一氏(사람들은말한다。氏는過去赤花團々長으로從鬪에最長하다고)라고일홈하는이가 派閥延長의使命을씌고 東京으로건너온것이다。그리하야靑年團體、勞働組合等々의團體를攪亂식히려고努力해보앗스나마 全然失敗하고말엇다한다。某旅館을中心으로하고 英雄式으로雄據하야 大衆으로부터全然遊離된 人間으로가장墮落된分子들을買收糾合하야 一種부로크를作成하고 一邊으로支會長及代議員運動失敗에快々하고잇는某々氏一派를煽動하는一方 扼腕悲憤하는態度와 巧言恰色의術策으로써意識未定한어린靑年들을誘導威脅하야 彼等의눈에가장弱한地帶로보이엿든지！ 우리東京支會를攪亂식히려고 死物狂한것이다。그리하야氏은大膽하게도言明하엿다한다。『이곳에서攪亂만식이라 本部와의交涉은내가責任지고맛것다』라고。

그러나 또한本東京支會亦是잘攪亂되지안엇든지 그들은斷末魔的으로만흔사람을列名하야 本會와는너머나因緣이먼雲外千里인九雲夢갓흔麥浪說을弄하야發狂하는데不外한것이 그所謂虛無麥浪한理由를부친『臨時大會召集願』及그所謂聲明書인것이다。그런데 이러한醜惡은 彼等이聲明書에列擧한 姓名에서도더욱〳〵曝露된다。보라！彼等의 會員과및一般靑年의盜名、奪名을！ 그列名者中에 十數名은歸國하고不在한동무의盜名이고 또十餘名은本會々員이아닌者이며 또或은本會員으로서도彼等의行爲와全然關係업는동무들의奪名에不過한것이다。

그러면事實은쥐여아一擲도못되는彼等不良한反動派閥부로코의關係者及支會長及代議員失脚某々一派數名뿐인것이다

滿天下同胞諸君！

알엇는가！ 彼等의罪狀과黑幕을！ 彼等은實로××主義와의鬪爭을爲하야서는 一錢의金과一擲의力을앗긴者들인것이다。그러면서 戰線攪亂을爲해서는 저런斷末魔的이아니냐！ 社會運動線上에서는 저런것을反動的派閥鬼다고일홈하지마는 우리들은 그正體를비로소알고보니그것도오히려不足해서 爲先民族의最惡不良한敵이라고하야둔다。本會는따라서말하야둔다。大衆의聲援과支持를어더서 彼等一群을 우리朝鮮民族을爲하야 徹底히撲滅할것을最后까지努力하자안코는잇슬수업슬것을調査의進行에따라서繼續하야다시聲明할것을附加하야둔다。

一、反動的派閥鬼와意識的分裂主義者를撲滅하자!!

一、新幹會東京支會를死守하자!!

一九二八年一月十三日

新幹會東京支會

臺灣に送らんとする田中內閣の企圖は問はずとも明かなところである。臺灣全土に捲き起されつゝある活潑なる貧農勞働者の鬪爭は、かくの如き天下り的總督排擊の鬪爭に向けられねばならないのであるしかしてすべての人民に政治上の自由を獲得せねばならないのである。

田中內閣の反動網は、殖民地は無論日本內地の何處にも網の目の樣に張られてゐるのだ。普通選擧もこの反動網に引つかゝつたが最后、普選の意義は事每にじうりんされて了つた。總檢束言論の壓迫こうした行爲は議論に破れた反動主義のみ爲し得る行爲である勞働組合運動を見れば、政府はあらゆる手段をもつても組合を破壞せんと企でゝゐる岡谷を見よ。野田を見よ。勞働者の團結を向ふに廻して戰ふあの資本家の態度は決してその資本家一人の所業ではないのだ。吾々はかゝる狀勢に面し、組合の合同、政黨の合同を痛感せずにはゐられない。

××に報ゆるものは、吾等には鐵の如き統制以外には何者もあり得ないのだ(十九日)

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

無産文化講座

プロレタリアート文化

隅 土滿(譯)

論文はモスコー・プロレットカルト文化協會によりて立案

『プロ文化は何處より浮立つたか誰も知らない文化ではない、プロレタリア文化の範圍内に於て專門家である人々の發見したものでもない。その考へは凡て不合理である。プロ文化は資本主義社會農業社會及官僚社會の壓迫の下に人類が創造した貯へられた認識の合目的の發展でなければならない』

——レニン——

〔一〕

文化の概念

文化概念は社會生活のあらゆる形式の總合を包括してゐる。詳細に云へば文化とは一定文化時期に於て、階級及社會の生活の保持及發展に統合的に必要な凡ての社會的救濟方策(物質的にも精神的にも等い)の生産である。この文化概念は生産の方法及方策、社會生活形式の組織方策が屬する。

凡てこの社會生活の形式、物質的生産方法組織の種類(手法)——その事物の決定である目的確定——生産及び日常生活における人間の組織、社會的行爲、社會意識の形式(科學、宗教、藝術——主として觀念的精神文化)が社會の物質的生産力の發展に關係して變化する。

社會生活形式の平均、その相互關係は社會の支持及發展に必要なる條件である。

各上述の生活形式(生産、日常生活等々)は社會組織である、各組織內部に各々にして構成された平均(相互關係)の要素を見出さる。

此組織の社會階級機能を通じて條件づけられた一定組織の要素關係の性質は文化の全組織內部のその地位の各々あたへられた組織を特長づける。

基礎形式より生産方法(物質生産方法の組織)を生ずる生活形式の調和は更に目的の主義的同一は——一定社會構成のより廣き再生産及保持は——一定社會的時期の文化の樣式及型即ちその全體のあたへられた文化組織(封建權力、奴隷經濟、市民的個人主義、プロレタリアート共産主義)を決定する。

文化の階級的特質

階級社會の文化は支配した階級が彼等の興趣を作り(あたへられた階級の鬪爭及生活の全範圍に於て)又征服した階級をその作用に屈服せしむる文化である。

ある人は云ふ、文化は階級社會の流通にあり又全體において階級の特性を負ふ事物、認識の組織、方法及使用であると。

各々が支配し又支配に努力する階級は唯一のその階級目的にかなふ文化を作らんと努力し、かくて、その中に古き文化の組織は否定され新らしき文化構成に適用しうる要素を獲得する。

プロレタリアート文化

權力について又社會の根本的再組織を戰ひとる階級としての——我々において、それは既に支配してゐる——プロレタリアートはこの見地において除外されない。

この階級の社會的及經濟的構成の興趣における階級の物質的及精神的構成の過程として——その階級問題の實現に對する方法の發展及畜積として文化の決定はプロレタリアートが自身の階級として自覺してきた所の現在においては既にプロレタリアート文化の要素は存在するプロレタリアートの日常生活、工場、階級組織(共産黨、勞働組合)——それ等凡て直接にプロレタリアート文化の組織に屬する勞働者階級の生活と鬪爭の形式である。

經濟的研究の最後であると完結された組織を開展させた革命的マルクス主義、世界觀更に構成の凡ての範圍にマルキシズムの方法を適用する事凡てプロレタリアート文化のイデヲロギソンな要素である。

プロレタリア文化の問題はプロレタリアの階級鬪爭の過程の內部に成立する。

社會經濟の組織目的に對する生産の征服力及占領の問題と同時に物質的生産力、科學的及技術的價値及占領の問題と同時に物質的生産力、及ブルジョア世界の組識的經驗をこの目的に適用する問題が出現する。

獨裁時期においてはプロレタリアート文化は過渡期のプロレタリアの社會生活形式構成の過程に變應する。

そこで共産主義の構成問題が國際的性質を持つ。そしてプロレタリアート文化は同時に國際的のものとなる。

各々の文化史的形成は量的に質的に特質を專有する。

物質生産力の發展程度、價値の大量は決定された發展段階における一定階級の生産する唯物的唯心的問題にもちきたされた文化時期の量的特性を供給する。生産力が構成する社會形式(經濟的構成、技術の組織、社會意識の形式、等々)は質的特性(奴隷經濟、封建的、ブルジョア的等々の形式)を供給する。

〔二〕

資本主義より共産主義への過渡期

資本主義社會と共産主義社

會の間に前者より後者への革命的改造時期がある。過渡期の政治に適應するに他の國家があたへることの出來るプロレタリアートの革命的獨裁の他の政治がある（マルクス）

その全體に於ける社會は亦都市文化より凡ての連續者なく階級なく共産主義へのりこえてゆく、革命的構成の時期は共産主義的文化要素の最初の蓄積の時期である、ブルジョアの社會から相續した文化價値の革命的再組織の時期である、勞働階級をとほして共産主義的構成の目的にまでその批判的獲取をなす時期である。それは生産及生活の意識ある副次的勞働社會の方針におけるプロレタリアート存在形式の時期である。

國家

ブルジョア國家は資本主義社會の防衛及建設の用具である搾取者の相互保護の用器である。勞働者階級はその特種なブルジョアの形式を××せざればそれから所有を獲取することが出來ぬ。

プロレタリアートが過渡期においてその社會主義的目的にかなふ樣に組織する唯一の勞働者國家はその中にたとへ特種のプロレタリアートの形式が與へられたとしてソビエツト共和國の形式である。勞働者階級は他の目的及問題に適用するため赤軍を建設する。それは階級原則の人間的要素の選擇によつて指導せらる。それは武器の訓練の上に立てられなくて事實上勞働社會の上にある一つの訓練に立てられる。

ソビエツト聯邦の信義の上及インターナショナル共産主義の信義の上に基礎付らる。

この方法において次の形式が生れ、ブルジョア國家からプロレタリア國家をとほして共産主義及主として××××××

生産

この生産範圍に於けるプロレタリアートの獨裁は社會的生産方法及社會的生産關係を組織すること及支配し作役することを努力した。國民的大産業はその基礎を立てた。そこでこの生産形式は他の生産形式をともない及なほ階級の存在により、然しソビエット國家の範圍において、成立した我々はそれを生産の組織のプロレタリアート形式と名付けることが出來る、

そこで構造された要素の關係あるその全內的構成（全體としてソビエット經濟）及その生産問題は──ブルジョア社會の對象として──社會主義的目的によつて條件づけられる。

（三）文化の辯證法

過渡期の經濟學は我々が共産主義方向における、生産力の發展よりすれば──共産主義經濟學の實現の過程及共産主義經濟形式である。

國家のソビエット形式は成立した新らしき社會（共産主義の第一期）の經濟生活變化の社會主義的形式よりなる構成の辨證法的過程である。又その一般的國家の體制的機能の一定の枯死による。又、未來の共産主義社會の市民の自己組織及最も成き自己變革の彈力性のある形式の過程である。

基礎及上部構造の組織的統一としての統合における過渡期の文化形式の組織過程は無階級的共産主義文化の建設の辨證的過程である。

社會主義的目的設置の凡ての範圍を普及する過渡期の文化の活動的創造者は勞働者階級及その前衛及この過程においてその立場を發成して智識者及他の階級層の團體が同化してゐる、黨員である、

その團體は革命的共産主義階級觀、その目的及問題を組織的に體現して吸取つてゐる。

社會主義的文化の成立過程は階級特性を有し又プロレタリアート文化の形成の過程なる構成でもある。それは同時に社會主義文化の「創業的蓄積」である。

（四）共産主義の第一期（社會主義）

無階級社會（共産主義の第一期）の構成の時期は、全社會の手中になる生産手段の變革により又統計的社會主義的經濟の組織化によつて條件づけられる。

この時期に生産團體の階級が漸次に姿を失ふ、然し以前のブルジョアの特權的物質地位及習慣階級のより高き保證は！生産の組織者として──この時期にはなほ姿を失はぬ、それはこの團體及その世界觀の特種な生活形式である。

分業法則による人の奴隷的從屬及肉體的及精神的勞働の反對をこの時期は未だなほとりのぞくことは出來ぬ。

朋友的勞働社會の充分なる安定的な完成された組織の缺かんによつて條件づけられた社會生活組織の國家的強制形式は自身緩和的形式として保持せらる。

この時期にプロレタリアート國家形式はなほ殘存する、文化は新らしきものに發する枯死した生活形式の鬪爭の關係の下に形作られ明かに共産主義的生活形式の生長する勢力として前進する。

農民は生産範疇として小地主階級としてその小市民的イデヲロギーを保持して斷然とは姿をかくさないことを斷言できる。

この時期[illegible]及朋友的[illegible]はその全體[illegible]取されぬ。

尚この時期は以前の如く勞働者階級の[illegible]の活動的[illegible]る。

この時代の文化は總ての正確さにてプロレタリアート的と名づけることが出來るであらう。

共産主義の第二期

Digitized by Google　　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

次層の最初に社會の經濟的平均化に共産主義經濟の一般組織に合力的民經濟を同化すること組合的生産方法生活及生産における獲取はそのイデオロギッシュな同型をとり社會意識のプロレタリアート形式及絶對に權威をふるふ場所の「觀念作法」をとつた——プロレタリアート文化は無階級の共産主義文化に變する。

〔五〕
共産主義への道

プロレタリアート生産手段の社會主義的目的は改革（經營組織の他の形式、勞働の科學的組織を要求する）技術の方法の完成技術的基礎（技術化）の擴張、生産の標準化、基本組織等を要求する、換言すれば全經濟組織の利用效果の協力物及生産行爲の増加である。

凡て、過渡期に於ては又プロレタリアートの獨裁存在において、同目的な階級定義にふれる特種なプロレタリアートの解決を見出すこの問題の解決は獨裁時期の終結に結果總合の増大を生み出す。そこにおいて只無階級の共産主義社會のみ考へられる生産力の膨張する増加の基礎の上に調和的に發展する。

獨裁時期に社會主義的方法の中間に生産力の組織の問題がある。故にいはゆる精神文化の全平面のプロレタリアート創造的勞働に對する力づよき激勵がある、又科學的及技術的施設（例へば「必要」電氣化）等がある。

經濟の組織の社會主義的設置及勞働階級の描く國家、組織の方法及他の文化の方向である、他は共産主義社會の構成に適應する、イデヲロギシュな用具である。

上述の總てから次のことが云はれるプロレタリアート獨裁の過渡期はたゞ「革命的闘爭問題で」なくこの本質によりて戰會○○闘爭關係の下にある社會主義的社會のプロレタリアート的基礎をおく生産文化組織である。

〔六〕
遺産の批判的淘汰

古き社會の文化をそれがあるごとく理解し或は關係することは不可能である——同樣に少く（人は生産力に關係することが出來る）社會主義的構成の航路にかたむくことなく

プロレタリアートは必要な要素の構成に選擇をもつてその仕事をはじめる。

然し、既に古き文化の使用しうべき建設材料の淘汰過程はその本質によれば創造的過程である、彼はこれや、あれやの要素の有效の程度の評價により前進の完成された階級標準やを假定した、

選擇の標準は只政治的或は文化的に抽象されたものでない（トロツキーがそれを像見したごとく）なほまた、唯一にて單獨に、他の兩方を包括する。科學的實行でもない。

勞働者階級はマルクスの原理を實際に應用する。それ故眞理の標準は定義でなくて又實際でもない、勞働者階級は世界を改造する。然し指示はしない。

生産的文化問題の解決過程と同時に科學的道具が完成され又適合されねばなれぬ。最少のエネルギーが力量で最大可能の結果を目ざすことは調和の規定された目的によつて完全に必要である、科學的道具の進せらることも必要である、唯一の科學的要素及基本がただ「選擇された」ものでなく、又利用せられるものでもなく——それはプロレタリアート的完成方法によつて調和ある科學的組織に結合して又革命的マルクス主義的一元的總體に融合することに意義がある。

〔七〕
枯死した及發展しきつた形式及組織

その趨勢にあるプロレタリアート文化、

過渡期に於ては我々が上述のプロ文化の形式が辨證法的に一つの組織に結びつき、その中でなほ保持せられた市民的形式も成立すると同樣に他の階級について支配的勞働者階級がのこる。

その外に過渡期のプロ文化の唯一要素はなほ充分に相互に調和をもたらす、それは革命的闘爭問題によりて條件づけられる。その組織に結びつく樣な目標を立て、即ち活動的共産主義社會に經過する赤軍は全民衆を包容した。社會主義的民兵の立場になす、獨裁的時期にはそれはプロレタリアート組織の階級保護組織である。

社會生活及プロレタリアート自身の國家的强制形式及方法は從業の技も識き大衆の自己組織及自己管理の進步と結びつき——プロレ文化の發展においてさけうべからざる不必要な段階を建てる。

プロ文化[illegible]する立場をなす。即ちデモクラシイの「最高型」に[illegible]する樣努力する。

[illegible]

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

の確定の目的に資本主義的狀態の再生產、資本主義的生產方法の發展及支持に仕へる。――そこで上部構層の各種はその形式と等しくその內容として無條件に階級特性を有す、それは、市民的存在の目的及問題に全體として適合する、觀念（社會意識の形式）の支配的形式は市民的階級として屬するより外はない。

自己活動の發達による中心點、朋友的訓練及勞働社會は政黨の外に職業組合を作る、その中において社會產業の組織的裝置はおかれ又無階級な社會組織他の形式に關係する前に全國民經濟の全變革の事實上の集中にまで、その手中に統一的經濟的全體を云はなければならぬ。

職業組合は導かれる、又支配される、又統治される。又階級の組織である、その階級は國家より來る壓制に左右される、然しそれは決して國家的組織でなくそれは强迫の組織でなくそれは敎育的組織である、敎育の關係する組織である、それは學校である、行政の學校であり經濟の學校であり共產主義の學校である（レニン、職業組合及現在の時期）

プロ文化の問題はプロ生產方法の上に支持され及その組織の過程と直接に關係をとき、又それと併行す、プロ文化の問題はかかるが故に社會存在形式の組織問題であり、社會主義的生產關係でありこの適應する束縛の問題と共に上部構造の政治的及イデヲロギシの形式である。

〔八〕 科學とプロレタリアート

ソビエット國家の文化と生產の實際はかかる要求の市民的科學を立てる。その本質によれば實行することの出來ぬけれどそのため現在の國際勞働階級をとく力强き社會創造的問題（それは市民社會の勞働政策の外に及夫の科學的勞作）を入れることが出來ぬ。

科學の市民的階級特性は資本主義的土地において上部構層及防禦の道具として、その資本主義反對の形式に服した又尙服する生產過程の組織用器としてそこに壓出す。

それはその市民的への由來かくてそれは資本主義の發展の時期に一の組織を形成する、それはその立脚地によれば行爲（說明方法）の群をなす及結合の種類によりて更にその目的設置によりて、行爲材料の選擇及全市民的表示によれば由來であるものである。完全な基礎科學の孤立は―社會活動（絕對的事實の偶像崇拜、自己的充分の抽象的認識の偶像崇拜）その分割及多數組合の說明、主義的研究にその本質を變ずることの出來ぬ無政府個人主義的存在形式に適應する發展の帝國全體において市民的世界の科學は市民的文化の上部構造のイデオロギシュな道具である。そは市民的資本主義社會秩序の實際を通じて適應した。

科學はプロレタリアート文化の上部構層の道具にならねばならぬ。勞働者階級の鬪爭の及共產主義的構成に對するイデオロギシュな道具にならねばならぬ。

プロレタリアートの構成の巨大な合成、それの階級的現實性―大體にこの構成の解決に對して市民的世界の科學的價値を不用にする必然性即ちその前衞の指導の下の階級の集會的努力によりての目的は―全力の最大限の努力をもつ及同時に勞働費用の大なる經濟をもつて成就する政黨は勞働者に對して科學の批評的實驗の問題に付てその表示方法の單簡化、分散した法規及方法の統一が新方法の政見及成立した實際問題に關する新らしき綜合した見地を立てる。

科學は社會主義的鬪爭及構成の問題に適合しなければならぬ、それは共產主義的、マルクス主義的世界觀を普及させねばならぬ。

包容されて働く科學の唯一の枝葉はその暫時的狀態においてこの目的に適合するものはない、それはその奪略について、不生產的なエネルギーの浪費を要した、人類の共產主義的存在形式の組織の非常な難問題の前で全く閑かせにすべからざるのである。

廣き集團に對する科學的及科學的實際の認識の不文盲化通俗化の淸算にしたがつてプロレタリアート前衞が責任を負ふ就中プロレタリアート文化の問題は市民的世界の科學的價値の努力の道にこの問題を解くにある。

社會主義的生產の問題はその不解決的な關係及その對立的な補充によつて破壞されたものゝ創造的方法へのその本質である。合目的に指導された及階級の關係利益に變革されれた、破壞力は多くの場合に既に創造的過程である、それは社會主義的關係において計畫的意識的破壞である、破壞及維持された新らしきものを創造すること―それは革命の根本的目的である、プロレタリアートの獨裁は規定された目的の喪失に對する道具である、

社會組織の鬪爭過程は××をもつてはじまるその中において只破壞だけとせば創造的問題を知り及手本を示さねばならぬ、××の過程において××は創造的構成の必然的な假定を建てる―××の立場は我々は既に示したごとく新らしき組織的形式を創出せねばならぬ、新らしき形式の創造的構成は然しさけがたき及無條件に、生產文化の過程である。

社會主義への道の社會のかかる進步によつて勞働者階級の創造組織的問題は常に複雜す、それに適應するイデオロギッシュな道具の實際的要求は常に支配的に補足せらる。

プロレタリアートの生產文化的、創造的構成事業はかくて直に××の第一批評的時期に豫習した多くふんきゆうしたがそれは常に決定的に前面にすすむ、ここにおいて實際

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

的に話すこと不可能なことが文化のAB。及實際問題の特種的差別性は救濟方法の速かなる又充分なるプロレタリアート的文化的形成を要求する。

プロレタリアートは建設されねばならぬ、かくて凡ての重大ならざるものが投ぜられた反動が直におこり又生産的なる使用が現在の科學の結果の上部構層の異つた範圍になされる。

實際的結果は大體に好適あるものである、かくて社會主義的目的により支配され實際に從ひ又定理における合目的選擇によりその方法及終末を行ふ。

又彼は只支配及選擇を取らぬ即ち現在の材料を受身に利用しない——それは活動的な新らしき形式をつくり又科學的組織の全線に新らしき刺激を與へる。

かくてその前衛人におけるプロアタリアートは既に支配を行ふ科學的價値の下に選擇をなす、社會主義的目的の方向の創造的行爲に刺激をあたへるより成き經過に於てプロレタリアートはこの道具の入用結果の協力物の増加に關するこの全科學的材料を科學的組織に適當なる救濟方法の社會主義的目的に結合する、この組織をプロレタリアートの活動性の生産及過渡期及共産主義の第一期におけるプロレタリアートの創造的活動が造る、かくて（プロ文化の造つたる組織の實際の凡ての範圍に）政黨のある一つがあり、同時に一般の重要な組織がある。

かくてそれ故プロ文化は存在してゐる。只存在すべき何者でもなくむしろ既に存在してゐる何物かである。

社會生活の異つた範圍に日日のプロ文化は要素的に手觸り的にその存在の全平面の上に勞働者階級の構成勞働の實際として造られる。

この實際は科學的基礎を備へる、社會主義的社會の上部構成の認められた道具に對する、科學的組織をつくることは過渡期の問題である。

〔九〕生活形式

史的目的——勞働者階級の成立してゐる前に國際的共産主義の組織はブルジョアジーの問題と比較出來ないほど異り又個人的に要求することが出來なく、集合的行爲である。然し過去より蓄積された又現存された科學的及技術的道具はブルジョアがその發展のはじめその處理をなしたものより不比較的に豐富で完全である、

資本主義社會における勞働階級は物質的に又社會的に壓迫される、それ故その獨裁時期にはこの地位から早く脱出しなければならぬ、階級的連帶責任感情、先導する英雄的闘爭の經驗、現代におけるより英雄的な闘爭、工場の苛酷な訓練、過去及必然性に對する階級的憎惡、集的行爲により各々の價値を社會主義的生産に組織すること——凡て非常に大なる促進的な要素である、建設中、實際的組織經驗は國家及生産の指導によつて集められ勞働者階級の側に直に組織の心理及イデオロギーを發展さす又支配する階級に對して實際的となる。

勞働階級の生活形式はブルジョアの生活形式より定義的他の條件の下に發展した。

階級意識、朋友的勞働組合及朋友的訓練——これは勞働者階級を特徴づける社會關係の形式である。その下に發達が生じ又他の關係がおこる。

關係形式は生産におけると同じく（主として勞働階級の全社會存在としての）生活形式にもある。

同樣な種類なれば他の階級の生活形式のあがなひうべからざる對象に立ち又プロレタリアートの生活能力の保持に對する重要な手段を保てる。

階級意識、現代の勞働階級の朋友的組織及未來の全社會の共産主義的組織——それはその現象の異つたモメントであり過程であり段階である。

凡てこの要素を獲得すれば「勞働階級の形造された要求文化が理解される」こと、その日々の生活及精神的存在のかかるモメントより保持されること[illegible]的世界の文化遺物の批判的創造的獲取は市民社會の歩調とくらべて實に革命的歩調を定めるこの目的に對して壓迫された心配にある。勞働[illegible]が榮養を減せられること及各々の水準に物質的地位を達せしむること、その下に階級の各々の活動及エネルギーが不具になることは必要である。そこでその生活と形式の朽ちた枯反動的小市民的要素が直[illegible]死する。又朋友關係はその更に發展する支配的動力となるこの[illegible]に勞働者の生活形式の活動的改築がはじまる、かくてその「より高き」動的特質をうる、同時にそれで勞働者階級の文化構成に活動その熱心及その最高生産力が飛躍をなす。

〔一〇〕「不淨」と文化の淨化方法

文化は（物質的及[illegible]的にも）[illegible]ごとくすべての[illegible]——と勝利の[illegible]導かる、プロ文化及プロ方法は勞働者階級の共産主義的目的の下に從屬しなければそれ自身生じなく又あたへられない。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

××期の「軍國主義」白兵の××、ソビエット共和國の敵に對する××、政治變革の首府――これ等凡ては何か？プロ的闘争の「純なる」方法或はプロ文化本領の不淨な歪みか？

これはヘブライ法典的價値のある問ひである、凡て名付けられた現象は自身において「純」であるか或ひは「不淨」であるかである――それはただ闘争計畫において合目的か不合目的かどちらかとして評價される。

KPRの計畫は全國民を社會主義的××に通ぜられた中の勞働者階級の斷然たる勝利に向ふプロ××の道具としての××を認める、特に勞働者階級に對してこの防備の組織のプロ的種類その共產主義的目的又社會主義的民兵に對する分離の實際的信ぜらる傾向である。

過渡期のプロ文化の特種形式は――プロの××、國家の形式――ソビエット形式及凡てこの獨裁に支持と防禦をなすものである、その凡ては「純なる」形式であるそれは「不淨なる」ことは出來ない、それはたゞ合目的に即ちたゞ獨裁を支持するためにとりあつかはれた。

××はただ權力を意味しないと等しく權力の變革なくては不可能である、それはより高き段階への勞働の組織化と等しく先だつ組織を意味する（レニン）

これは獨裁の史的デアレクディクである。

最後に一つの例證――最も重要である、社會生活の特種プロレタリアートの形式は勞働者階級の知られた朋友的組織である、（二十行抹殺）その在の「社會主義的人間」は實際の及者へられる社會アトモスフィアー及獨裁及訓練の條件の下に成就する。

かくてプロレタリアートの「權力主義の特質が成立する、この主義によりて勞働者階級及びその共產主義政黨が自ら組織し又、訓練する。然し、市民的社會組織によるごとくでなく――搾取する階級の他の所に活動し及從屬する。

實際生活事實に向けられるKPRのプログラムの尺度はプロ文化の發展のチアレクチクをよく明かに承認する過渡時代のプロ文化の大なる成就の時間からその改正にまでそのプロ獨裁の現今の闘爭關係は內にも外にもこの最大なる計畫を所有する。（完）

（十五頁より續く）

けれど、支配と被支配、言ひ換へれば、寄生群と生產群との二つの階級の對立する限り、これらの二元的の社會組織の原則として、二者の利害は恒に背反すべき闘爭が常則であり、從つて階級闘爭の基調も此の發展過程にしてゐる事は言ふ迄もない。故に、此の社會においては「請願する闘爭者の原理は與へられず」といふプロの行途を照して居るべき筈である。

以上述べ來たつた諸點を總合して

一、自由勞働者の失業原因と

二、その自由勞働者の境遇が勞働市場のどん底に位置を占め、雇傭契約が暫定的な關係の下に置かれてゐるため、他の產業勞働者とは特異な戰術の下に以て一層の闘爭意識の下に生活基調を進めねばならぬ點を抽出する事が出來る

の二點を詳細は後段に述べる――

――が他の產業勞働者に比して、共の闘爭意識は勞働者においてより眞劍であらねばならぬ筈の自由勞働市場には果してどんな氣分が漾ふてゐるか？

平氣の平三で罷業破りの用心棒に屈はれたり、事件屋と稱する、プロ酷めに家主の手先きや代金の取り立て等に衣食する手合を頻繁に此の勞働市場より送り出してゐる現狀を眺むるとき思ひ半に過ぎるものがあらう。

以上は何人も氣付いてゐる甚だ月並な陳述ではあつたが、後で述べんとする事の總前提として駄筆を驅つた次第である。（未完）

編輯後記

三月號に無產者の立候補の無い地域において無產階級の採るべき手段は棄權か或は山川氏が云ふ様に現反動內閣倒壞といふ目的のために在野黨に投票すべきであらうかといふハガキ問答を發したが、何分時機が大抵の人が地方で火の樣な努力をしてゐる時分なので集らず集るもの約五六枚だつたから、三月號には中止して四月號に載せる事にした。この點、御返事下さつた木本、前田河、山崎、平野氏に御諒解を求めます。

×　×　×

三月號は又發行が遲れたのは讀者諸氏に對して申譯が無い。これでも隨分努力したつもりである。今月は例月よりいさゝか寂しい感じがするが、來月こそ充實したものにしたい。月末には必ず發行する様にしたい。

×　×　×

今日兵庫の方の讀者から「進め」が日勞黨を支持するのは怪しからん、今後絶讀御免との投書があつた。吾社の主義主張は合同主義であり、勞農黨の分裂主義とは正面衝突である。日勞黨は現在の無產黨の中で一番戰線統一の爲め努力してゐる政黨であるから、之を支持し無產戰線の統一を促進するのが戰闘雜誌の使命である事を信ずる。しかし「進め」は日勞黨の機關紙ではないから無條件に閉口してゐるものではない。進めは依然として全無產黨大衆の雜誌である。進め社の門を叩いて來る人あらば、吾等は何黨を問はず胸襟を開いて語り合ふだけの度量を有するものだ。

讀者諸君への希望

本社へ寄せられたる通信、及び振替送金の場合等如何なる場合でも、字を丁寧に書いて貰ひたい。そうしないと非常に配達が遲れ或ひは間違が生じ易い。この點は特に朝鮮の同志諸君へ御願ひしたい。朝鮮の諸君が日本字に不なれなのは止を得ないけれどもなるべく楷書で書いて頂く樣希望する。

×　×　×

誌代が切れたら、すぐ發送を停止します。現在は個人讀者の方には無い樣であるが、支局の方に少し誌代切の諸君がある樣だ。大至急送金を願ふ。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

創作

囚人夜話

中島安太郎

四年の牢獄生活を北陸で送つた俺の記憶の中へ飛び出して來る多くの獄友の中で、忘れることの出來ない一人は俺の監房のすぐ前へ、たしか俺がはいつてから七ケ月目かに這入つて來た、能登の羽咋のおつさんだ。稱呼番號は忘れたが、俺の監房はその監獄の第五監(累犯者收容監)での最左翼の行きづまりのところにある二十八房であり、羽咋のところは向側の二十九房であつた。

なんでも奴さんが、すばらしい元氣で五監へ躍り込んで來た當座であつたらう。擔當看守のGと、途方もない大聲で犯行當時のいきさつを面白可笑しくしやべり續けてゐた。永い間の單調な牢屋の生活に飽き切つた多くの囚人達は恐らく耳を澄して聞いたであらう。

『御擔當なあにさ、おらあ、かあつとしたもんちやけに、此の野郎、おどりやア、と云ひ樣、奴の背後から手斧をぶち込んだ。あれが、はあ、あんた、もう少し奴に近付いてゐて御覽。奴ア殺されるんちやあたのに。』それから奴さん自分の身體にある古創の説明を始めたらしかつた。

『こゝに一つ、こゝに三ケ所、脊中に何ケ所、ヘイ、切られ與三郎以上で御座んす、へえ。』と自慢げに殺風景な話を續けた。擔當看守はそれには何も答へないで、たゞウフアフフ、イヒヒヒヒ笑つてゐたが、時折冗談半分に、誰にともなく、

『おとなしくしてゐないと、タタツ斬つてしまふとい。皆んな聞け。おとろしかろが。』と云つたりした、監獄では裁判所からさがる者があると必ず斬髪をした。おつさんの頭を刈つてゐるのは越中上市の殺人犯の若い少年だつた。その頃は監獄の名稱が廢されて刑務所となり赭い着物と決まつた相場の囚人の中に青い服を着させられるものが、尠からず出來てゐた。床屋の少年は俺が初犯の時富山で一號と云ふ長期囚の大工のところで俺と兄弟分のやうにその大工の仕事をさせられたものだ。これも俺は名を知らない。此處にゐる人達はみんなお役所で勝手な番號をつけられてゐるからな。斬髪が終ると羽咋の切られ與三郎は、今頃は新聞に出てゐるで御座んしやう、はつはアと云つた調子で監房へ入れられた。ドシンと云ふ房の扉が閉まる音がしてまた以前の靜寂に還つた。

監獄で一番寂寥の苦に惱むものは何と云つても獨居拘禁に附せられたる者どもである。けれども、書籍を適宜に取換えて具れゝば、讀書人の理想郷となるかも知れない。あの動物扱ひを平氣で目をつぶつてゐることが出來さへしたら。乾燥無味な、倫理や道德のウスツペラな書籍を二冊ばかり投げ込んでおいて、作業だ、仕事だと、追ひかけられては、長い憂鬱の日を送ると云ふことは自己を世界の中心において凡べての事物に對するから起る錯覺でも何でもなく囚人達の誰れもが、異口同音に和するところだ。その頃籐を編んでゐた俺もこれには隨分惱まされたものだ。病的に氣がイラ〳〵する。此の獨居の住人達も長くて二ケ月位で大がいの連中は累犯者工場へやられる。そしてそのいづれもが、此處にゐることが、餘ツ程の苦痛だと見えて、陰では大言壯語はするが、通りがゝりの看守長をつかまへては哀訴嘆願する。

『看守長どの、看守長どの！工場へ出して下さい。』

『辛抱するか』

『はい出たいからどうかたのんますわい。』

『どうなるか解らんが考へては見てやる。お前はどうも溫順しくないから不可ぬ。』こんな會話が、いつも此處では交される。それからしばらくすると教誨師が來て何かお說教をする。それから數日目には工場へ出て行くことになる。

『おい十三房、それから十八房！』

『お――い。なんちや十五房？』

『あのな！。』

『應！。』

『俺はなあ、明日から工場へ出るさかいにな。大事にしてゐや。』

『いゝなあ、俺も行かうぜそのうちにな。』

『出て來いや』十三房あたりが、羨ましさうに答へると云ふ段取りだ。これがこいつ等の挨拶である。看守の銳い眼や耳を忍んであの一尺二寸四方位の不自由な鐵窓を覗いての。

ある日のこと。

俺が珍らしくも他の二三人の囚人と入浴へ一緒に曳かれた時のことだ。浴場から揚がつて來ると、そこに例の切られ與三郎が、湯から出たまゝの素つ裸で突つ立つてゐた。彼の全身には、眞黑い刺靑がベツタリとしてあつた。脊

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

中から脇腹へかけて、それから兩腕そしてその左の腕の前膊がブッタ斬られてあつたが、それは餘程よい傷であつて切れ口が、深庵の尻のやうに縮まつて皮膚が、立派に密着いてゐた。それからみけんには斬り付けられた創が三つもあつてその深いのは三分位くぼんで見えた。頭にも脊中にも、腕にも刀創がいくらも見えた。そしてこれだけの傷を受けて、被害當時を誇張して話つてゐるのを俺は好奇の心で凄く感心して聞いた。その時も彼は看守の眼を竊んで脊の高い累犯囚と何か犯罪の事について立ち話をしてゐた。

與三郎は五十を過ぎた男だ。小造りな丈夫らしい身體に、馬鈴薯のやうな型の頭の格好で剛いヒゲが、ボロボロと生えた顔の持主だつた。その時はなんでも暖い雨が降つて獄庭のポプラの若芽が勢ひよくぐんぐん伸びてゐたやうな氣がする。

俺はその年の春から宿望が許されてエスペラントの研究をすることになつた。英語がやりたかつたので獄則を楯に典獄にかゝつて見たが、それは教誨師達によつて極力抑止されてしまつた。——とても今からそんなことをやつて見ても駄目ですよ——エスペラントをやる時桐の芽の吹くのを見て、それが見てゐては伸びるか縮むか解りはしないが、その生長の早いことと三日見ぬ間と云つた調子なのに、ひとつこの俺が桐の若芽と競ひ較べて見やうと思つたが、自然の力には勝てはしなかつたつけ。便器の上へ乘つかつて外を覗く四監が見える尖方形の畑が二反歩ばかりこつちとの中間にあつて甘藷が植えてある。それが成長して行くのが眼に見える、鐵工工場がある。赭衣の人達が働いてゐる。ヘンマーを振り上げてゐる赭衣の人達が見える、その音もするし、ベルトの唸りも聞えて來る。監房脊戸の眺めだ。

ある時運動看守が來て、すうつとガチャリ、グチャリと扉の錠を鍵で外し始めた。俺の方へも來た。開けるかな。一緒に出すか知ら。ギイー、運動」。ギイー「運動」俺はコンクリートの廊下へよろけ出た。囚人どもは心地よげに廊下を渡る涼風を呼吸してゐた。脊の高い奴やら低いのやら。その中に與三郎がゐた。狎咋のおつさんが深編笠を被つた一行七八人の者は看守につれられて例の運動場へ出る。柑橘の實を横に二つに切つてそれを半分にしたやうな區劃が黑い板塀でしてある。蜜柑か菊の花のやうな小口綺麗になるが、その中へ一人宛はいつて行つて「運動始め。」でパタンパタンと足ぶみをしながら藁草履を乾いた裏日本の大地へたゝきつける。突然

「御苦勞！」と先づ切られ與三郎が看守に話の小口を切り出した。

「何ちやい三百二號。」此の男また話好きに見える。此の房の區劃中で深編笠は被らないことだ。切られの奴めしたりとばかり「まあん。これやあ、何の緣だやら知れませんけど斯うしてヘア、あんた方の御世話になると云ふことは餘つ程、先生からの深い因緣約束ごとだと思ふがだすチヤ。ねえ御擔當！」

「一應。そうちやと思つたら、あまりしやべらずに眞面目につとめるんだ。解つたか」此の看守どの、軍隊あがりだ、軍曹だと云ふ、シベリア追憶談はよく聞かされたつけが、百鬼晝行のあり樣をよく斷片的に話したものだ。

「眞面目ですとも、まあゐる間可愛がつてやつて下さいませ。それについて考へて見ますといまの監獄は、監獄だと云ふても、まるで學校みたいなもんで御座んすねえ。わしやあ、あんた、これで監獄へ丁度九へん目ですが……。」

「嘘つけ。」

「身分調書を見て下さい。うそでも何でもありません。一番始めて入つたのは能登の七尾で、それから富山へ這入る、大阪へはいる京都やら、前橋へもはいり支那までも行つて來ましたよ。」

空は晴れてゐる野は廣い小鳥は鳴いてゐる季節は夏から秋への過渡期。河原ぐみの葉がそよ吹く河風に白い葉裏を飜へしてゐて野菊の花がなつかしい色をほころび初める萱の中から仄かに見せてゐてチロチロ蟲が白い花かげで淋しく啼いてゐる。瀨々らぎの音、此處は河原である。蜻蛉のやうに土手にうごめく人の影、二人づゝ繋がれてゐる囚人達の群。砂利は運ばれ堤防は築かれつゝある。その懲役の一人に梅と云ふ男があつた。彼の若い妻は、彼がこの堤防工事に使はれて激烈な勞働をやつてゐることを何かのたよりで知つたので、恐いもの見たさの氣まぐれか、夫戀しさのそれか他所ながらあわれな姿の夫に會ひに來たのであつた。脊には三つになる女の兒を負つて。が近寄つて物が云へるわけのものでは無論なかつた。窮餘の一策か、せめてもの心やりに乏しい金から買つて來た餅や生菓子の類を紙に包んで、陰にかくれて男の方を注意してゐた彼女は手渡しが出來ない萩花かげにしやがんで餅をかくして、捕ひ得た男の眼に力強い目配せもした遂くまで歸りかけた彼女は男がそれを拾ひ取る機會を得て食つて與れるのを待ちこがれるやうに伸び上つては注意してゐたのだ。役人達の物なれた敏い眼はこんな事情なんぞを見逃しはしなかつた。すきを見付けてその紙包をふところへ捻込んだ、梅の揶揄は瞬間に始まつた。引きつり倒された梅の上へ靴の先きが跳躍する、餅の紙包は圓を描いて河瀨の中程へ飛込んで行く。お役人樣が投げ込みなすつたんだ遠くで見てゐた女は伏轉しんで泣き崩れる。その夕彼の肢體は死骸のやうに見えたもつこに入れて監獄まで運ばれて行つたまでの話。

創の與三郎の話はいまの監獄のありがたさに歸着した。（十頁三段へ行く）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

進め社本部取次書目（壹部壹圓）

解放の藝術 青野季吉
◇氏の一評は文壇の一波、故に曰、青野の前季吉の後、評界又大地震と

幽靈讀者
◇勞農藝術聯盟の鬼才山田清三郎氏の著也、プロ文學の典型暴露小説の開山、嗚呼氏の活躍と大新開拓面

幸德名文集
◇文豪秋水幸德の名文は世既に定評あり後世評して教科書中の教科書國民文學の精髓國民必携の大寶典と稱する誠に故ある也、別に宣傳用書半額版も發行す

秋水書簡集
◇本書を讀みて反動大家泣て曰『志士の決心同志の友情われ讀むに堪えたり孝子の純情烈母の覺悟われ遂に讀むに堪えず』と、宣傳用書半額版ある所以か、

新消費組合論
◇斯界權威の博士や投稿者實際家共同執筆組合長新居格責任編輯、既に久しく絶版、但普及宣傳半額版あり

地震憲兵火事巡査
◇著『久さん來迄で無期懲役、廿前三たりで假出獄』也

世界社會運動史
◇石川三四郎氏『歐洲著定價六圓の西洋社會運動史千餘頁を簡潔に壓縮した良書の標本廉價の見本だ』

ユートピア集
◇幾度か企てられ幾度か中止せる難業を著者守田有秋氏の努力が今や之を完成した。1思想2古代及中世3近世4日本5比較の五篇廿章

日本社會運動史 岡陽之助著
◇興味中心文章本位の日本正史運動史論1播篇2發展3活躍4闘爭5反動6分裂六篇六時代。波瀾重疊の事件と人物が躍動す

製絲女工虐待實史 佐倉啄二
◇著者、製絲工女に皆細井氏女工哀史の紡績工女を奨んで『ます』『哈！』、巧妙の搾取殺傑の暴虐女工哀史以上の虐待史』◇山崎伯爵『僕も蠶蛹を食べて製絲場で働いた。此事實は全く本當だ』

勞働運動史 近藤榮藏著
◇著者は勞働運動史の權威、曩に曉民共產黨事件で保釋中日本共產黨事件で入獄亡命、專ら斯の勞働運動史を研究し滿五年の心血を傾けたる此の一卷九章三百頁、讀書天下の渇を醫するものあらん乎

彼等甦らば 小川未明社會小說集
◇著者は明治大正昭和を通じて最も特異な地位を占むる作家文壇生活二十有餘年、最も尊き日の純眞熱情、はた聊か之れの憂鬱も見せぬ。本書收むる十有七篇、悉く氏最近の傑作。讀者をして追隨を許さん說。

武左衛門一揆 中西伊之助著長篇戯曲
◇著者曰、『武左衛門は佐倉宗吾の所謂義民の類でない。彼は近代農民運動の先驅者革命家であつた。』本書全篇十有五景は彼れの進出よりギロチン迄の描寫。僕は自負する。之れは僕空前絕後の會心の作た。

社會思想解說 山內房吉新著
◇無產階級的智識の武器を求める無產階級必備の大寶典！古今東西各段階に於ける各種社會思想の精密な大辭典！各種社會主義、社會主義者、社會主義術語必々の大字引！內容の精密正確、文章の流達平易！

農業と社會主義
平野學著（四六版上製函入）
總頁百八拾頁定價壹圓三拾錢 送料金拾錢

今や農民は昔日の農民ではない。資本主義社會の搾取と欺瞞とより自覺して、農民は蘇生への闘爭に猛然と起つに至つた。農民運動は既に一揆的闘爭から永續的、計畫的、組織的な階級闘爭に進展した。しかし、我農民組合が今や小農の組織に止まりはせんか。依然として勞力的綱領、規模は未だ職業的な耕作者を興へて指導者として得ない。一、農民運動の指導者として。二、農業を社會化する方策。三、農業と社會主義は如何なる必要の関係に在るか。科學的に、本書は之を敍し農業社會化の一大斧鉞を加へ、その歷然たる目標を農村思想界に示して、未來農村への樂園を提唱せるものである。

農民の歷史
稻村隆一著（四六版上製函入）
總頁百五拾頁定價金壹圓 送料金八錢

過去の歷程たる日本農民史、歐西農民史の血に慘めなる農奴の狀を述べ、今や混沌の渦中にある無產農民の大衆を興し、並に農民研究家の道程を放せてる現代の農民の要求に至り、最も必須な針と啟しての人の要する參考書である。敢えて廣く急讀を勸む。

世界の農民運動
オイゲンヴアルガ著大西俊夫譯
四六版上製函入）總頁百六拾頁
定價金壹圓六拾錢送料金拾錢

本書の意識は全世界の農民と無產政黨の焼眉の火の如く強くなりつゝある、國際運動の形勢を如實に識らしめることにある。資料は諸國の×××、國際農民會議の報告等より蒐集されたるもので、現在の農民運動の實狀を詳述せるものにして何人も一讀の要があらう。

著者オイゲン・ヴアルガは曾てハンガリー革命政府の經濟人民委員長を勤め現にインターナショナルの經濟通として重きを爲してゐる人である。——初版は「農民と無產政黨の國際形勢」として農民の世界形勢を敍せる我國最初の文獻として刊行されたものであるが、不幸發賣禁止に遭ひ苦心して漸く改題して世に出づることを得たものである。

小作爭議の實際
杉山元治郎著（四六版上製函入）
總頁二百餘頁定價金壹圓五拾錢 送料金拾錢

我國の社會問題中最も重要なるものは農村問題である。又農村問題の中心は小作問題である。其の段階に於ける小作問題は日本の作問題として深刻なものがある。多數の人々は小作問題に就て休戚を共にし、而して日本の小作問題は何故に生ずるか、小作爭議の實際は如何にあるか、本書はこの題の解決を以て現實に問ひ斯の如き問題の鍵を與へんとする。讀者は之を愛讀して小作問題の解決を得られよ。

農民の文學
木村毅著（四六版上製函入）
總頁百九拾頁定價壹圓五拾錢 送料金拾錢

我國文藝評論壇に於て農民文藝の雄たる著者が我國及び西歐の農民文藝を紹介し、之れに系統的批判を加へ、最後に農民文學の明日への道を指示せるものである。

【目要】第一章、農民文學論、第二章、對外生活の表現、第三章、內部生活の表現、第四章、勞働から生れた文學

（附錄）歐洲農民文學の斷片的考察、第一章、牧歌文藝論、第二章、トルストイの農民文學論、第三章、勞農ロシアの農民詩

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

清新な趣味と實用に綾なす

内外のあらゆる流行品豐富

地方よりの御註文は御手紙にて通信販賣係宛に御願ひ申します

三越呉服店

大阪市高麗橋

金.銀.白金

徳力商店

電話神田25 {216. 235. 221. 976. 450.-(御客用)}

東京神田松田町

婦人良薬

喜谷實母散

産前、産後、血の道、引風、冷込等に特効有

▲全國到る處に販賣す

本舗

東京京橋區中橋大鋸町

喜谷市郎右衛門

電話京橋五五番 五六番

無産大衆の戰鬪的政治新聞

週刊

日本勞農新聞

讀め！眞の無産政治新聞を！

定價 一部 五錢 一ケ年 一圓五十錢

日本勞農新聞社

東京芝公園五號地

振替東京四六六四九番

山崎今朝彌どく筆

一部拾錢

解放

發行所東京市芝新櫻田町一九

解放社振替東京三六九四四番

Digitized by Google

Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

大正十二年一月三十日第三種郵便物認可
昭和三年三月一日發行
第六年第三號
毎月一回一日發行
定價一部十錢（税五厘）半年六十錢一年一圓（税共）
廣告料一行一圓一頁三百圓
發行所　東京市麹町區内幸町一丁目五番地（振替東京六九八三）進め社本部
發行編輯兼印刷人　神庭伸之助　大阪市東淀川區十三西之町一二一　大阪事務所

無産階級戰鬪雜誌

進め

相呼應して倒閣の
烽火をあげよ

四月號

朝鮮共産黨判決書全文
田中反動內閣を倒せ……巻頭言
時評 合同問題最近の展開……
軍縮會議と軍備全廢案……
分裂主義者の策動と總選擧後の無産運動の任務……上杉 定義
敗戰記……福田 狂二
勞農黨の裏切行爲の眞相……一農民
總選擧の敎訓と戰線統一の鍵……吉田 源藏
打倒分裂主義……
全土戰報……
メーデーの準備はよいか
無産候補者の無い地區に於ける無産階級の選擧權に就いてのヘ
ガキ問答……
討伐同盟を守れ……吉田 源藏
朝鮮社會運動概觀……金浩 永譯
進め社だより……進め社同人
講座 資本主義社會主義……神庭 仲之介
童話 泥棒と番人……松本 淳三

定價十錢

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

進め社本部取次書目　（壹部定價）

青野季吉 解放の藝術
◇氏の一評は文壇の一震、故に曰、青野の論季吉の策、評界又大混亂と

幽靈讀者
◇勞農藝術家聯盟の鬼才山田清三郎氏の著也、プロ文學の典型的小說の開山、嗚呼氏の活躍と大新聞發面

幸徳名文集
◇文豪秋水幸徳の名文は世既に定評あり後世評して敎科書中の敎科書岡氏文學の精髓氏必携の大典と稱する所故ある也、別に宣傳用費半額販賣も發行す

秋水書簡集
◇本書は讀の某反動大家泣て曰『志士の決心同志の友情われわれ讀むに堪えたり、幸子の純眞烈々の覺悟われ遂に泣くに堪えず』と、宣傳用費半額販ある所以か、

新消費組合論
◇斯界權威の博士教授學者實際家共同執筆組合長新居格氏責任特輯、既に久しく絕版、但書及宣傳半額販あり

地震憲兵火事巡査
◇甚『久さん未遂で無期懲役、甘粕三たりで假出獄』也

世界社會運動史
◇石川三四郎氏『標著定價六圓の西洋社會運動史千餘頁を簡潔に壓縮した良書の標本廉價の見本だ』

ユートピア集
◇幾度か企てられ幾度か中止せる難業を著者守山有秋氏の努力が今や之を完成した。1思想2古代及中世3近世4日本5比較の五篇廿章

岡陽之助著 日本社會運動史
◇興味中心文章本位の日本正史評論史1概觀2發展3活躍4鬪爭5反動6分裂六篇六時代。波瀾重疊の事件と人物が躍動す

佐倉啄二 製絲女工虐待實史
◇著者『製絲工女は皆細井氏女工哀史の紡績工女を羨んでます』
◇藤森氏『吼！』、巧妙の搾取戰慄の暴虐女工哀史以上の虐待史』
◇山崎伯爵『僕も蛋蛹を食べて製絲場で働いた。此事實は全く本當だ』

近藤榮藏著 露國勞働運動史
◇著者は勞働運動史の權威、既に曉民共產黨事件で保釋中日本共產黨事件で入獄亡命、專ら露國勞働運動史を研究五年の蘊蓄を傾けたる此の一卷九章三百頁、蓋し天下の渴を醫するものあらん乎

小川未明社會小說集 彼等甦らば
◇著者は明治大正昭和を通じて最も特異な地位を占むる作家、文壇生活二十有餘年、今や最後の純熟境はかの家の見せぬ本書收むる所の十有七篇皆之れ氏最近の雄篇傑作。讀者の追隨を許さん哉。

中西伊之助著 長篇戲曲 武左衛門一揆
◇著者曰、『武左衛門は佐倉宗吾の様な義民でない。彼は近代農民運動の先驅者、革命家であつた。』本書は十有餘幕より成り、ギロチンの傑作也。彼れの先驅者たる所以は之れを空前絕後の會心の作々。

山内房吉新著 社會思想解說
◇無產階級が必然的に常識の武器を求める無產階級の大寶典！古今東西各段階に於ける各種社會思想の精粹なる大辭典へ！各種社會主義、社會主義の大字引！内容の精密正確、文章の平易明快不學の勞働者必讀！

月刊　一部二十錢

工場と鑛山

發行所
東京芝公園五ノ四日本勞働組合同盟

平民病院

專ら中流階級、薄給者、勞働者、店員、學生の爲め診療治療に從事する病院で、本院所在地左の如くであります。時間は本院午前八時より午後五時迄。

本院　東京市京橋區木挽町出雲橋際、電話 銀座一七一一番（事務室及一般用）銀座一一〇二番（院長室用）

駒形分院　東京市淺草區駒形川岸（電話 淺草三六〇〇番）時間は正午より午後八時半迄。

會計係より

本誌の讀者たらんとする諸君は左の規定を必ず實行して下さい。

一、見本請求は十錢切手を封入する事
二、用件は簡單明瞭に書く事時候見舞など必要なし
三、住所氏名を明瞭なるべく楷書で書く事
四、本社は集金郵便を用ひないから一切前金の事
五、誌代拂込みは振替にて送る事
六、住所移轉の通知には舊住所併記の事

【進め社の振替口座は東京六九八五三番】

申込は整理の都合上本部會計宛へ願ひます。

支局の誌代滯納者はすぐ送金あれ

月刊

法律戰線

◇階級鬪爭の合法戰術！
◇非合法の突破逆用！

一部十錢・半年六十錢・一ヶ年一圓廿錢

發行所　東京・高田町雜司ヶ谷一八一五　振替 東京 第三六四五五番

淺野研眞主幹

社會科學月報 **ソシウス**

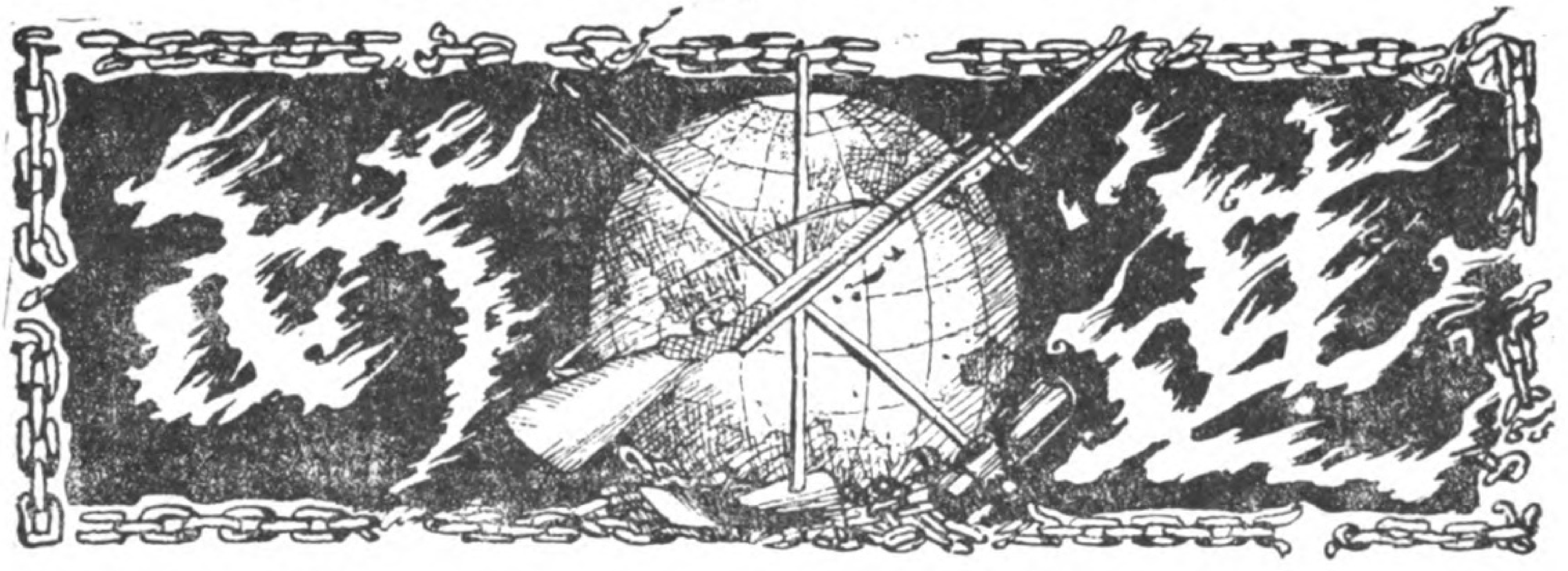
一部五錢　送料二錢　一年六十錢

『ソシウス』既刊號要目

◇創刊號（二年十月）兒童問題號
◇第二號（二年十一月）宗敎批判號
◇第三號（二年十二月）敎育批判號
◇第四號（三年一月）藝術批判號
◇第五號（三年二月）農村問題號
◇第六號（三年三月）道德批判號
◇第七號（三年四月）婦人問題號

發行所　東京青山アパート七九號　ソシウス社　振替東京一三八九番

萬國の無產者團結せよ



第六年■戰鬪■進め■雜誌■第四號

田中反動內閣を倒せ

暴風が日本の無產階級運動の上に吹き初めた。この大暴風の中に、あらかじめ備へられてゐた××××がその最も大規模な範圍にわたつて狂暴な姿をのさばり初めた。ブルヂヨアジイとその走狗反動主義者は拍手をもつて聲援してゐる。

支配階級の企圖は決して氣まぐれから出發したものではない。國際關係におけるソウエトロシヤ對反ロシヤ聯盟、支那革命の進展、殖民地の世界的××の形勢、こうした國際的狀勢は世界の帝國主義者に何等かの豫感を感じさせてゐる。殊に支那革命及び日本無產階級の進出は日本資本の致命的問題である。

日本は世界における有數な帝國主義國である。されば、世界のどの帝國主義國においても然るが如く、反資本主義運動のすべてに反對する。しかし、各國は寶庫に對しては鋭く對立してゐる。吾等は帝國主義戰爭の危機と戰はねばならぬ。

扨て、國內の政治形勢を一瞥するならば、過般の總選擧は事實をもつて、中間階級の沒落、二大階級對立の勢を敎へた。勿論、無產大衆の多くは既成政黨に投票したが、二大階級對立の深刻化は早疑ふべくも無い、少數ではあれ吾等の組織の尖端は議會に侵入した。

二大階級對立をより發展せしめねばならぬ。

支配階級は、やみがたき既成政治への民衆の反抗を社會民主主義の埒內におしやらんとしてゐる。そして、世界にほうはいたる××、反××の對立を糊塗せんとしてゐる。

政民の兩黨の伯仲の勢力は政界の上にだゝならぬ暗雲をたゞよはせてゐる。吾等は敵の陣營の動搖を好む、民政內閣にも反對だ。しかし政友の存在は最早許す事が出來ない。特別議會における無產黨獨自の不信任案は政友に乘ぜられる危險がある。民政黨のそれを利用せねばならぬ、院外相呼應して倒壞の叫びがあがらねばならぬ。

田中反動內閣を倒せ。

治安維持法卽時撤廢。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

次層の最初に社會の經濟的平均化に共産主義經濟の一般組織に合力的國民經濟を同化することと組合的生産方法生活及生産における獲取はそのイデオロギッシュな同型をとり社會意識のプロレタリアート形式及絕對に權をふるふ場所の「觀念作法」をとつた──プロレタリアート文化は無階級の共産主義文化に變化する。

〔五〕 共産主義への道

プロレタリアート生産手段の社會主義的目的は改革（經營組織の他の形式、勞働の科學的組織を要求する）技術的方法の完成技術的基礎（電化）の擴張、生産の標準化、基本組織等を要求する、換言すれば全經濟組織の利用效果の協力物及生産行爲の增加である。

凡て、過渡期に於ては又プロレタリアートの獨裁存在において、同目的な階級定義にふれる特種なプロレタリアートの解決を見出すこの問題の解決は獨裁時期の終結に結果の總合の增大を生み出す。そこにおいては無階級の共産主義社會のみ考へられる生産力の膨張する增加の基礎の上に調和的に發展する。

獨裁時期に社會主義的方法の中間に生産力の組織の問題がある。故にいはゆる精神文化の全平面のプロレタリアート創造的勞働に對する力づよき激勵がある、又科學的及技術的施設（例へば「必要」電氣化）等がある。

經濟の組織の社會主義的設置及勞働階級の描く國家、組織の方法及他の文化の方向である、他は共産主義社會の構成に適應する、イデヲロギシュな用具である。

上述の總てから次のことが云はれるプロレタリアート獨裁の過渡期はたゞ「革命的鬪爭問題で」なくこの本質によりて戰會○○鬪爭關係の下にある社會主義的社會のプロレタリアート的基礎をおく生産文化組織である。

〔六〕 遺産の批判的淘汰

古き社會の文化をそれがあるごとく理解し或は關係することは不可能である──同様に少く（人は生産力に關係することが出來る）社會主義的構成の航路にかたむくことなく

プロレタリアートは必要な要素の構成に選擇をもつてその仕事をはじめる。

然し、既に古き文化の使用しうべき建設材料の淘汰過程はその本質によれば創造的過程である、彼はこれや、あれやの要素の有效の程度の評價により前述の完成された階級標準やを假定した、

選擇の標準は只政治的或は文化的に抽象されたものでない（トロツキーがそれを豫見したごとく）なほまた、唯一にて單獨に、他の兩方を包括する。科學的實行でもない。

勞働者階級はマルクスの原理を實際に應用する。それ故眞理の標準は定義でなくて又實際でもない、勞働者階級は世界を改造する。然し指示はしない。

生産的文化問題の解決過程と同時に科學的道具が完成され又適合されねばなれぬ。最少のエネルギーが力最[?]で最大可能の結果を目ざすことは調和の規定された目的によつて完全に必要である、科學的道具の達せらることも必要である、唯一の科學的要素及基本がたゞ「選擇された」ものでなく、又利用せられるものでもなく──それはプロレタリアート的完成方法によつて調和ある科學的組織に結合して又革命的マルクス主義的一元的總體に融合することに意義がる。

〔七〕 枯死した及發展しきつた形式及組織

その趨勢にあるプロレタリアート文化、

過渡期に於ては我々が上述のプロ文化の形式が辯證法的に一つの組織に結びつき、その中でなほ保持せられた市民的形式も成立すると同様に他の階級について支配的勞働者階級がのころ。

その外に過渡期のプロ文化の唯一要素はなほ充分に相互に調和をもたらす、それは革命的鬪爭問題によりて條件づけられる。その組織に結びつく樣な目標を立て、即ち活動的共産主義社會に經過する赤軍は全民衆を包容した。社會主義的民兵の立場になす、獨裁的時期にはそれはプロレタリアート組織の階級保護組織である。

社會生活及プロレタリアート自身の國家的強制形式及方法は從業[?]の最[?]も強[?]き大衆の自己組織及自己管理の進歩と結びつき──プロレ文化の發展においてさけうべからざる不必要な段階を建てる。

プロ文化が成熟する程度においてこの形式は漸次その合目的な機能に大衆の文化平均化、組織化及自己活動を要求する立場をなす。即ちデモクラシイの『最高型』に達する様努力する。

土地の生産力は再建せられ又發展せられ社會主義的生産方法は確定せられる、只、仕事の朋友的訓練の基礎の上にその最大限の自己活動の責任の認識及勞働の生産力の鋭き相互支配を確定す。

他方に於て國民教化組織は云はゆる全體の精神文化を建てる勞働學校、經營學講習所共産主義階級大學ソビエット黨員學校──は共産主義的目的設置の特殊的プロレタリアート形式をうる──その基本的主義に於て、無階級の共産主義社會が到達する。

共産主義文化時期のはじめプロ文化の形式は他の凡ての形式を同化し又プロレタリアート自身共産主義社會生活に於て階級として自身を開放する、既に發達した組織に完成する。かくて基礎及上部構造はその階級特質を失ふ市民的社會に於て全體の上部構層[?]組織は支配階級の組織力及權力

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

め　遣

[illegible]

ければならぬ。[illegible]されたる、[illegible]又支[illegible]階級[illegible]されたる。[illegible]階級は[illegible]組織でなくそれは[illegible]の組織である、教育の關係する組織である、それは學校である、行政の學校であり經濟の學校であり共産主義の學校である（レーニン、職業組合及現在の時期）

[illegible]の形式である。

（八）科學とプロレタリアート

ソヴエト國家の文化と生産の實際はかかる要求の[illegible]科學を云てる。その本質によれば實行することの[illegible]けれどそのため現在の[illegible]級をとく力強き[illegible]（それは市民[illegible]勞農の外に及夫の科學的[illegible]作）を入れることが出來ぬ。[illegible]主義[illegible]土地において上部構造は資本主義の道具として、その資本主義的生産の形式に服した[illegible]組織に用ひた器としてそこに[illegible]出す。

それはその市民的への由來かくてそれは資本主義への發展の時期に二の組織を形成する、それはその立脚地によれば行爲（說明方法）の群をなす及結合の種類によりて更にそ

[illegible]によりて、[illegible]によ[illegible]の選擇及全市民的表示によ[illegible]たは[illegible]であるものである。[illegible]完全な基礎[illegible]學の孤立は—[illegible]事實の[illegible]多數[illegible]主義的[illegible]にその本質を見ることとの[illegible]個人主義[illegible]式に適應する[illegible]全體においての[illegible]構造の科學は市民的文化の上部構造のイデオロギッシュな道具である。[illegible]はその資本主義的[illegible]の實[illegible]を通して適應した。[illegible]科學はプロレタリアート文化の上部構造の道具にならねばならぬ。[illegible]の及[illegible]主義的構成に對する闘爭のイデオロギッシュな道具にならねばならぬ。

プロレタリアートの大[illegible]な合[illegible]、それはその現實[illegible]性に於て大體に於て市民的構成の[illegible]科學的の[illegible]決して[illegible]値を不[illegible]に用ひる世界の必然的[illegible]解[illegible]的價値の前衛の指導する下の階級的[illegible]ちその[illegible]努力に[illegible]は集合的[illegible]努力によりこの目的の努力の[illegible]——全努力の限りなく大[illegible]をもつ及同時に勞働の成就する政[illegible]なるも[illegible]經濟を[illegible]る者に對して科學の批[illegible]は勞働者の問題に付てその表[illegible]的實驗の問題に付て[illegible]

[illegible]の觀[illegible]した[illegible]の方法の[illegible]論[illegible]法の統一が[illegible]問題に關する[illegible]見[illegible]成立した實[illegible]を立てる新らしき綜合した見地を立てる。科學は[illegible]の問題に適合した[illegible]主義的[illegible]爭及構成の[illegible]ならぬ、それは共産主義[illegible]ならぬ、それは共産主義的世界觀を普及させねばならぬ。[illegible]の[illegible]容されて[illegible]の核[illegible]はその[illegible]に[illegible]についての目的に適合するもの[illegible]にてこの目的に適合するものではない、それはその[illegible]にはない、それはその戰略について、不生産的なエネルギーの[illegible]を表した、人[illegible]の共[illegible]つ[illegible]主[illegible]組織の[illegible]た[illegible]題の前で全く[illegible]かせにすべからざるのである。

[illegible]實[illegible]を[illegible]に[illegible]する[illegible]通俗化の[illegible]算に[illegible]したがつてプロレタリアート前衛[illegible]文化[illegible]ロレタリアートは市民的世界の科學の問題に[illegible]負ふ[illegible]の問題[illegible]價値[illegible]化の[illegible]的[illegible]を[illegible]解[illegible]くにある。社會主義的[illegible]な關係及その問題[illegible]の不[illegible]解[illegible]決[illegible]に[illegible]よつて破壞されたもので[illegible]の[illegible]、創造[illegible]的[illegible]方法へのそれ[illegible]質である。[illegible]階級の[illegible]及び[illegible]された、破壞力は多くの[illegible]に[illegible]

既に[illegible]社會主義[illegible]過程である、それは[illegible]的[illegible]意識的破壞[illegible]關係においてある、破壞の審判[illegible]及維持された新らしきものを創造すること——それは革命の根本的目的である、プロレタリアートの階級は規定された目的の喪失に對する道具である、社會組織の[illegible]過程は××をもつてはじまるその中に××[illegible]いて只破壞だけとせば[illegible]的に問題を知り及手段を示さねばならぬ、××の過程においてなら××は[illegible]の[illegible]組織の必然的××假定を建てる——××の[illegible]な[illegible]は我々は既に[illegible]したごとく新らしき組織[illegible]式を[illegible]せねばならぬ、新らしき形式の[illegible]遂[illegible]成は然らしき[illegible]及[illegible]無[illegible]條件に、生産[illegible]文化の過程で[illegible]ある。

かゝる進歩によつての道[illegible]社會主義への[illegible]の創造組織は常に複雜な[illegible]す、それに適應する問題は常に[illegible]ギッシュな道具の實際的イデオロは常に支配的に捕捉せられる[illegible]。プロレタリアートの生活[illegible]化[illegible]的[illegible]創造的機構[illegible]て直接的[illegible]に[illegible]した多く[illegible]ただそれは[illegible]にすすむ[illegible]

の運動を天下り式に提唱したのが／であつて、農民組合それ自體／農民組合の戰線統一は組合／婦人階級に至る迄其の非を鳴らし—つゝある。（十七頁へ續く）

的に話すことと不可能なことが文化のAB。及實際問題の特種的差別性は救濟方法の速かなる又充分なるプロレタリアート的文化的形成を要求する。

プロレタリアートは建設されねばならぬ、かくて凡ての重大ならざるものが投ぜられた反動が側におこり又生産的なる使用が現在の科學の結果の上部構層の異つた範圍になされる。

實際的結果は大體に好意あるものである、かくて社會主義的目的により支配され實際に從ひ又定理における合目的選擇によりその方法及終末を行ふ。

又彼は只支配及選擇を取らぬ即ち現在の材料を受身に利用しない――それは活動的な新らしき形式をつくり又科學的組織の全線に新らしき刺激を與へる。

かくてその前衛人におけるプロレタリアートは既に支配を行ふ科學的價値の下に選擇をなす、社會主義的目的の方向の創造的行爲に刺激をあたへるより長き經過に於てプロレタリアートはこの道具の入用結果の協力物の増加に關することの全科學的材料を科學的組織に適當なる救濟方法の社會主義的目的に結合する、この組織をプロレタリアートの活動性の生産及過渡期及共産主義の第一期におけるプロレタリアートの創造的活動が造る、かくて（プロ文化の造つた組織の實際の凡ての範圍に）政黨のある一つがあり、同時に一般の重要な組織がある。

かくてそれ故プロ文化は存在してゐる。只存在すべき何者でもなくむしろ既に存在してゐる何物かである。

社會生活の異つた範圍に日日のプロ文化は要素的に手觸り的にその存在の全平面の上に勞働者階級の構成勞働の實際として造られる。

この實際は科學的基礎を備へる、社會主義的社會の上部構成の認められた道具に對する、科學的組織をつくることは過渡期の問題である。

〔九〕 生活形式

史的目的――勞働者階級の成立してゐる前に國際的共産主義の組織はブルジョアジーの問題と比較出來ないほど異り又個人的に要求することが出來なく、集合的行爲である然し過去より蓄積された又現存された科學的及技術的道具はブルジョアがその發展のはじめその處理をなしたものより不比較的に豐富で完全である、

資本主義社會における勞働階級は物質的に又社會的に壓迫される、それ故その獨裁時期にはこの地位から早く脱出しなければならぬ、階級的連帶責任感情、先導する英雄的闘爭の經驗、現代におけるより英雄的な闘爭工場の苛酷な訓練、過去及必然性に對する階級的憎惡、集的行爲により各々の價値を社會主義的生産に組織すること――凡て非常に大なる、促進的な要素である、就中、實際的組織經驗は國家及生産の指導によつて集められ勞働者階級の側に直に組織の心理及イデオロギーを發展さす又支配する階級に對して實際的となる。

勞働階級の生活形式はブルジョアの生活形式より定義的他の條件の下に發展した。

階級意識、朋友的勞働組合及朋友的訓練――これは勞働者階級を特徴づける社會關係の形式である。その下に發達が生じ又他の關係がおこる。

關係形式は生産におけると同じく（主として勞働階級の全社會存在としての）生活形式にもある。

同樣な種類なれば他の階級の生活形式のあがなひうべからざる對象に立ち又プロレタリアートの生活能力の保持に對する重要な手段を建てる。

階級意識、現代の勞働階級の朋友的組織及未來の全社會の共産主義的組織――それはその現象の異つたモメントであり過程であり段階である。

凡てこの要素を獲得すれば「勞働階級の壓迫された要求文化が理解される」こと、その日々の生活及精神的存在のかかるモメントより保持されることと即、舊世界の文化遺物の批評的創造的獲取は社會革命の歩調とくらべて實に革命的歩調を定めることの目的に對して壓迫された心配にある。勞働者が榮養を減ぜられることと及各々の水準に物質的地位を達せしむること、その下に階級の各々の活動及エネルギーが不具になることは必要であるそこでその生活と形式の朽ちた、反動的小市民的要素が直に枯死する。又朋友關係はその更に發展する支配的動力となるこの改革に勞働者の生活形式の活動的改榮がはじまる、かくてその「より高き」動的特質をうる、同時にそれで勞働者階級の文化構成活動その熱心及その最高生産力が飛躍をなす。

〔一〇〕 「不淨」と文化の淨化方法

文化は（物質的及――精神的にも）[illegible] 純正哲學より外のものでない。

その闘爭において、搾取者の壓服において、内亂の過程中、勞働者階級は適應し又適應しなければならぬ――とごとくすべての闘爭方法は、勝利の時々なる發展過程に導かる、プロ文化及プロ方法は勞働者階級の共産主義的目的の下に從屬しなければそれ自身生じなく又あたへられない。

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

××期の「軍國主義」白兵の××、ソビエット共和國の敵に對する××、政治變革の首府——これ等凡ては何か？プロ的闘爭の「純なる」方法或はプロ文化本領の不淨な歪みか？

これはヘブライ法典的價値のある問ひである、凡て名付けられた現象は自身において「純」であるか或ひは「不淨」であるかである——それはただ闘爭計畫において合目的か不合目的かどちらかとして評價される。

KPRの計畫は全國民を社會主義的××に變ぜられた中の勞働者階級の斷然たる勝利に向ふプロ××の道具としての××を認める、特に勞働者階級に對してこの防備の組織のプロ的種類その共産主義的目的又社會主義的民兵に對する分離の實際的信ぜらる傾向である。

過渡期のプロ文化の特殊形式は——プロの××、國家のソビエット形式及凡てこの獨裁に支持と防禦をなすものである、その凡ては「純なる」形式であるそれは「不淨なる」ことは出來ない、それはたゞ合目的に即ちたゞ獨裁を支持するためにとりあつかはれた。

××はたゞ權力を意味しないと等しく權力の變革なくては不可能である、それはより尚き段階への勞働の組織化と等しく先だつ組織を意味する

（レニン）

これは獨裁の史的デアレクデイクである。

最後に一つの例證——最も重要である、社會生活の特種プロレタリアーの形式は勞働者階級の知られた朋友的組織である、（二十行抹殺）その存在の「社會主義的人間」は實際の及者へられる社會アトモスフィアー及獨裁及訓練の條件の下に成就する。

かくてプロレタリアートの「權力主義の特質が成立する、この主義によりて勞働者階級及びその共産主義政策が自ら組織し又、訓練する。然し、市民的社會組織によるごとくでなく——搾取する階級の他の所に活動し及從屬する。

實際生活事實に向けられるKPRのプログラムの尺度はプロ文化の發展のチアレクチクをよく明かに承認する過渡時代のプロ文化の大なる成就の時間からその改正にまでそのプロ獨裁の現今の闘爭關係は內にも外にもこの最大なる計畫を所有する。（完）

（十五頁より續く）

けれど、支配と被支配、言ひ換へれば、蒐集群と生産群との二つの階級の對立する限り、これらの二元的社會組織の原則として、二者の利害は相に背反すべきが常則であり、從つて階級闘爭の基調も此の證に發程してゐる事は言ふ迄もない。故に、此の社會においては「請願する者には與へられず」といふ闘爭原理は據としてプロの行途を照して居るべき筈である。

以上述べ來たつた諸點を總合して

一、自由勞働者の失業原因とその[illegible]する點の

二、自由勞働者の境遇が勞働市場のどん底に位置を占め、雇傭契約が暫定的な關係下に置かれてゐるため、他の産業勞働者とは特異な戰術を以て一[illegible]な闘爭意識の下に生活基調を進めねばならぬ點の二點を抽出する事が出來る——詳細は後段に述べる——が他の産業勞働者に比して、其の闘爭意識においてより眞劍であらねばならぬ筈の自由勞働市場には果してどんな氣分が漾ふてゐるか？

平氣の平三で罷業破りの用心棒に雇はれたり、事件屋と稱する、プロ酷めに家主の手先きや貸金の取り立て等に衣食する手段を頻繁に此の勞働市場より送り出してゐる現狀を眺むるとき思ひ半に過ぎるものがあらう。

以上は何人もが氣付いてゐる甚だ月並的な陳述ではあつたが、後段述べんとする事の總前提として駄筆を驅つた次第である。（未完）

編輯後記

三月號に無産者の立候補の無い地域において無産階級の探るべき手段は棄權か亦は山川氏が云ふ樣に現反動內閣倒壞といふ目的の、めに在野黨に投票すべきであらうかといふハガキ問答を發したが、何分時機が大低の人が地方で火の樣な努力をしてゐる時分なので集らず集るもの約五六枚だつたから、三月號には中止して四月號に載せる事にした。この點、御返事下さつた木本、前田河、山崎、平野氏に御諒解を求めます。

× × ×

三月號は又發行が遲れたのは讀者諸氏に對して申譯が無い。これでも隨分努力したつもりである。今月は例月よりいさゝか寂しい感じがするが、來月こそ充實したものにしたい。月末には必ず發行する樣にしたい。

× × ×

今日兵庫の方の讀者から「進め」が日勞黨を支持するのは怪しからん、今後購讀御免との投書があつた。吾社の主義主張は合同主義であり、勞農黨の分裂主義とは正面衝突である。日勞黨は現在の無産黨の中で一番戰線統一の爲め努力してゐる政黨であるから、之を支持し無産戰線の統一を促進するのが戰鬪雜誌の使命である事を信ずる。

しかし「進め」は日勞黨の機關紙ではないから無條件に閉口してゐるものではない。進めは依然として全無産黨大衆の雜誌である。進め社の門を叩いて來る人あらば、吾等は何黨を問はず胸襟を開いて語り合ふだけの度量を有するものだ。

讀者諸君への希望

本社へ寄せられたる通信、及び振替送金の場合等如何なる場合でも、字を丁寧に書いて貰ひたい。そうしないと非常に配達が遲れ或ひは間違が生じ易い。この點は特に朝鮮の同志諸君へ御願ひしたい。朝鮮の諸君が日本字に不なれなのは止を得ないけれどもなるべく階書で書いて頂く樣希望する。

× × ×

誌代が切れたら、すぐ發送を停止します。現在は個人讀者の方には無い樣であるが、支局の方に少し誌代切の諸君がある樣だ。大至急送金を願ふ。

創作

四人夜話

中島安太郎

四年の牢獄生活を北陸で送つた俺の記憶の中へ飛び出して來る多くの獄友の中で、忘れることの出來ない一人は俺の監房のすぐ前へ、たしか俺がはいつてから七ケ月目かに這入つて來た、能登の羽咋のおつさんだ。稱呼番號は忘れたが、俺の監房はその監獄の第五監（累犯者收容監）での最左翼の行きづまりのところにある二十八房であり、羽咋のところは向側の二十九房であつた。

なんでも奴さんが、すばらしい元氣で五監へ躍り込んで來た當座であつたらう。擔當看守のGと、途方もない大聲で犯行當時のいきさつを面白可笑しくしやべり續けてゐた。永い間の單調な牢屋の生活に飽き切つた多くの囚人達は恐らく耳を澄して聞いたであらう。

『御擔當なあにさ、おらあ、かあつとしたもんぢやけに、此の野郎、おどりやア、と云ひ樣、奴の背後から手斧をぶち込んだ。あれが、はあ、あんた、もう少し奴に近付いてゐて御覽。奴ア殺されるんぢやあたのに。』それから奴さん自分の身體にある古創の說明を始めたらしかつた。

『こゝに一つ、ここに三ケ所、脊中に何ケ所、へイ、切られ與三郎以上で御座んす、へえ。』と自慢げに殺風景な話を續けた。擔當看守はそれには何も答へないで、たゞウフアフフ、イヒヒヒヒ笑つてゐたが、時折冗談半分に、誰にともなく、

『おとなしくしてゐないと、タタッ斬つてしまふとい。皆んな聞け。おとろしかろが。』と云つたりした。監獄では裁判所からさがる者があると必ず斬髮をした。おつさんの頭を刈つてゐるのは越中上市の殺人犯の若い少年だつた。その頃は監獄の名稱が廢されて刑務所となり赭い着物と決まつた相場の囚人の中に青い服を着させられるものが、尠からず出來てゐた。牢屋の少年は俺が初犯の時富山で一號と云ふ長期囚の大工のところで俺と兄弟分のやうにその大工の仕事をさせられたものだ。これも俺は名を知らない。此處にゐる人達はみんなお役所で勝手な番號をつけられてゐるからな。斬髮が終ると羽咋の切られ與三郎は、今頃は新聞に出てゐるで御座んしやう、はつはアと云つた調子で監房へ入れられた。ドシンと云ふ房の扉が閉まる音がしてまた以前の靜寂に還つた。

監獄で一番寂寥の苦に惱むものは何と云つても獨居拘禁に附せられたる者どもである。けれども、書籍を適宜に取換えて呉れゝば、讀書人の理想鄕となるかも知れない。あの動物扱ひを平氣で目をつぶつてゐることが出來さへしたら。乾燥無味な、倫理や道德のウスッペラな書籍を二冊ばかり投げ込んでおいて、作業だ、仕事だと、追ひかけられては、長い憂鬱の日を送ると云ふことは自己を世界の中心において凡べての事物に對するから起る錯覺でも何でもなく囚人達の誰れもが、異口同音に和するところだ。その頃籐を編んでゐた俺もこれには隨分惱まされたものだ。病的に氣がイラ／＼する。此の獨居の住人達も長くて二ケ月位で大がいの連中は累犯者工場へやられる。そしてそのいづれもが、此處にゐることが、餘ッ程の苦痛だと見えて、陰では大言壯語はするが、通りがゝりの看守長をつかまへては哀訴嘆願する。

『看守長どの、看守長どの！工場へ出して下さい。』

『辛抱するか』

『はい出たいからどうかたのんますわい。』

『どうなるか解らんが考へては見てやる。お前はどうも溫順しくないから不可ぬ。』こんな會話が、いつも此處では交される。それからしばらくすると敎誨師が來て何かお說敎をする。それから數日目には工場へ出て行くことになる。

『おい十三房。それから十八房！』

『お——い。なんちや十五房？』

『あのな！。』

『應！。』

『俺はなあ、明日から工場へ出るさかいにな。大事にしてゐや。』

『いゝなあ、俺も行かうぜそのうちにな。』

『出て來いや』十三房あたりが、羨ましさうに答へると云ふ段取りだ。これがこいつ等の挨拶である。看守の鋭い眼や耳を忍んであの一尺二寸四方位の不自由な鐵窓を覗いての。

ある日のこと。

俺が珍らしくも他の二三人の囚人と入浴へ一緒に曳かれた時のことだ。浴場から揚がつて來ると、そこに例の切られ與三郎が、湯から出たまゝの素つ裸で突つ立つてゐた。彼の全身には、眞黑い刺靑がベッタリとしてあつた。脊

中から肺腹へかけて、それから両腕そしてその左の腕の前膊がブッタ斬られてあつたが、それは餘程よい傷であつて切れ口が、浮庵の尻のやうに縮まつて皮膚が、立派に密着いてゐた。それからみけんには斬り付けられた創が三つもあつてその深いのは三分位くぼんで見えた。頭にも脊中にも、腕にも刀創がいくらも見えた。そしてこれだけの傷を受けて、被當時を誇張して話つてゐるのを俺は好奇の心で豪く感心して聞いた。その時も彼は看守の眼を竊んで脊の高い累犯囚と何か犯罪の事について立ち話をしてゐた。

與三郎は五十を過ぎた男だ。小造りな丈夫らしい身體に、馬鈴薯のやうな型の頭の格好で剛いヒゲが、ボロボロと生えた顔の持主だつた。その時はなんでも咳い雨が降つて獄庭のポプラの若芽が勢ひよくぐん〳〵伸びてゐたやうな氣がする。

俺はその年の春から宿望が許されてエスペラントの研究をすることになつた。英語がやりたかつたので獄則を楯に典獄にかゝつて見たが、それは教誨師達によつて極力抑止されてしまつた。――とても今からそんなことをやつて見ても駄目ですよ――エスペラントをやる時桐の芽の吹くのを見て、それが見てゐては伸びるか縮むか解りはしないが、その生長の早いこと三日見ぬ間と云つた調子なのに、ひとつこの俺が桐の若芽と競ひ較べて見やうと思つたが、自然の力には勝てはしなかつたつけ。便器の上へ乘つかつて外を覗く四監が見える尖方形の畑が二反歩ばかりこつちと鐵工の中間にあつて甘藷が植えてある。それが成長して行くのが眼に見える、鐵工工場がある。赭衣の人達が働いてゐる。ヘンマーを振り上げてゐる赭衣の人達が見える、その音もするし、ベルトの唸りも聞えて來る。監房脊戸の眺めだ。

ある時運動看守が來て、ずうつとガチヤリ、グチヤリと扉の錠を鍵で外し始めた。俺の方へも來た。開けるかな。一緒に出すか知ら。ギイー；運動』。ギイー「運動」俺はコンクリートの廊下へよろけ出た。囚人どもは心地よげに廊下を渡る涼風を呼吸してゐた。脊の高い奴やら低いのやら。その中に與三郎がゐた。我咋のおつさんが深編笠を被つた一行七八人の者は看守につれられて例の運動場へ出る。柑橘の實を横に二つに切つてそれを半分にしたやうな隔劃が黑い板塀でしてある。蜜柑か菊の花のやうな小口繪圖になるが、その中へ一人宛はいつて行つて「運動始め。』でバタン〳〵と足ぶみをしながら藥草履を乾いた裏日本の大地へたゝきつける。突然

『御擔當！』と先づ切られ與三郎が看守に話の小口を切り出した。

「何ちやい三百二號。」此の男また話好きに見える。此の房の區劃中で深編笠は被らないことだ。切られの奴めしたりとばかり「まあん。これやあ、何の稼だやら知れませんけど斯うしてヘア、あんた方の御世話になると云ふことは餘つ程、先生からの深い因縁約束ごとだと思ふがだすチヤ。ねえ御擔當！」

「解。そうちやと思つたら、あまりしやべらずに眞面目につとめるんだ。解つたか」此の看守どの、軍隊あがりだ、軍曹だと云ふ、シベリア追憶談はよく聞かされたつけが、百鬼晝行のあり樣をよく斷片的に話したものだ。

「眞面目ですとも、まあゐる間可愛がつてやつて下さいませ。それについて考へて見ますといまの監獄は、監獄だと云ふても、まるで學校みたいなもんで御座んすねえ。わしやあ、あんた、これで監獄へ丁度九へん目ですが……。」

「嘘つけ。」

「身分調書を見て下さい。うそでも何でもありません。一番始めて入つたのは能登の七尾で、それから富山へ這入る、大阪へはいる、臺灣やら、前橋へもはいり支那までも行つて來ましたよ。」

空は晴れてゐる野は陽い小鳥は鳴いてゐる季節は夏から秋への過渡期。河原ぐみの葉がそよ吹く河風に白い葉裏を翻へしてゐて野菊の花がなつかしい色をほころび初める雷草の中から仄かに見せてゐてチロチロ蟲が白い花かげで淋しく啼いてゐる。瀨々らぎの音、此處は河原である。蛾のやうに土手にうごめく人の影、二人づゝ繋がれてゐる獄役囚達の群。砂利は運ばれ堤防は築かれつゝある。その獄役の一人に梅と云ふ男があつた彼の若い妻は、彼がこの堤防工事に使はれて激烈な勞働をやつてゐることを何かのたよりで知つたので、恐いもの見たさの氣まぐれか、夫戀しさのそれか他所ながらあわれな姿の夫に會ひに來たのであつた。脊には三つになる女の兒を負つて。が近寄つて物が云へるわけのものでは無論なかつた。窮餘の一策か、せめてもの心やりに乏しい金から買つて來た餅や生菓子の類を紙に包んで、陰にかくれて男の方を注意してゐた彼女は手渡しが出來ない爲を花かげにしやがんで餅をかくして、捕ひ得た男の眼に力強い目配せもしたが遠くまで歸りかけた彼女は男がそれを拾ひ取る機會を得て食つて呉れるのを待ちこがれるやうに伸び上つては注意してゐたのだ。役人達の物なれた敏い眼はこんな事情なんぞを見逃しはしなかつた。すきを見付けてその紙包をふところへ捻込んだ、梅の打擲は疑問に始まつた。引きつり倒された梅の上へ靴らの先きが跳躍する、餅の紙包は圓を描いて河瀨の中程へ飛込んで行く。お役人樣が投げ込みなすつたんだ遠くで見てゐた女は伏轉しんで泣き崩れる。その夕彼の肢體は死骸のやうに見えたもつこに入れて監獄まで運ばれて行つたまでの話。

創の與三郎の話はいまの監獄のありがたさに歸着した。（十頁三段へ行く）

進め社本部取次書目（全部壹圓）

解放の藝術　青野季吉

◇氏の一評は文壇の一波、故に曰、青野の論争吉の鉾、評界又大地震と

幽靈讀者

◇勞農藝術聯盟の鬼才山田清三郎氏の著也、プロ文學の典型暴露小說の開山、嗚呼氏の活躍と大新聞裏面

幸德名文集

◇文豪秋水幸德の名文は世既に定評あり後世評して教科書中の教科書國民文學の精髓國民必携の大寶典と稱する譏に故ある也、別に宣傳用書半額販賣も發行す

秋水書簡集

◇本書讀の至反動大家泣て曰『志士の決心同志の友情われ讀むに堪えたり孝子の純眞烈母の覺悟われ遂に泣くに堪えず』と、宣傳用書半額販賣ある所以か、

新消費組合論

◇斯界權威の博士校閲、投稿者實際家共同執筆組合長新店舗責任者必讀、既に久しく絶版、但書及宣傳半額販賣あり

地震憲兵火事巡査

◇義『久さん未遂で無期懲役、甘粕三たりで假出獄』也

世界社會運動史　世界

◇石川三四郎氏『一大著定價六圓の西洋社會運動史千餘頁を簡潔に縮寫した良書の標本廉價の見本だ』

ユートピア集

◇幾度か企てられ幾度か中止せる叢集を著者守田有秋氏の努力が今や之を完成した。1思想2古代及中世3近世4日本5比較の五篇十章

日本社會運動史　岡陽之助著

◇興味中心文章本位の日本正史運動史論1搖籃2發展3活躍4闘爭5反動6分裂六篇六時代。波瀾重疊の事件と人物が躍動す

製絲女工虐待實史　佐倉啄二

◇『あゝ製絲工女に情熱細井氏女工哀史の紡績工女を笑んでます』、

◇森氏『嘘！』、巧妙の搾取殘忍の暴虐女工哀史以上の虐待史』

◇山崎伯爵『俺も蠶蛹を食べて製絲場で働いた。此事實は全く本當だ』

勞働運動史　近藤榮藏著　露國

◇著者は勞働運動史の權威、曩に曉民共産黨事件で保釋中日本共産黨事件で入露亡命、專ら露國勞働運動史を研究滿五年の精力を傾けたる此の一巻九章三百頁、讀し天下の渇を醫するものあらん乎

彼等甦らば　小川未明社會小說集

◇著者は明治大正昭和を通じて最も特異な地位を占むる作家文壇生活二十有餘年、何日の純眞熱情は脚かの曇りも見せぬ。本書收むる處の十有七篇、皆之れ氏最近の雄篇傑作。誰か退屈を許さん說。

武左衛門一揆　中西伊之助著長篇戲曲

◇著者曰、『武左衛門は佐倉宗吾然の義民の類でない。彼は近代農民運動の先驅者革命家であつた。本書全篇十有五景は彼れの進出よりギロチン臺の犠牲。僕は自負する。之れは僕空前絶後の會心の作だ。』

社會思想解說　山内房吉新著

◇無産階級的智識の武器を求める無産階級必備の大寶典！古今東西各段階に於ける各種社會思想の精密なる大辭典！各種社會主義、社會主義者、社會主義術語一々の大字引！內容の精密正確、文章の流達平易！

農業と社會主義

平野學著（四六版上製函入）

總頁百八拾頁定價壹圓三拾錢　送料金拾錢

今や農民は昔日の農民ではない。資本主義社會の搾取と欺瞞とは長夢より自覺して、農民蘇生への闘爭に猛然と起つに至つた。農民運動は既に一段的に進展し、計畫的、組織的な階級闘爭に進展した。しかし、全國的組織が今や我國農業の小農的耕作の經營を結合させ得ない。本書は之等の必要に依然として、一、農民運動の指導者と與へ、二、農業を社會化する方策。三、社會主義は如何なる農業を加へ、未來の農村への樂園を提唱せるかを敍述して、農村思想界に示し、その懸念を摘示する。

農民の歷史

稻村隆一著（四六版上製函入）

總頁百五拾頁定價金壹圓　送料金八錢

過去の歷程たる日本農民史、野西蠻農民の史に曲めるその狀を逃し、今代混沌の渦中に悩めるか農民の奴隸を興へ並に最も低い生活への道程に立つ。農民は無産者として現代に於て最も要求が急を要し、新研究家の必須なる参考書である。敢えて廣く讀を薦む。

世界の農民運動

オイゲンヴァルガ著大西俊夫譯

四六版上製函入）總頁百六拾頁

定價金壹圓六拾錢送料金拾錢

本書の意識は全世界の農民と無産政党の如く積がりつゝある。資料は諸國の××、國際の火議らしめることにある。農民の國際運動の形勢と實現在の農民會議の報告より蒐集されたるもので、何人も一讀の要あらう。狀を詳述せるものにして著者オイゲン・ヴァルガは曾てハンガリー革命政府の經濟人民委員會議長を勤め現にインタナショナルの世界經濟通信として重きを爲してゐる人である。——初版は「農民と無産政黨の國際形勢」として刊行されたのであるが、不幸發賣禁止の文獻として世に出づることを得たものである如くて改題して漸く世に出づることを得た。

小作爭議の實際

杉山元治郎著（四六版上製函入）

總頁二百餘頁定價金壹圓五拾錢　送料金拾錢

我國の社會問題中最も重要なるものは農村問題であり、而して又農村問題の最大なるものは小作問題である。其の段階に於て論法に重要なるは小作問題の解決である。日本の農村は小作問題を解決せねばならぬ。小作問題の何故に起るか、又如何に解決すべきか、生産物の分配はどうなるか。本書は小作爭議の實際に付て實際に鑑みつゝ、小作人の愛讀を乞ふ。

農民の文學

木村毅著（四六版上製函入）

總頁百九拾頁定價壹圓五拾錢　送料金拾錢

我國文藝評論壇に於て農民文藝を最も明確に把握し紹介し、我國及び西亞の農民文學を批判し、且つ之が指示を加へ、農民文學の提唱せるもので、本書は農民文藝の真の研究に之を系統的に而して唯一の道標的指示である。

【目　要】

第一章、農民文學論、第二章、對外生活の表現、第三章、內部生活の表現、第四章、勞働から生れた文學

（附錄）歐洲農民文學の斷片的考察、第一章、牧歌文學論、第二章、トルストイの農民文學論、第三章、勞農ロシアの農民詩

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

金.銀.白金

徳力商店

東京神田松田町

電神 25 216. 235. 221. 976. 450.-(御客用)

清新な趣味と實用に綾なす

内外のあらゆる流行品豊富

地方よりの御註文は御手紙にて通信販賣係宛に御願ひ申します

三越呉服店

大阪市高麗橋

婦人良薬

喜谷實母散

産前、産後、血の道、引風、冷込等に特効有

▲全國到る處に販賣す

本舗

東京京橋區中橋大鋸町

喜谷市郎右衛門

電話京橋 五五番 五六番

滋養價の豊なる

アサヒ黒ビール

サッポロ黒ビール

無産大衆の戰闘的政治新聞

週刊

日本勞農新聞

讀め!眞の無産政治新聞を!

定價 一部 五錢 一ケ年 一圓五十錢

日本勞農新聞社

東京芝公園五號地

振替東京四六六四九番

山崎今朝彌どく筆

一部拾錢

解放

發行所東京市芝新櫻田町一九

解放社振替東京三六九四四番

大正十二年一月三十日第三種郵便物認可
昭和三年三月一日發行
第六年第三號
毎月一回一日發行
定價一部十錢（税五厘）半年六十錢一年一圓（税共）
廣告料一行一圓一頁三百圓
發行所 東京市麴町區内幸町一丁目五番地（振替東京六九八三） 進め社本部
發行編輯兼印刷人 [illegible]